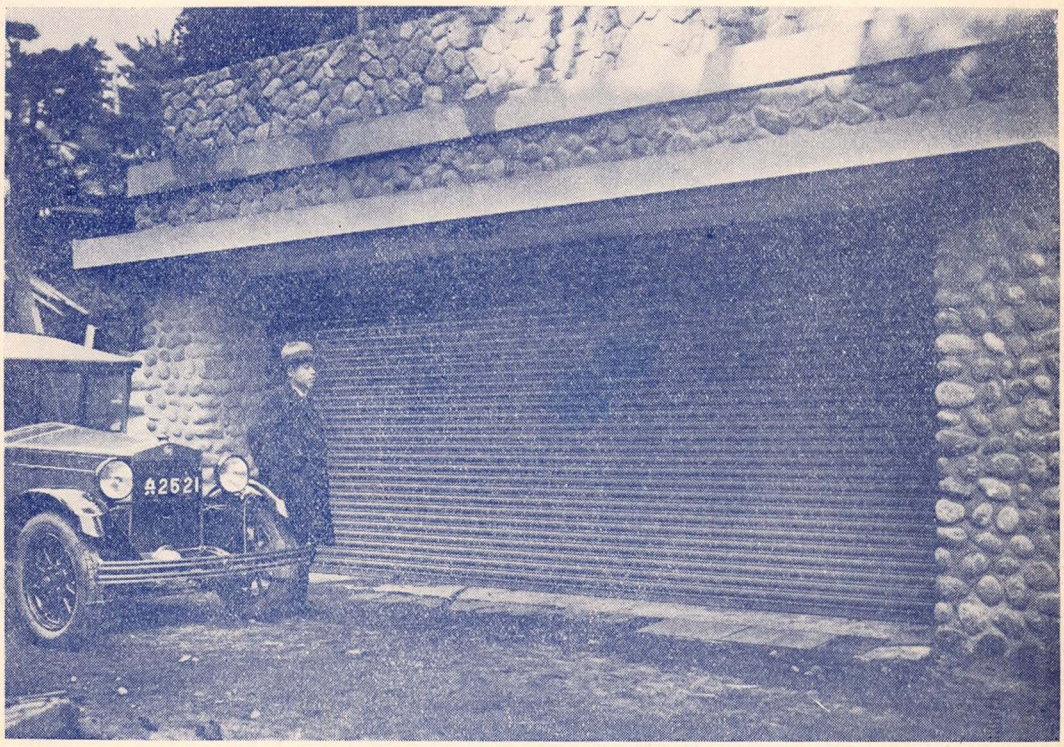
建築と社會

第十二輯
第四號

日本建築協會
昭和十三年四月一日

Sumiyosi Nomura-tei Zidoosyako.
Sekkei Sekoo: Takenaka Koomuten.
Shutter: N.K.B. Tebiki.

Takasa 2.30 m × Haba 5.30 m no Tobira ga katate de osiageruto surusuru to makiagari, sorede Tozimari wa mattaku tasikani dekimasu.



Goomei Kwaisya Hanken Seisakusyo.
Oosakasi Konohanaku Okizima Kitanotyoo 11.
DENWA: TOSABORI 4020.

Dairiten {Mitui Bussan Kabusiki Kwaisya.
Sanki Koogyoo Kabusiki Kwaisya.

特許第七九三五號（延長許可）外十數件併用

大野式防火捲上ケ戸

（特許大野式シヤッター）

這般の大震火災に於て兼て御定評を蒙り居り候日常開閉の至便、防火耐熱力優秀にして內外國同種類品中最も御安心相願はれ得可きものなることは左記事實に依り能く之を證明致候

一捲上ケ戸の閉鎖が咄嗟の間に完全に行はれたること

一戸鈑の連鎖堅牢にして烈火に面したる場所に於ても戸鈑各個の脫落、鎖鎖の破壞を來したるものなかりしこと

一戸鈑と戸鈑との間、戸鈑と溝金との間、上方捲込口煙返し等の密着充分にして間隙を生じたるものなく能く火炎熱風の浸入を阻止し防火の效を奏したること

以上數多の實蹟に徵し更に一段の注意を拂ひ御期待に副ひ可申確信の下に努力罷在候處幸ひ御承認を辱ふし他製品取換の御注文を始め有數建築物の復興工事新建築物防火設備等着々御採用を蒙り居候、何卒多少に拘らず御用命被仰付度奉希候

資合會社 大野製作所

東京市芝區三田四國町二番地　電話高輪 二二三三 七七五五長

大阪此花區上福島中二丁目二十二番地　電話土佐堀二五〇一番 取付員所・大阪此花區上福島中二丁目二十二番地

建築と社會　第拾壹輯　第四號　目次

口繪

デツサン……ミケランゼロ作……
三十四銀行難波支店……外觀……
大阪・桑田商會……外觀・內部……
大阪・野村銀行阿部野橋支店……
帝國キネマ演藝株式會社撮影所……
事務所正面・撮影所全景・ステージ及プロパーティー外觀……
ダークステージ內部……
大阪・住友倶樂部……玄關・外觀……

卷頭……新版大阪圖繪……東橫堀平野橋……

色調と人生……佳山生……一

室內裝飾としての植物材料……方米次郎……二―二

▼六百圓の文化住宅……三

テラコツタの建築物に及ぼす美的價値……澤部實之介……二三―二〇

露西亞に於ける建築運動……二一―二五

▼斷面八荒……二六

建築と社會ニュース　二七―三二

○新たに三十二市に市街地建築物法を
○史跡名勝指定
―關西地方の分―
○新特別保護建築物

○新現させたき新計畫

東京大阪間
高速度電車
○アパート式醫院
○大阪驛頭に
大ビルデイング
○小兒の爲の會館

◇

建築へ　建築へ



大阪の大玄關に就て（2）……K生……二七—三一

▼微苦笑……三三—三四

△空き家札△富國策△猿が木から落ちた△あきめくら

學校火災に就いて（2）……菅野久一……三五—四七

▼四部入選……四八

建築工事實施方法（2）……大林組工務監督 渡部圭吾……四九—五五

二次率一樣ならざる柱を有する小屋組の解法（3）……大阪橋本組設計部 工學士 石井勇……五六—六八

▼編輯後記……六九

住宅透視圖……大阪府立西野田職工學校（本年）卒業生……塚本義雄

基督教青年會ホーム正面透視圖……大阪府立西野田職工學校（本年）卒業生……土井忠治

某映畫撮影所設計圖……大阪府立西野田職工學校（本年）卒業生……竹内幸次

あるテニス倶樂部の透視圖……大阪府立今宮職工學校（本年）卒業生……清水憲吾

美術館設計圖……大阪市立都島工業學校（本年）卒業生……新井恒人

某區役所設計圖……大阪市立都島工業學校（本年）卒業生……赤穗員雄

卒業計畫

▼社團法人日本建築協會々報……

▼新刊紹介……

○京都日出新聞社

○西宮市廳舍

○大毎京都支局

○復興局自慢の言問の新橋

○東京明治座

◇

海外奇聞

○平和の殿堂と建築家の決闘

○最低五十圓から寶物に出た監獄

○ラヂオは何故に家具商を救ふか

小野田ポルトランドセメント

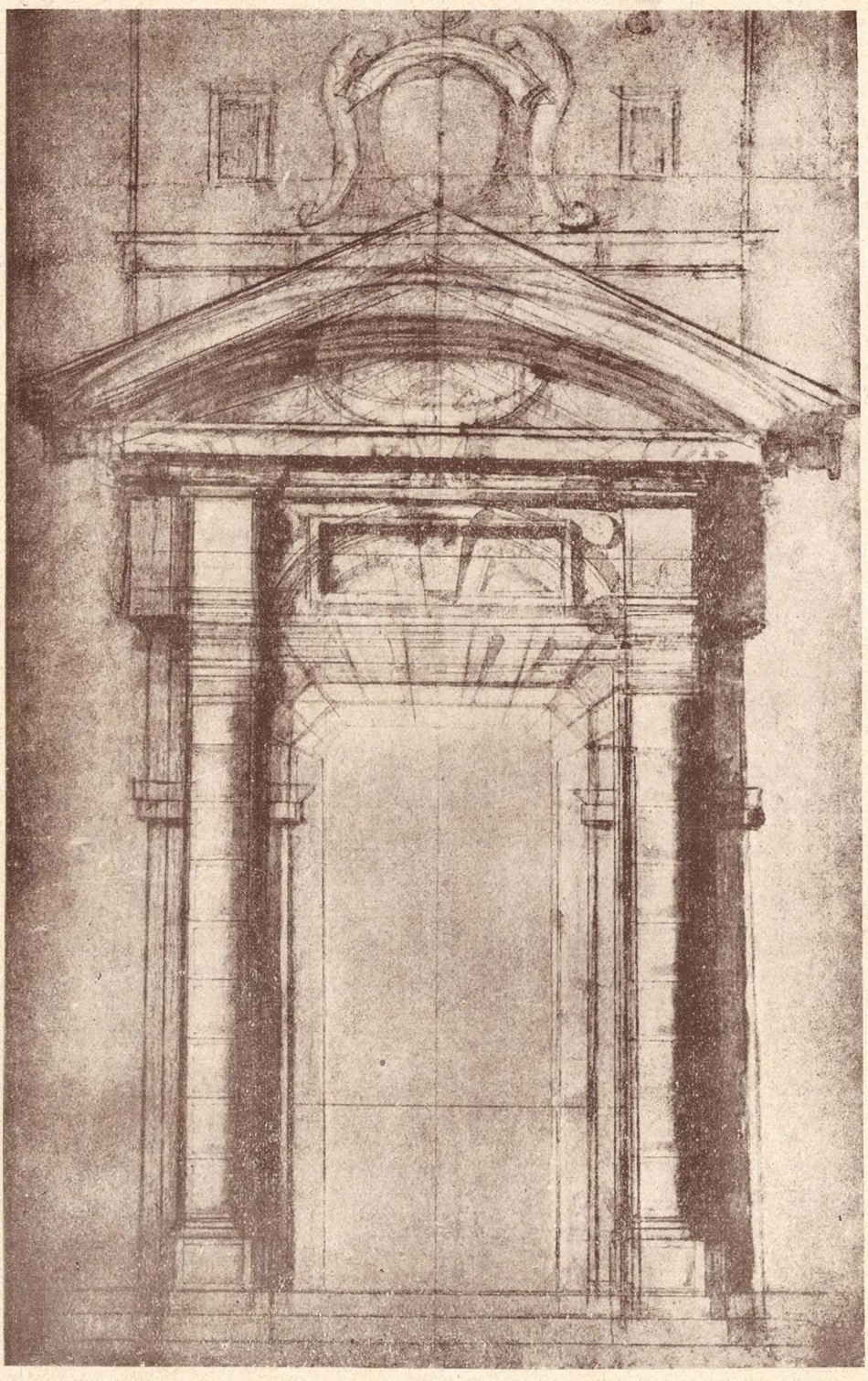
製品均斉・品質高級

小野田白色ポルトランドセメント

東洋唯一・純白優良

製造元 小野田セメント製造株式會社

一手販賣 三井物産株式會社



デツサン……ミケランゼロ作　　神戸・古宇田氏藏

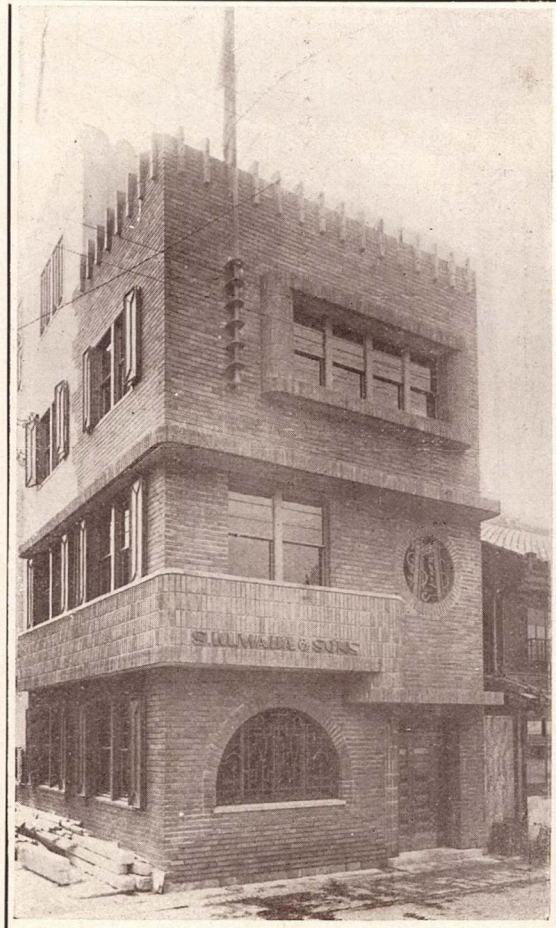


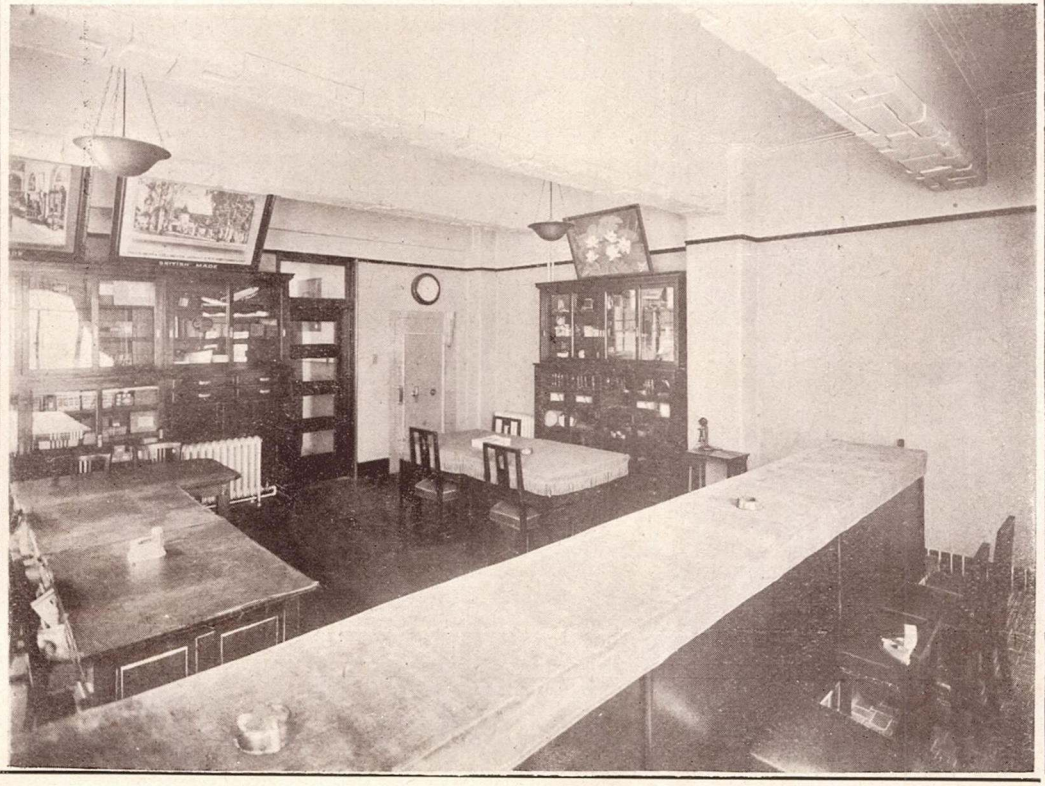
大阪・株式會社三十四銀行難波支店
設計・竹内建築事務所
施工・合名會社大阪大橋本組

株式會社三十四銀行難波支店新築工事概要

一、場　所　大阪市浪速區難波元町五丁目
一、敷地面積　一一六坪
一、建　坪　八十八坪六合
一、延　坪　百二十七坪
一、軒　高　三十五尺一寸
一、階　數　二階建
一、樣　式　近世式ニシテ、古代エヂプト模樣ヲ取リ入レタルモノ
一、外　部　中村式グラニット及テラコツタ貼リ
一、內　部　大連ドロマイドプラスター
一、窓　枠　上ゲ下ゲ窓及スペツシヤルバランスサッシ
一、シヤツター　沼島式安全バランス
一、電　氣　淺海商店
一、淨化裝置　城口研究所
一、竣　工　昭和三年二月十五日
一、構　造　鐵筋混凝土造リ二階建トス內一部吹拔ノコト
一、仕　上
外　部　中村式グラニット貼付及人造石洗出シ塗リ腰廻リ鬼花崗石使用パネル彫刻テラカット貼付ケトス
內　部　腰羽目木製オイルステンワニス塗リ仕上ゲ壁ハ大連ドロマイド塗リ一部ペンキ塗リ仕上ゲ
床　客溜リタイル敷キ營業室アルス床コルク入リ研出シ仕上ゲ其他リノリユーム敷キ
一、窓及出入口　入口鐵製折疊ミ扉釣込ミ金イブシ塗リ窓建鐵製スチールサフン及瀨川式スペシヤルバランスサツシ取付ケトス
一、汚水處理　便所水洗式處理槽ニ導キ淨化裝置ニヨリ濾過シテ下水ニ放流ス

工事設計監督　竹內建築事務所
工事請負　大阪橋本組



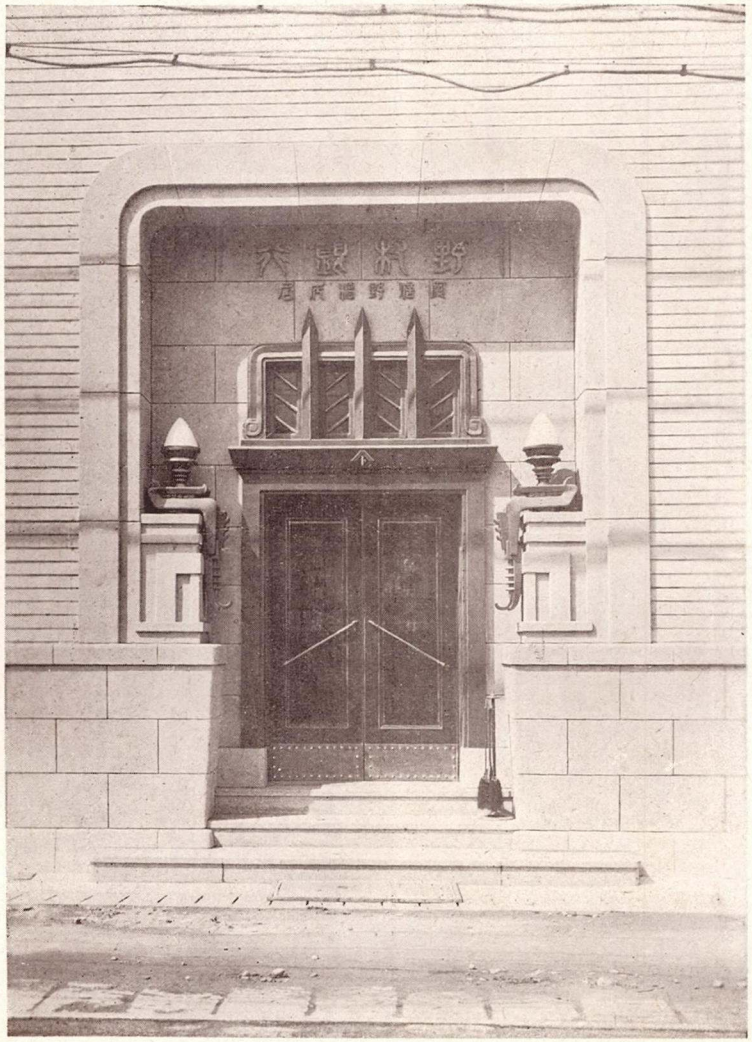


大阪・桑田商會

左・外觀……右・內部

設計施行 株式會社 大林組





大阪・野村銀行阿部野橋支店

竣　工・　昭和三年二月二十日

設　計・　安井建築事務所

施　工・　株式會社大林組



上・事務所正面　　下・撮影所全影



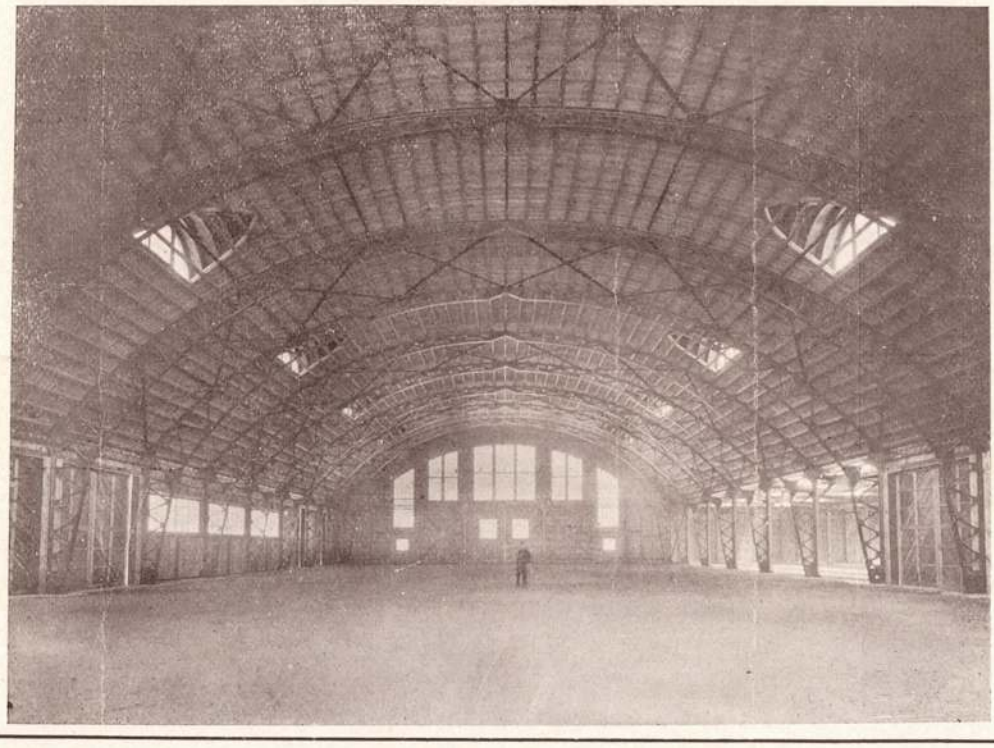
名稱	・帝國キネマ演藝株式會社撮影所	延坪	・二、一五五坪
所在	・大阪府中河内郡布施町	起工	・昭和二年六月十八日
敷地面積	・九、三〇〇坪	竣工	・昭和三年二月十八日
建坪	・一、九一〇坪	設計並施工	・合名會社大阪橋本組

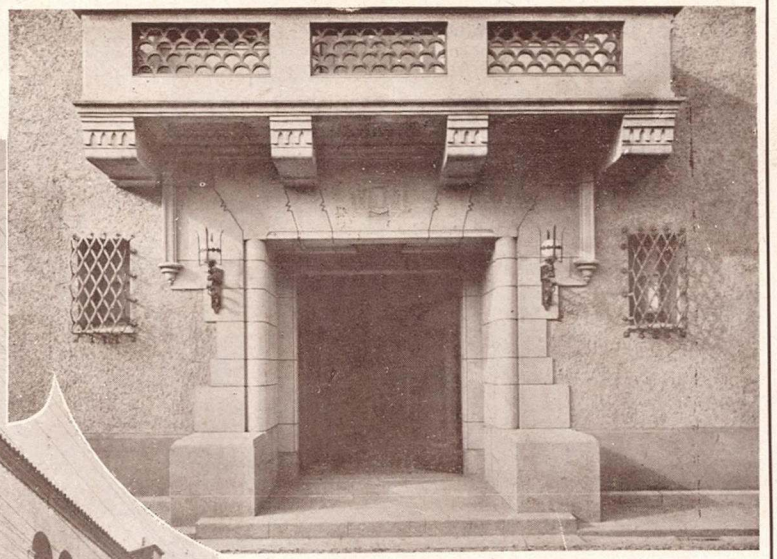


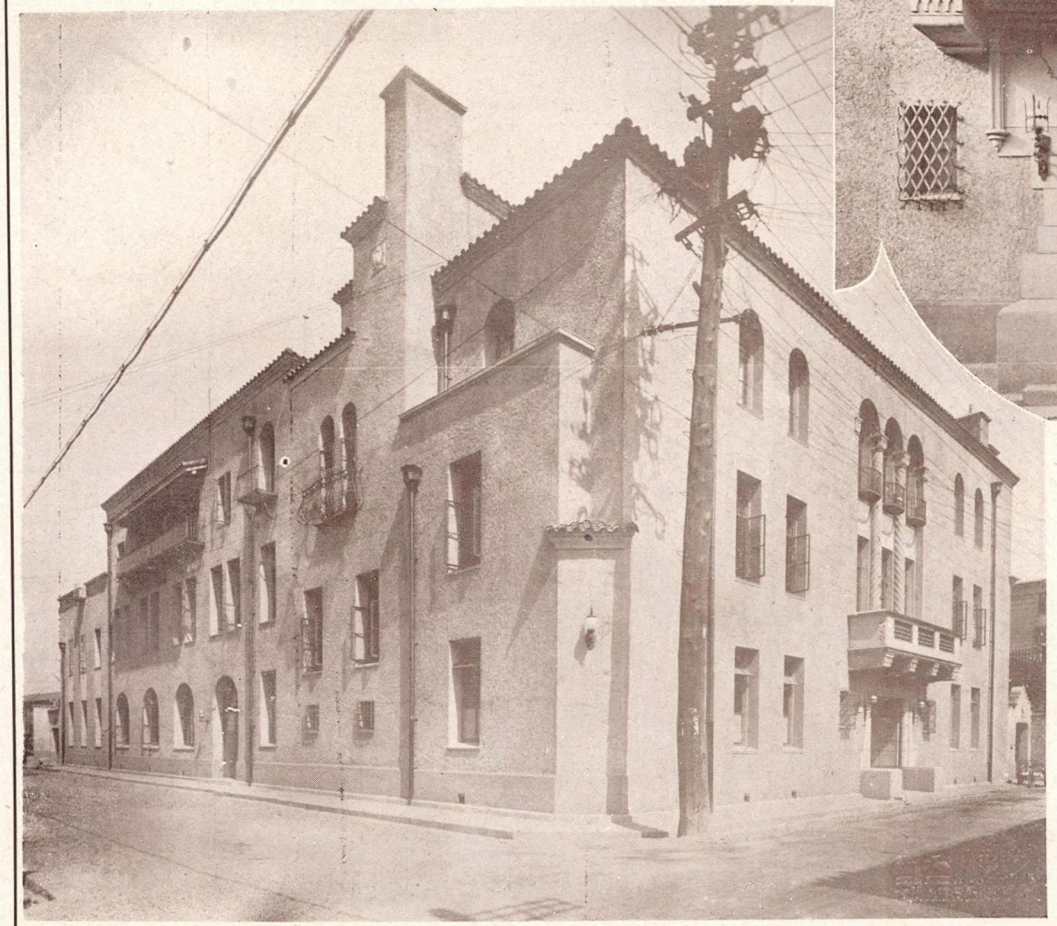
上・ステージ及プロパーテイー外観

下・ダーステイージ内部

梁間. 90′
桁行. 165′
高 . 41′







大阪・住友倶樂部

竣工・最近

設計・住友建築課

施工・藤木工務店

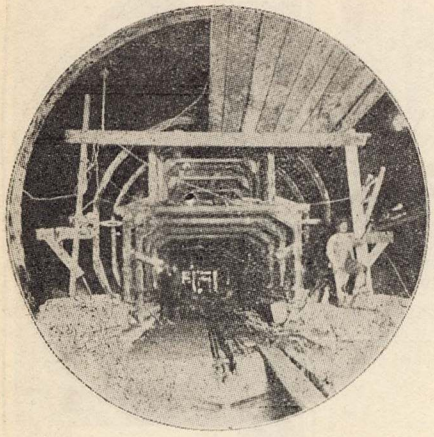
右上・玄關

左下・外觀

MINWAX

防水界の覇者「ミンワックス」メンブレンシステム

○姑息偸安の方法では永久の防水は絶對不各能であります。
○此の意味に於て「ミンワックス」メンブレンシステムは在來の方法に較べ格段の差があります。
○第一には材料の優秀なる點に於て、第二には施工方法の特異なる點に於て。
○故に信用を重んじ、構築物永久の利益を顧慮するものは皆この優秀無比の完全防水「ミンワックス」メンブレンシステムを特定し採用せらるゝ所以であります。米國に於て又我國に於て。鐵道と云はず、銀行會社寺院と云はず。
○「ミンワックス」メンブレンシステムは他の陳腐の方法や、一夜造りの模造物と異なり實に斯法の創始者であると同時に二十餘年の經驗を有し、絶對に信賴し得る完全防水であることを明言致します。



日本總代理店

本店　大阪市東區高麗橋四丁目十番地

島貿易株式會社建材部

支店　東京市日本橋區平松町十二番地

◆耐震耐火＝品質優良＝優美高尚＝價格至廉◆

金屬天井



金屬天井御採用の＝菱銀行東京本店

營業種目

◆建築材料部
- ▲金屬天井
- ▲リブプレツクス（リブラス）
- ▲コートナーピード
- ▲内外メタルラス
- ▲タイガーボード（耐火石膏板紙）
- ▲舶來ウオールボード各種
- ▲ルーフキング（便利瓦）
- ▲アスファルトフェルト
- ▲其他建築材料一般

◆木材部
- ▲米材各種
- ▲チーク材
- ▲ラワン材
- ▲床板各種

型錄進呈

◆穀類部
- ▲内外小麥粉

◆内外穀
◆内外米

◆工業部
- ▲製粉工場
- ▲製米工場
- ▲金屬鈑工場

◆田村商會創始
◆參拾五年經驗
◆施工全部請負
◆特殊圖案製作

田村商會

本店
神戸市榮町六丁目
電話元町（五〇一、五〇二、五〇三、五〇四、五〇五、

支店
大阪市西區靱上通り一丁目
電話土佐堀（六八八〇、六八八一
東京市日本橋區元四日市町
電話大手（三七〇五、六三六〇、四六七一、二五二六
横濱市港町一丁目
電話長者町 二五四〇
北米晩香坡市ダンレピー街
電話 八八一

工場
神戸市兵庫新川
電話兵庫（九一、二四〇三、二四四、六四〇

AMERICAN RADIATOR COMPANY

アメリカンラヂエーター會社製

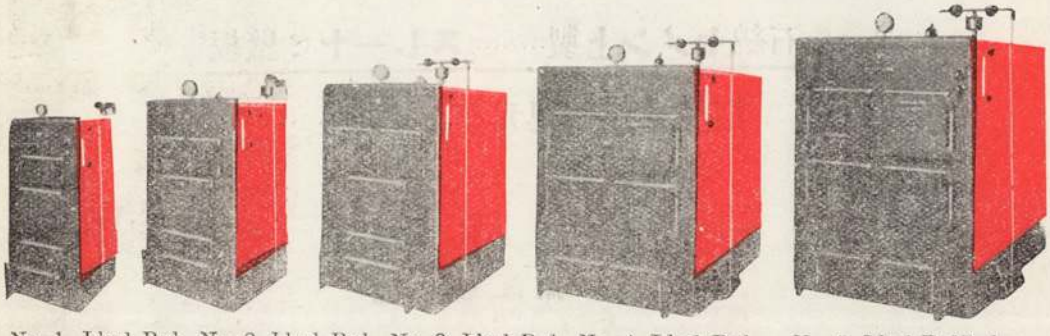
新型　アイデアル　レツド　ジヤケツト　ボイラー

1. 完成サレタル構造……長キ**ダブルフリユー**能率至高
2. 機械的調節裝置並ニ附屬品一式具備
3. 最モ體裁ノ良キ赤色**ジヤケツト**ヲ以テ覆ヘレ完全ニ保温サル
4. 外觀美麗……各扉ハ精巧ナル琺瑯仕上ゲ

然モ價格ハ從來ノ製品ニ比シ低廉ナリ

種類　蒸實罐　350平方呎ヨリ　17,900平方呎
　　温水罐　600平方呎ヨリ　29'400平方呎

IDEAL RED JACKET BOILER

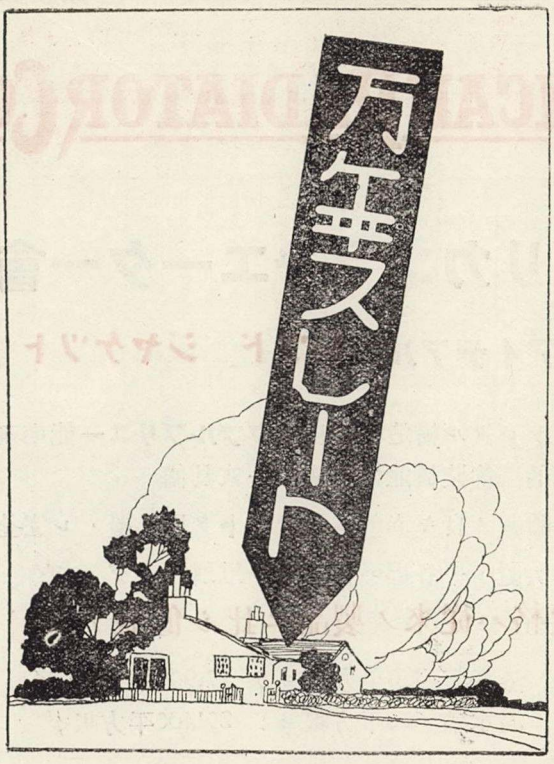


No. 1. Ideal Red Jacket Boiler　No. 2 Ideal Red Jacket Boiler　No. 3. Ideal Red Jacket Boi e　No. 4. Ideal Red Jacrket Boiler　No. 5. Ideal RedJacket Boiler

日本總代理店

大倉商事株式會社

東京銀座　　大阪北濱



石綿セメント製……スレートと壁板

斯界に一新紀元を畫する……

品　質　卓　絶
絶　對　低　廉
在　庫　豊　富

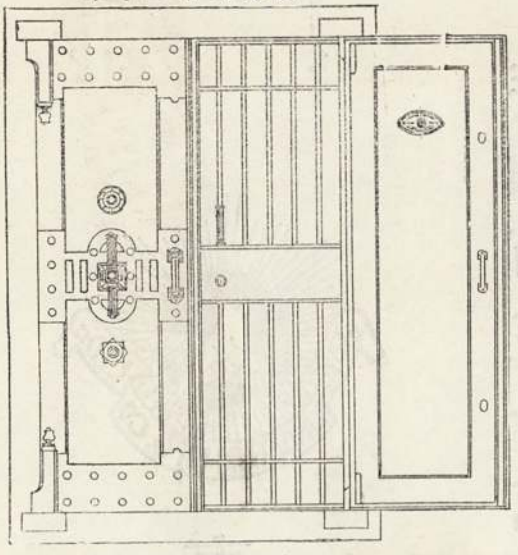
万年スレート株式會社

大阪市西區新町南通三丁目

電話新町四〇七〇番

大塚製金庫扉の特色は

防火的理想の完成したる
昭和參年新案特許第壹壹貳五七〇號
瀧村式防火裝置（自働アスベストパツキング）



金庫安全防火扉

創業明治二十年

金庫室は完全なる扉と
内部什器（書棚及書函）の
鋼鐵化に因り始めて絶對的
災害防止の效果を實現す

御一報次第型錄差出申候
應貴意設計圖面調製提出
可仕候

營業科目

金庫室入口防火扉
マンホール幷ニ窓扉
倉庫出入口防火扉
鋼鐵製書函並ニ書棚
美術建築用金物一式

御用命を蒙り納入せる尊名

三十四銀行　濵飛農工銀行　大野銀行　墟野義商店
三井銀行　吉備貯蓄銀行　奈良信託（株式會社）　武田長兵衛商店
名古屋銀行　蘇原銀行　三井信託（大阪支店）　八馬邸
名古屋貯蓄銀行　灘商業銀行　三井物産（名古屋支店）　竹内邸
加島銀行　西海商業銀行　岡谷木邸　池田商店（名古屋）
明治銀行　大阪貯蓄銀行　岡谷合資（東京金物部）　安藤商店（名古屋）
第二銀行　内國貯金銀行　三菱電氣（神戸製作所）　平瀬邸（京都）
大阪野村銀行　山口銀行　萩町信用組合　西郷邸
野村證券（株式會社）　久美濱銀行　松坂屋呉服店（名古屋）　三宅邸（呉市）
濱松銀行　大垣貯蓄銀行　東邦瓦斯（株式會社）
中埜銀行　武庫銀行　大日本人造肥料（株式會社）

大阪市港區九條南通一丁目一三〇番地

大塚鐵工所金庫部

所主　瀧村松之助

電話西五〇一七番

工場　九條南通一丁目　三軒家上之町　北境川町

理想的
床敷材
リノリユーム



東洋リノリユーム株式會社

營業所　大阪市東區瓦町二山口ビル四階
電話本局二〇六〇番
三九一〇番

年額百五十萬平方碼

國產ソリデチツト應用
建築材料の出現

「型錄進呈」

ソリデチツト タイル
陶器ノ追從シ得ザル色彩ト雅味ヲ有シ頗ル堅牢ニシテ而モ價格低廉ナリ
用途、室內及外裝用

ソリデチツト 安全壁
日本壁及西洋壁ノ上塗料トシテ吸水尠ク頗ル強靱、色彩自由ナリ
用途、外裝及室內水場用

ソリデチツト スタイン
外裝用トシテ獨逸「リシン」ニ比シ吸水絕無體裁佳良、價格亦極メテ低廉ナリ

ヒノデリユーム 鋪床料
床張用トシテ「リノリユーム」ニ比シ低廉、品質在來品ト異ナリ絕體ニ龜裂無ク且ツ濕分ヲ生セズ
用途應接室廊下及一般床敷用

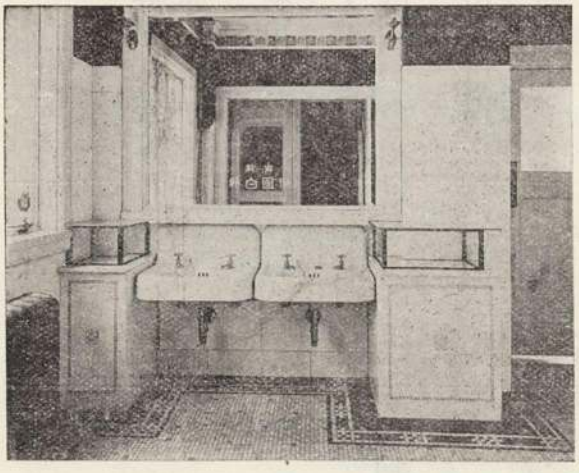
「特約販賣店募集」

內外一手販賣元
三井物產株式會社大阪支店

製造元
日本化學產業株式會社
大阪市西區南堀江通三丁目四三
電話櫻川 一四五四番 三八七一番

◆特許山添式防水工事
◆ターピヤ鋪裝工事
◆特許田中式硝子屋根
◆デーケー式シヤツター
◆デーケー式サツシユ
◆鈴木式及デーケーラス
◆セメント防水料セレシット
◆星印ルーフヒング

大阪市西區南堀江下通二丁目
内外土木建築材料合資會社
電話局櫻川一六一〇番



便所…化粧室…湯殿

ビトロライトは永久に、汚染、腐蝕變質、クラック等の憂は絶對にないと云ふ理想的の貼瓦材であります。これを便所に使用してはじめて衛生的と云ひ得るものではないでせうか

ビトロライトの大きさ
3尺×6尺
色合…白、黒、アイボリー、ジエイト

大阪市浪速區櫻川町一丁目一〇五四番地
大阪ビトロライト工事合資會社
電話櫻川二二一四番
出張所　東京市京橋區本材木町一丁目二三　電話日本橋(24)〇九六九番

青寫眞

▲晴雨を不論夜間にても燒付得る
▲燒付に乾燥凡てを電氣應用
▲集配は最も敏速を期す

青寫眞
トレース
書類複寫
感光紙販賣

大阪市此花區今開町二丁目四九

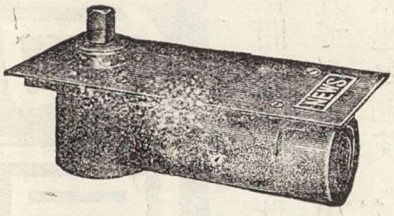
河村青寫眞調製所

電話長土三七四二

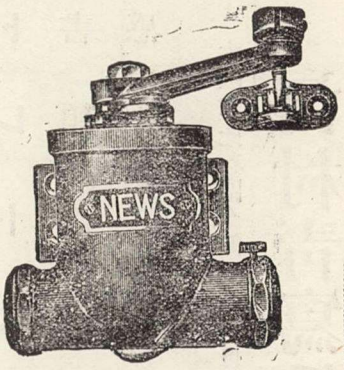
純國産品

機能．耐久力

すべてに於て絶對優秀



FLOOR-HINGE



DOOR-CHECK

型錄送呈

合資會社

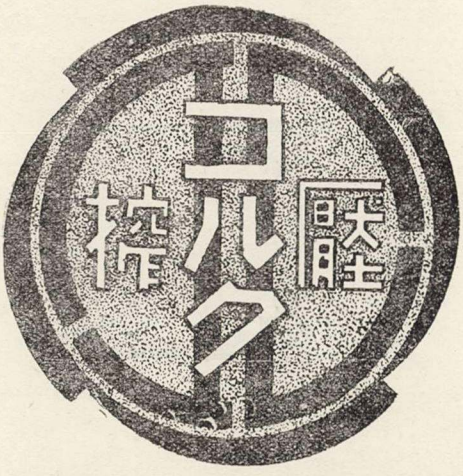
日本ドアーチエック製作所

大阪市東成區猪飼野町一〇七八

冷藏防熱用 製産高（工場設備）東洋第一位!!

住宅敷物用、リノリユーム下敷用

炭化コルク



東洋コルク工業株式會社

本社及工場 廣島市吉島町

電特長一七九二

大阪出張所 大阪市北區堂島濱通一丁目百十番地

電話北一三八九

東京出張所 東京市神田區豐島町七番地

電浪花八五三番



淺野煙突

石綿セメント製でありますから
燒けません・錆びません・腐りません

淺野壁板

強靭の石綿纖維と純良のセメントが主要原料ですから石膏紙板のやうに濕潤することなく日本壁のやうに剝落することがありません、下見・內壁・天井・間仕切・塀等に用ひて誠に比類なき適品であります

長……六尺
幅……三尺 四尺
厚……一分五厘 二分以上

淺野スレート株式會社

東京	大阪	門司	札幌
東京市	大阪市北區堂島新地三	門司市白木町	札幌市北一條東四丁目
電話銀座 1860 1861 1862	電話北 5081 5082	電話 1931 1228	電話 598
振替口座東京 68000	振替口座大阪 78246	振替口座福岡 10964	振替口座小樽 5864

日本ペイント

創業明治十四年

資本金五百萬圓

大阪　東京

槌印　ニホンラツカー

ラツカーは最新の高級塗料で(一)透明**ラツカー**と(二)**ラツカーエナメル**の二種類ありますが、何れも乾燥が非常に速く、耐水耐熱耐油性で、又耐久力も充分にありますから、近時自動車の車體や「スチールカー」の車體は多く「**ラツカー**」で塗られて居ります、但何品にもある樣に「**ラツカー**」にも塗りにくいとか、臭が高いとか高價だとか言ふ缺點がありますが「**ニホンラツカー**」は從來のオイルワニスの長所をも取り入れ、出來るだけ缺點を除き完全に近いと言ふ自信を以て發賣して居ります、是非御試用を願ます、

（御通知次第說明書及見本送呈す）



顏料

『チョコレート色』

◆辨柄。黑

◆綠。黃

用途

鋪床・壁塗用
スレート用
セメント瓦用
タイル用
各種塗料用
建築材料用

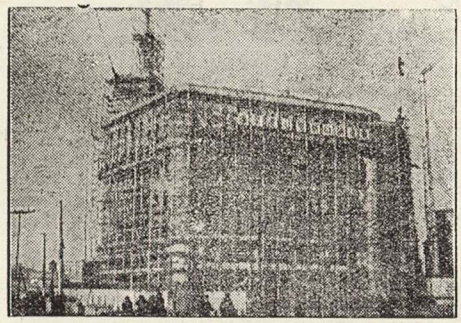
七YK

合資會社 東洋鑛粉所

大阪市西成區津守町六壹壹
電話櫻川四二四六番

東京營業所
東京府下淀橋町角筈六六八
電話四谷七八六番





東都數寄屋橋々畔の偉觀

東京京橋區數寄屋橋々畔ニ新築サレタ東京朝日ノ新館ハ其ノ建材外觀總テ新ラシキモノデアルガ

下部外側の水色は

東亞コンクリート塗料

ストンコート

ヲ以テ美裝シ

上部外側の人造石面は

東亞の防水液

ダムタイト

ヲ以テ防水ニ備ヘ

更に外部各所の蛇腹は

東亞の

トア・スパーワニス

ヲ以テ美麗堅固ノ塗裝ヲ施シ識者ヲシテアット云ハセツツアリ

古河經營

東亞ペイント株式會社

印チイマヤ

印ンペ

印劍寶

クーマ裏

NIPPON ELEVATOR CO.



營業科目

一般輸送機械
ホイスト
ロープホーレージ
エスカレーター
ケーブルカー
コンベヤー各種
エレベーター各種

設計 製作

大阪市東區中道川西町

日本エレベーター製造株式會社

電話東 2367 . 3805 . 5642 番

取締役社長 工學博士 片岡 安

專務取締役 工學博士 堀 覺太郎

東京支店

東京驛前丸ノ内ビルディング四階

電話丸ノ内 (23) 3073 . 3074 番

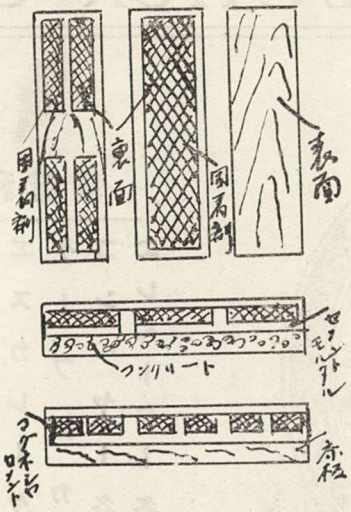
專賣特許 東松式外二拾四件

コンクリート上に根太を用ひずタイルを張るも同様セメントモルタルを以てリソード床板を張るものなり床板上に張る場合は特種セメントを以て張るものとす。

理想的根太無床板

専賣特許願第一二四五一號
同　右第一二五一五號
新案特許第二七二八七號

丸上式 リソード床板



特長

價格低廉、耐久性絶大、彈方性ニ富ム保溫性快感衛生的、伸縮浮上リノ憂ナシ無音響、修繕容易耐水性、耐火性

專賣特許 練革床

特許ピトリウム床
特許ピトチック內外壁
丸上式リソード床板

實用新案 楢床板

特許葵式淨化裝置
水道、衛生工事
タイル、衛生陶器

衛生工事

ブロック張フローリング葵式
各種寄木床
乾燥材挽立木堅

葵商會

大阪市港區境川町四丁目四十番地　電西〔長〕四一九六
東京市京橋區木挽町一ノ一三　電話銀座三九五・二九三
東京營業所

Cleveland
Pneumatic Tools



極めて不便なる箇所に於て自由自在に穿孔或は擴孔をなし得る"**クリブランド**" **コーナー ドリル**を示しました、機構簡單堅牢無比、殊に其空氣使用量は僅少

能率卓越せる事は本機の誇とする點であります、**エアードリル**、**リベツテング ハンマー**, **チツピング ハンマー**, **グラインダー**ランマー等各種の**ニユーマ チツクツール**の詳細御照會を乞ふ。

The Cleveland Pneumatic Tool Co.

東洋總代理店

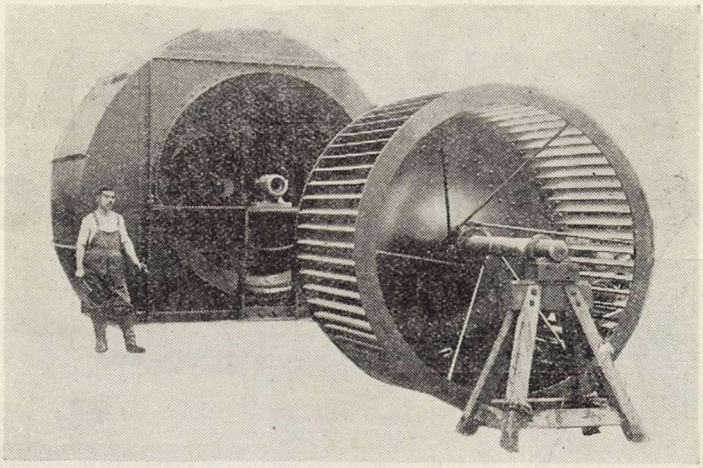
株式會社 **アンドリユウス商會**

本社 東京市芝區芝公園五號地(御成門筋)

支店 大阪市西區江戸堀南通三ノ十八

名古屋・小倉・札幌・京城・臺北・大連・紐育

（多翼送風機）

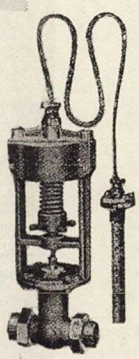




（シルフオン減壓弁）

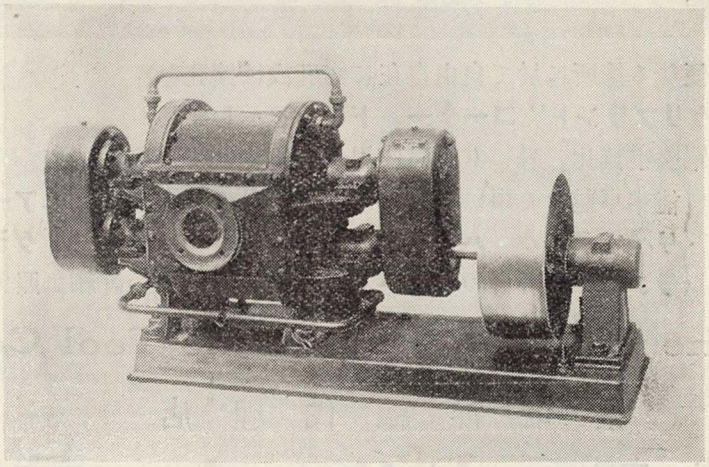
營業種目

米國**フルトン**會社日本總代理店各種
送風機作販賣煖房冷藏換氣給濕乾燥
防火水道衛生炊事浴場設備ノ設計及
請負



（シルフオン溫度調節器）

（高壓ルーツブローアー）



大阪市北區宗是町十番地

合資會社 **朝日工業社**

電話土佐堀 七四五九・三五〇九・二一二五

（廣告ヲ記附御旨ル依ニ告廣誌本ハ際ノ會照御ヘ主告廣）

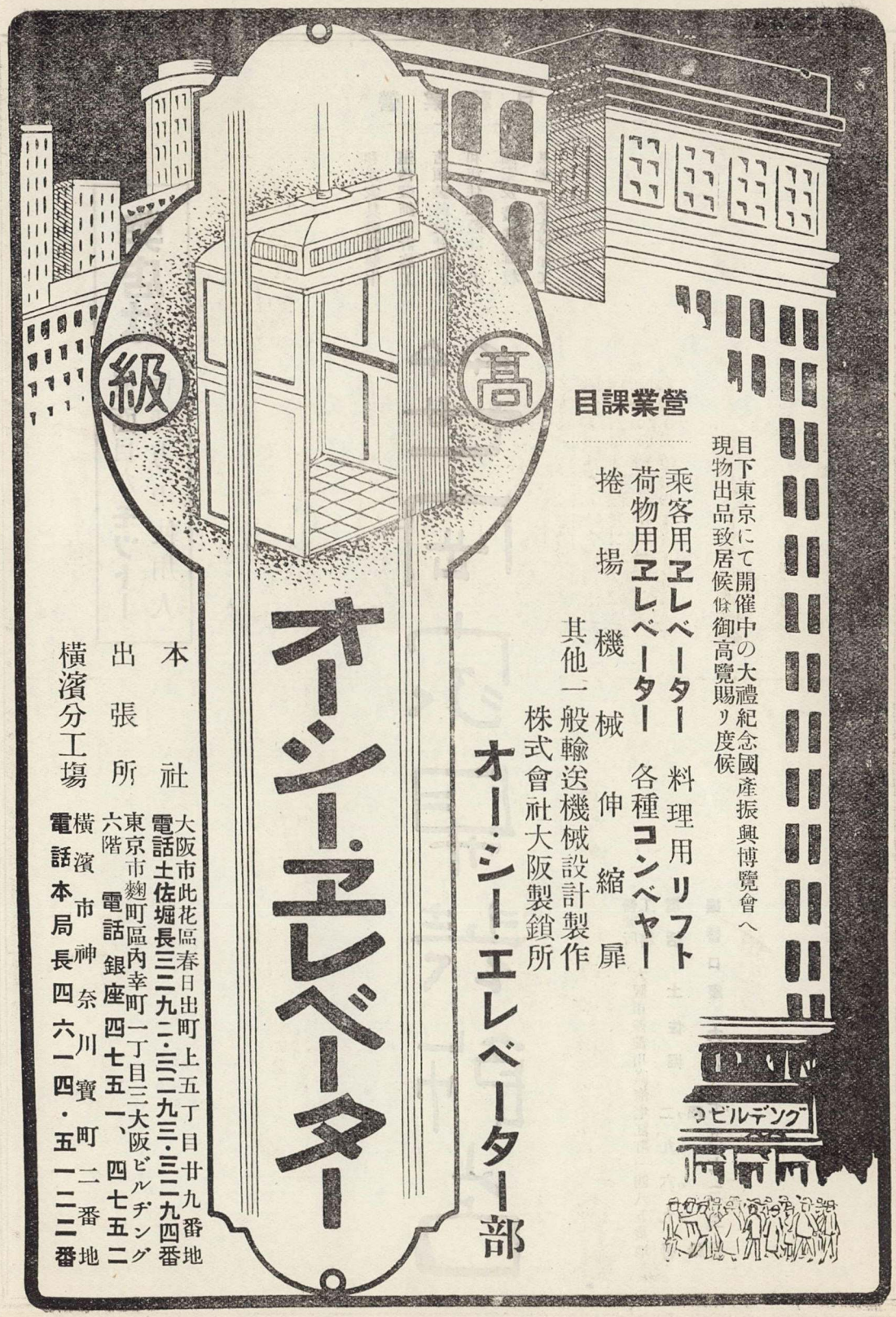
弊店は 眞面目が**モットー**
皆樣方の使用人

營業科目

和洋家具設計製作
室內裝飾設計施工
店頭裝飾設計施工
和洋住宅設計施工
圖案及廣告看板
其他一般木材加工

世岡家具裝飾店

營業所
工場　大阪市西淀川區海老江町一四八五番地
電話　土佐堀二九六九番
　　（六ツ口ノ縁）
振替口座　大阪七九七三三番



目下東京にて開催中の大禮紀念國産振興博覽會へ現物出品致居候間御高覽賜リ度候

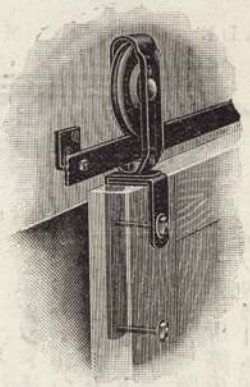
營業課目

乘客用**エレベーター**　料理用**リフト**
荷物用**エレベーター**　各種**コンベヤー**
捲揚機械伸縮扉
其他一般輸送機械設計製作
株式會社大阪製鎖所

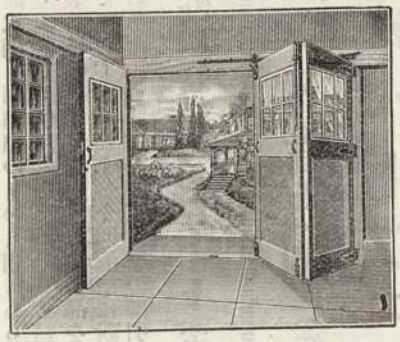
オー・シー・エレベーター部

本社　大阪市此花區春日出町上五丁目廿九番地
電話土佐堀長三二九二・三二九三・三二九四番
出張所　東京市麹町區內幸町一丁目三大阪ビルヂング六階
電話銀座四七五一、四七五二
横濱分工場　横濱市神奈川寶町二番地
電話本局長四六一四・五一二二番

スタンレー式ハンガー車



1. レールを外れることと絶對に無し
2. 鋼鐵製にて耐久力大なり
3. 使用中注油自在
4. 上下の調節自由
5. 首廻り式なるを以て下の如き戸の釣り方に好適



（カタログ進呈）

ゼ。スタンレーウオークス

大阪市北區中ノ島四丁目三二番地
電話土佐堀二一四五番

水性
塗料

カセイン

見本帳贈呈（乞本書御記入）

大阪市西區西道頓堀通五丁目
製造元
岩城塗料製造株式會社
電話櫻川二三七八番

出張所　東京、神田、錦町三丁目
臺北、大和町三丁目一

TRADE MARK

富士印

大阪高等工業學校教授

横内榮作先生御推奨

セメント防水劑

エキタイト

現今**セメント**防水劑も同種類のものも相當ありますが何れも用途に依つて多少の適不適があり且價格が一般に高價でありますから使用量を手控へらるゝ爲充分な防水能力を認められない場合も見受けます弊店では多年防水劑の製造に從事し其研究になる製品を以て各建築物各業者の御使用を願ひ優秀なる品質は已に實績により認めて頂いて居りますが今回價格に對し大量生產に依る統一せるより良き製品をより安く提供す可く防水劑界の革命的安價で需要家諸彦の御引立を御願する次第であります。

◇外に急結**エキタイト**塗布**エキタイト**あり見本進呈

TRADE MARK

富士印

セメント着色劑

（絶對變色セヌ）

英國製 パーフェクチン

本劑は**セメント**及石灰の着色劑にして在來の顏料又は黃土其他の着色物と異り配合量少なき爲**セメント**の効力を弱めず且つ日光風雨の爲變色する虞れなく左記の場合の着色劑として最も適當した嶄新なる材料ですから御試驗の上多少に不拘御用命願います。

ソレヂツト、ドロマイト、プラスターの着色用

一般コンクリートの上塗……目下黃色又は橙色を一番多く御使用になります

室内又は陳列臺の腰張……綠、青、黃、褐色が適當してゐます

浴場便所等のタイルの代用……綠、小豆色が喜ばれます

リノリウーム代用床漆喰の着色……赤、黑、小豆色が歡迎されます

辨柄の代用として……少量の赤色にして鮮麗なる赤が出來ます

寒水石、サヒ石、瀧山等の洗出仕上、研出し又は人造石

セメント瓦及**タイル**着色用……こしては特に適當した格安品が有ります

見本及型錄進呈

地方特約店募集

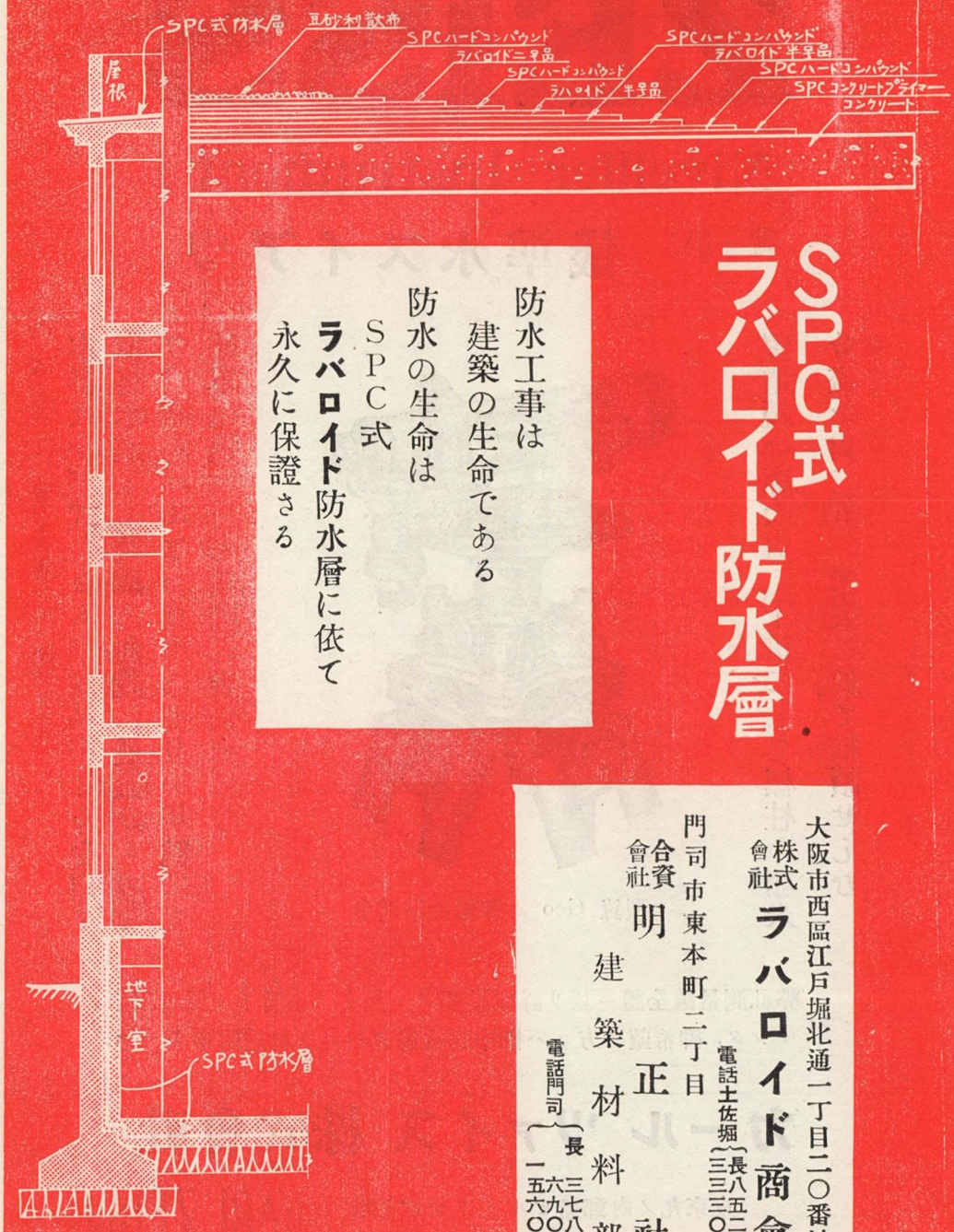
元賣發輸入「パーフエクチン」着色劑

元賣發造製「エキタイト」防水劑

大阪市東區備後町一丁目

灰久本店

電話南二百五十三番



SPC式 ラバロイド防水層

防水工事は
建築の生命である
防水の生命は
SPC式
ラバロイド防水層に依て
永久に保證さる

大阪市西區江戸堀北通一丁目二〇番地
株式會社 **ラバロイド商會**
電話土佐堀〔長八五二番 三三三〇番

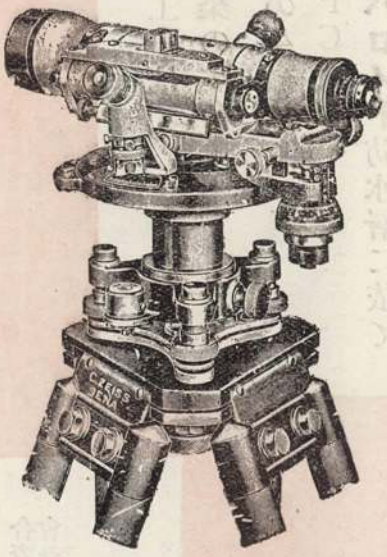
門司市東本町二丁目
合資會社 **明正社**
建築材料部
電話門司〔長三七八番 六九〇番 一五六〇番

ZEISS

Nivellier Instrument I

ツアイス水準儀（第一號）

本器は小型式なるも精度精密なるを以て道路水道工事及鐵道建設に最適のものなり、轉向**バルブ**の具用により一基點にて簡單迅速而かも精密に調節せしむ



望遠鏡の廓大力二十倍にして標柱の珊米分畫を尚二五〇米突に於て精讀せしむ

型錄 Geo 2 御報次第進呈

（弊社測量儀全體ニ亘リ詳細說明アル邦文ノ小冊子ガ最近出來マシタ，御希望ノ方ニハ御申越次第無料ニテ御送附申上マス.）

カール ツァイス 株式會社

東京丸ノ內郵船ビルデイング七階

電話丸ノ內(23) 三〇六五番 三〇六六番

CARL ZEISS TOKYO KABUSHIKI KAISHA

SPECIAL ✿ BORING

ボーリング ト 鑿井

○ 明治十八年創業 斯界之権威 ｛古キ歴史ト経験 特許ノ機械器具 ｝＝他ノ追従ヲ許サズ 獨特ノ優秀ナル技術

○ 標語 ｛岩盤、玉石、土質ノ硬軟水層ノ別ナク 工事ノ多少ニ不拘 迅速正確低廉

○ 特長 鑿井 ｛施工簡易 水質混ゼズ 任意ノ水層採水ニ集水 鑛管内厚均等ソケット結合 井側鑛管ト同径ノ砂防 ボーリング ｛装置ノ「ストレーナー」 粒土ヲ用ヒズ 地層ノ區別完全 標本土正確 地質ノ硬軟 土質 水位 フレシヤー、フレクション 翠水不浸 挿入安全 土壓ニヨル鑛管破壊ノ憂ナシ 生命永久 モ鮮明 耐壓モボーリング表ニテ明瞭ス

○ 光榮 ｛諸官衙 技術大家 商會社ヨリ多數ノ成績證明ヲ賜ル 宮内省特ニ御用命ヲ拜ス 大阪東京兩市電氣局高速度鐵道課 東京地下鐵道株式會社御用命ヲ受ク

○ 推奨 ｛基礎工事費ヲ減ジ 震害豫防ニ 費用僅少定評アル 森川ノ各種ボーリング 水ノ鯖決ノ爲メニ 合理的ナル 森川式鑿井

地質調査ボーリング
コーアー式ボーリング
特許 森川式大鑿井
特許 森川式井側装置
揚水装置
杭打試験
載荷力試験

森川組

店主 森川傳爾

本店 大阪市西區幸町一丁目 電櫻川 長四四一 三〇一
支店 東京市神田區金澤町 電下谷 五五 三一



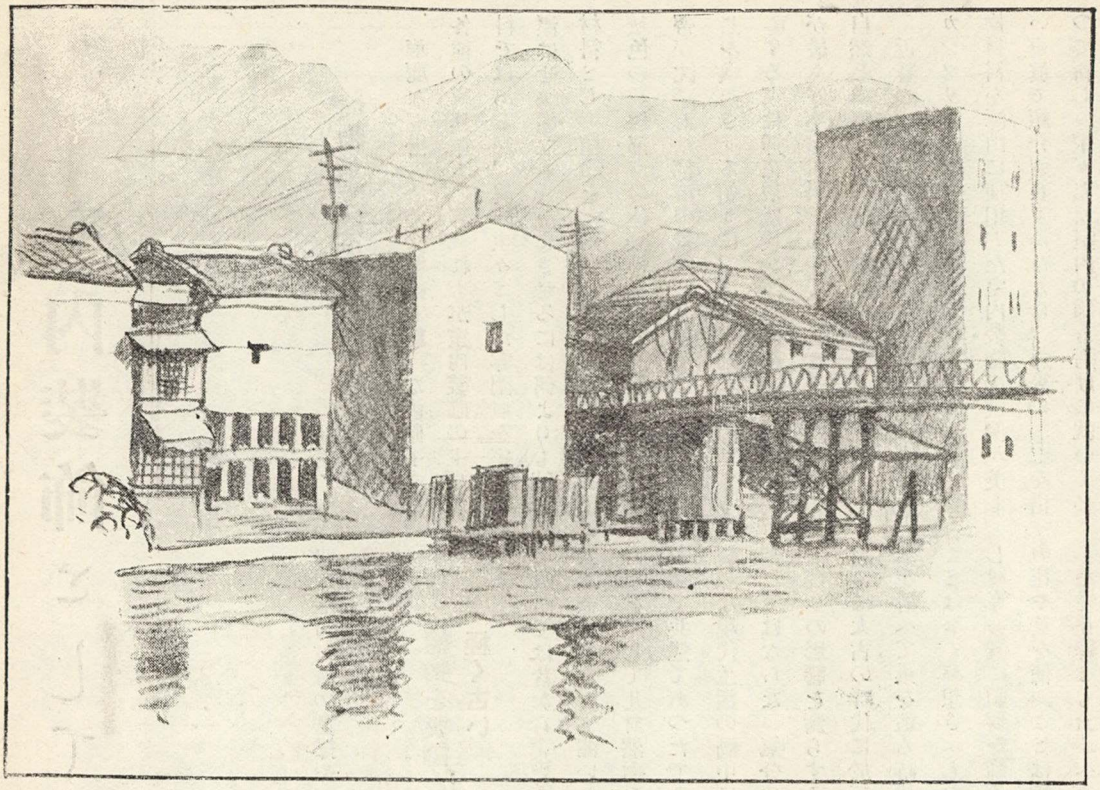
帝都丸之内ノ偉觀　大日本赤十字社正面ノ一部
岡田信一郎先生御設計　外裝ノ全部ニ中村式**グラニツト使用**

Nakamurashiki GRANITE

PATENT:
NO. 43.347
NO. 45.069
NO. 68.191

中村グラニット商會

大阪事務所　大阪市住吉區住吉町五〇三
大阪工場　大阪市西淀川區海老江町1200
　　電話土佐堀一三五七番
東京支店　東京市芝區月見町二丁目四
東京工場　電話高輪九四六番



東橫堀平野橋

新版大阪圖繪

色調と人生

人生の一切は色調に始まり色調に終る、春夏秋冬の季節こそ雖も色調なくして何の春ぞ何の秋ぞこ謂はねばならぬ、色調こは靜動の謂である。美醜の差は紙一枚の薄さに過ぎない、が、然し何故にかゝる差違を生じるか、吾人は之を色調の盛衰の差なりこ云ひたい、美は即ち旺盛なる色調の表現である、そこには惠まれたる健康こ豐なる人生こを生じる色調の衰褪は直ちに醜こなり倦怠を生じる。

整える建築に於いて絶ず人間に對してある心よき感覺を放射しつつあるのは其根原に於いて旺盛なる色調の躍動あるが爲に外ならない、

今や世を擧けて春の花に醉はんこする時暫らく心を放つて色調、人生、建築てふ世界に遊ぶも萬更無意義ではあるまい。

（三、三、二八、佳山生）

室内装飾としての植物材料

方米治郎

植物が装飾に重寶な所以

華麗な窓掛も清楚な壁紙も精巧な色硝子窓も各種の家具類も之等孰れもが室内装飾の主要材料ではあるが、眞に生々とした雰圍氣を室内に漂はせ快活な氣分を起させるには何よりも装飾材料として植物を使用せねばならない。それは灰色の現代都市の建築線を飾る一條の緑の並木帶が沈滯した都市の景觀に、瀟洒たる甦生の感じを喚起させる如うに、冷かな飾りを温かさうにするには挿花や盆栽か洋風盛花や草花の鉢物が最も好適な材料であつて、之こそ人間本來の自然を愛好する當然の要求であらう。

近着の『ハウス、アンド、ガーデン』にも又『カンツリー、ライフ、イン、アメリカ』にも植物材料を澤山に使用した室内装飾の實例が美しい寫眞で紹介されてゐたから、之等の一二を借つて新しい生々した室内の飾り附けに就いて必要な植物材料の選擇や配置管理に關して少し記述してみやう。

植物を装飾とした沿革は極く古い

西洋では昔から『花を愛する者は幸福なり』と云ふ金言があると聞いたが、洋の東西を問はず古今を通じて凡自然物を憧憬したことは人間の本然で共通であつたであらう。こうした氣分は繁激な現代生活の渦中にある人達にも亦是非共忘れてはならない氣分の一つで、それが實際には幾多の影響を齎らすことになるのであらう。想ふに太古の時代に於て吾人の先住民族が單に木を構へて巢を造る時代に於て室内装飾なんてことは全く夢想さへしなかつたであらうが、然し彼等も既に頭髪を飾るにも頸を装ふにも野生の花や葉を使ふことは知つてゐたらしい。こうした愛花癖とも云ふべき心理狀態は今日も猶装身具として椰子の葉等を好んで使用する蠻人の風習によつても追想し得るのである。神代史を按ずるに天の岩戸の神樂を奏し給ひしと傳へらる、天鈿女命（アメノウヅメノミコト）が胸飾に用ひられた緑の紐は、之こそ今日も廣く装飾に使用されてゐる『ヒカゲノカヅラ』即ち學名を『リコボヂアム、クラバタム』と呼ぶ石松科の隱花植物であつたことは史家が說いてゐる文獻に誌された名稱は或は天の日影（古事記）とか或は日影の蔓（延喜式）とあるが蓋し同一のものと察せられる。

海外に於ける例を尋ねてみるに、希臘の盛んであつた年代に有名なオリンピヤの祭典で、その勝者を表彰するに用いた月桂冠こそ即ち月桂樹（ローレルス、ノビルス）で造られたものである。餘談であるが今日ではこの種の植物の葉の有つ一種の香氣を利用してベーラム香水なんかゞ造られて化粧材料として汎く世界の人々に知られて來た。

本邦では挿花、西洋では盛花が發達した

國民的嗜好や生活習俗の異同、建築樣式の差異、之等種々の關係から本邦と西洋とは勿論裝飾として使用する植物の飾り方が同一でない。即ち本邦では挿花として獨特の發達を遂げ西洋では盛花として特異の進歩を見たのである。今この兩者を比較してみるに本邦の挿花には一つの主張があつてそれは秘傳とか奥儀とか呼ばれたもので、その要旨は自然を尚んで天地人の三方を型の要素にして自然美を失はぬ程度で、或は枝を撓め幹を矯めることが許されてあつて古流も遠州池ノ坊も表現の技巧は違つても恐らく精神に於ては變りはないのであつた。之に反して西洋の盛花は單に美しく華やかに盛りあげるのが主旨であるから方式も流派も無いのである　只忌み花（例せば葬儀には白いものを主に色ものを嫌ふやうに）とか花言葉による小さい規定があるばかりでこの點は頗る自由で開放的である。それであるから色彩の配合にさへ注意すれば誰にでも各自の巧者で立派に仕上げられる丈拘束のない自由な盛花の方が一日の長かあると思はる。近來日本の生活樣式も西洋風か加味されて一變して來たから、當然從來の日本の挿花も時代の要求に應じて改められなければならない、そして洋風の盛花がその自由な型と色彩美の華麗な特徴を陣頭に提げて、大に本邦古來の挿花の陣地を風靡して來た次第である。實際に就て考察するに洋風の住家が今日のやうに增加して來れば、その室内を飾るべき一要素となる花卉應用の之等の裝飾法も勿論革命されなければならないのは當然であるから、恐らく今後洋風の盛花か然らずんば洋風化された四方面から眺められるやうな新時代の挿花（今日新らしい一部の生花師匠達が試みられてゐる投入の系統）が產れて來て從來の挿花に代ることであらう。

盆栽よりも鉢物が一層要求される

生活狀態の向上と建築樣式の一變とは所謂文化生活を現出して舊來室内裝景の一材料として重寶がられた千金の技振を有つた盆栽よりも、今日では却つて安價な西洋草花の鉢物が一層要望されるやうになつた。この現象は日本座敷の違ひ棚や地袋の上、さては金屏風を背にした玄關口等で嚴然と飾られた盆栽が、價額の高いのと管理に骨が折れる爲めに一部數奇者を除いて一般の人達から遠さけられる傾向と、洋風を加味した生活樣式が入つて應接室も食堂も洋風の椅子と卓とに改められて中產階級には裝飾として不調和な盆栽よりも、安くて時々更新の出來る西洋草花の鉢物が好まれて歡迎される結果に外ならないのである。然しこうした傾向があるから將來盆栽類の用途が全然無くなるかと云ふに決してさうではないと思はれる。盛花が盛んになつても挿花も改善されたものが併行して裝飾に用ひられると同樣、盆栽類も必ず現代生活に調和したものが殘されて（例へば棕梠竹の寄せ植とか、或は蔓物の懸崖作りとか）用ひられるものも少くないであらう。盆栽は日本の園藝家が永い間に洗練した技巧を以て海外にまで誇つて來た一種の藝術品であつて、將來も改善された生活樣式に調和を保づならば滅亡すべきものではなからうと確信される。只近頃の傾向は何によらず安價であつて觀賞價値のある裝飾品が一般に歡迎される世の中であるから、價の比較的高い滋味のある盆栽よりも安くて華美な鉢物が賣れるのは實用品本位のマーケット繁昌の世態そのまゝで致し方ない次第である。

洋風客間に相應しい飾り方

花卉を應用して飾るべき方法は少くないが、それは或はクリスマスの夜とか誕生日であると

か特種な日の一時的な飾り方であるから、之等の花卉裝飾（フローラルデコーション）に就ては他日別に誌すことにして、こゝでは鉢物を主とした平素の飾り方を述べるに止めて置こう。

先づ季節と室の大小、暖房通風の關係等によつてその裝飾に供用すべき植物材料の選擇をせねばならない。特に夏向は葉物の涼しさうなものを主に之に清楚な花物を強調材料として少しく配するやうに取混ぜ、又冬季は室が暖房裝置があれば植物溫室同樣に思ふまゝな材料が飾れるが、然らざる場合には比較的低溫にも耐え得るものを選ぶことが大切である。溫室で培養したブリムラやシネラリヤを持ち歸つて早々花が衰へ葉が凋れるのは多くは溫度の急變による凍死が多いやうである。寢室や居間は多少火氣があつても客間などは夜中全く火氣を絶つことが多いから特にこの點の注意を忘れてはならない給水と云ふことも植物の管理上大切な事項で多くても少くても勿論不結果を招くから、大體に於て草花類は毎日少量宛、又樹木のものは隔日とか三日とかに多量を給水することに心掛けて多くの場合鉢の表土が白く乾燥したものは不足な證據で且つ植物は葉や莖の樣子で水分の不足を告げるものであるから、少し注意して慣れてくれば水分の過不足を容易に察知することが出來るものである、概して暖房のある室では乾燥することが早いのは當然で給水も噴霧と共に瀕繁にせねばならない。

偖て、一つの室を盆栽なり鉢物で飾るには如何んな配置にすべきかと云ふに、それは室の大小、構造、他の裝飾との調和釣合などで一樣には述べ難いが、要するに八疊乃至十二疊位の大さの洋室とすればこの頃なれば中央の『テーブル』の上にケンチヤ（椰子類）の鉢物でも据えて『マントルピース』の上にはブリムラシネンシス（櫻草の類）かシネラリヤかの花物を又側方『チーテーブル』の上には『ソファー』に近く何か一寸したカーネーションの盛花でも置き、窓際にはアザレア、フリージヤ、クロトン、カラー、ネフロレピス、ゼラニユーム、アスパラカス等を取り交ぜて配列すれば綺麗である。入口の兩側には棕梠竹と斑入葉のゴムノキの鉢物の大きなものを一つ宛置けば丈夫で永年愛玩が出來やう。之等は凡て二三十圓餘で買入れられ過半は丈夫で永く觀賞して育てられるものばかりである。

【挿入寫眞の說明】

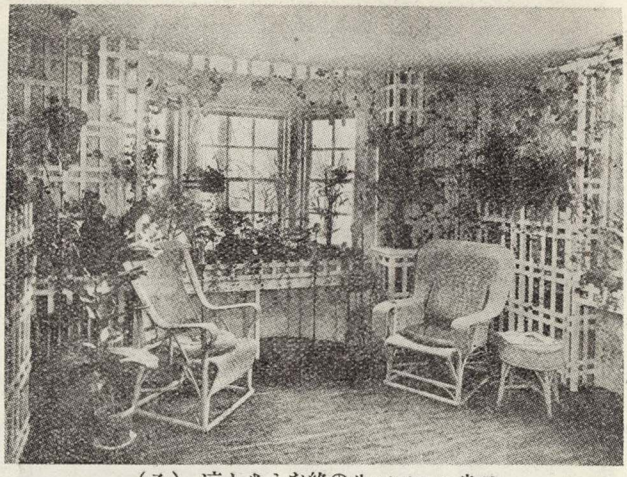
挿圖の（甲）はサンルームを植物で飾り立てたもので、中央卓上には各種の水仙を挿した銀の盛花器を据え、正面窓際には桃の挿花を中心に兩側にネフロレピス（羊齒類）やアスパラガス、ブレモサスナス等の鉢物を數個配列し、隅を廻つて窓際の棚には『スタンド』を挾んでマグレツ、アデヤンタム、ボインセチヤ、ランタナ、ベコニヤ、ヘリオトローブ、シブリペヂユウム、ブリムラオブコニカ等の香氣の高い花物や綠色の美しい葉物を交互に陳列してある。又『ステツブ』の兩脇には大きなモンステラデリシオサやガスマルのやうな觀葉熱帶植物を飾りに置い



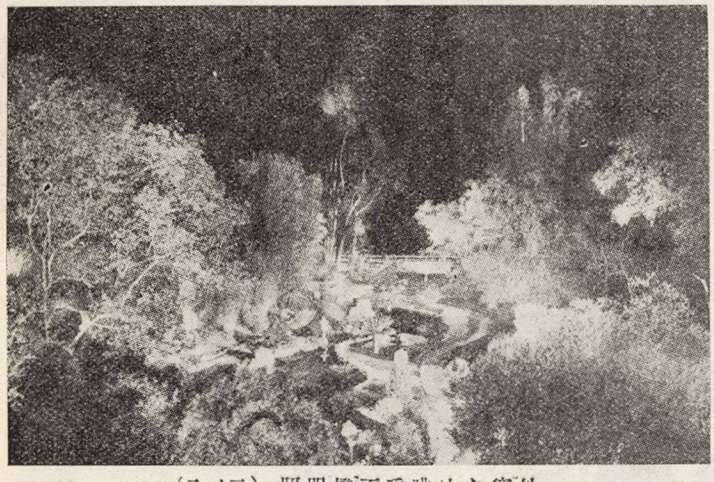
サンルームを飾られた植物（甲）

てある。この室は之等各種の植物を越冬さすに夜間氣溫攝氏の十四五度以上を保たねば枯損の恐れがある。

（乙）の方は植物を裝飾の主材とする爲に特種な構造に造つた『サレマーハウス』の一例で、クリーム色スタッコの壁面には格子狀の柵を造り白ペンキを塗り、この格子へ鉢植にした種々の蔓生植物（クリンギングプランツ）（ツタ、アスパラガス、ホネーサックル等）を纏絡させ、又窓際には『ウヰンドーボックス』を設けてこゝにケンチヤ、ゼラニーム、シペラス、マグレッ、ドラセナ、クロトンクリビヤ等の觀賞植物の鉢物を配置してある。又籐椅子に近く鉢物大葉のゴムノキ（フイツカス）が偉容堂々と陣取つて置かれてある。蔭裏の方の棚にはネフロレピスやアヂヤンタムの羊齒類が置かれて綠の植込を作つてゐる。こうした配列は夏向には恰好の飾りであらう。



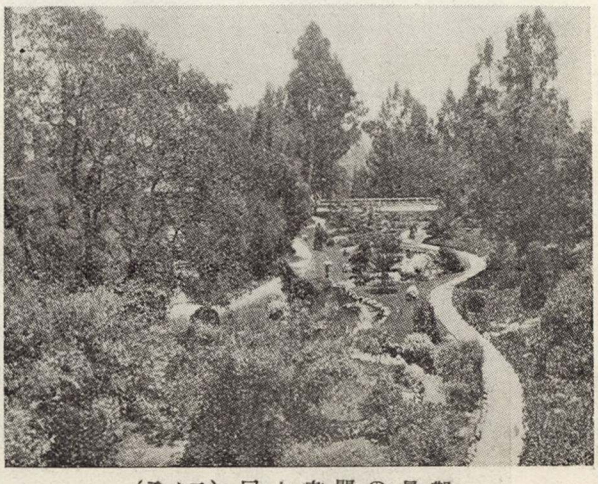
スウハーマーサンの綠なうさし涼（乙）



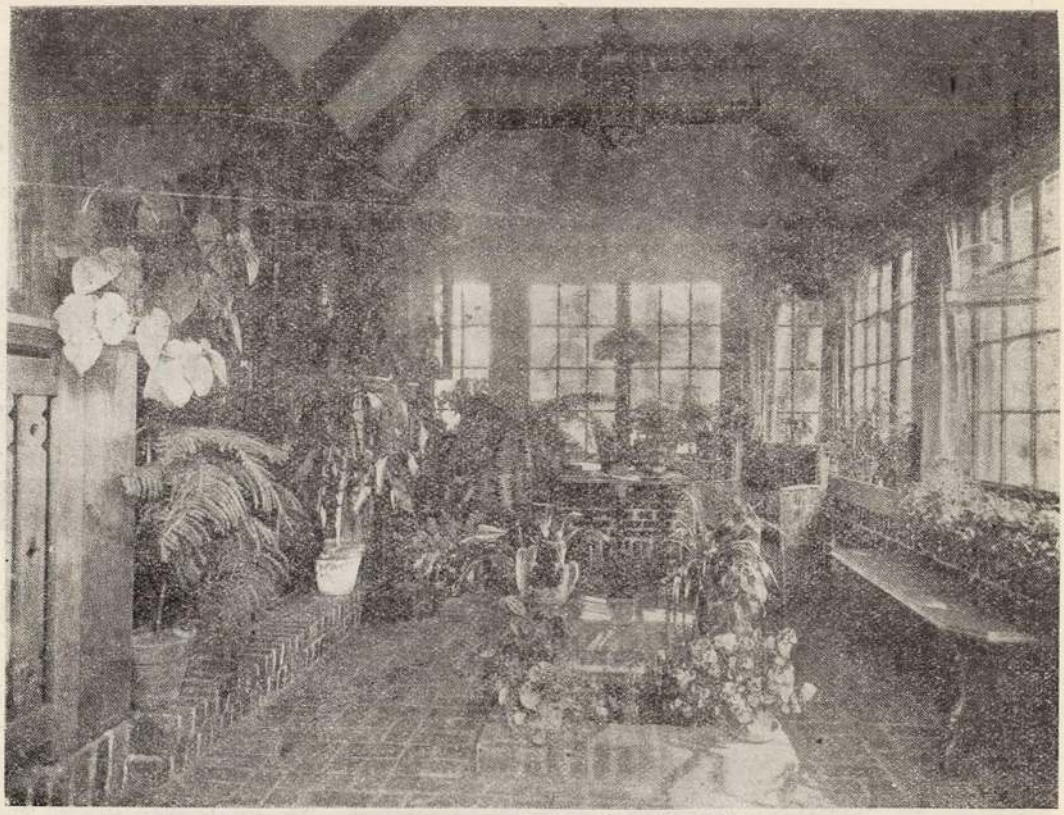
外窓ため眺で下燈明照（二ノ乙）

（丙）は中央に小さな『プール』を有つた『サンルーム』の煉瓦舖裝の床上にフイツカス、ベコニヤ、アロウカリヤ、ドラセナ、マランタ等の觀葉物の鉢植を澤山雜列して、更に窓際の植込棚にはコリウス、ゼラニウム、ボストンファン等を飾り、釣鉢にはスプレンゼリーを天井から垂れさせてあつて又中央の『プール』にはニンフイヤを浮かして冬も綠の影を漂はさせてある。

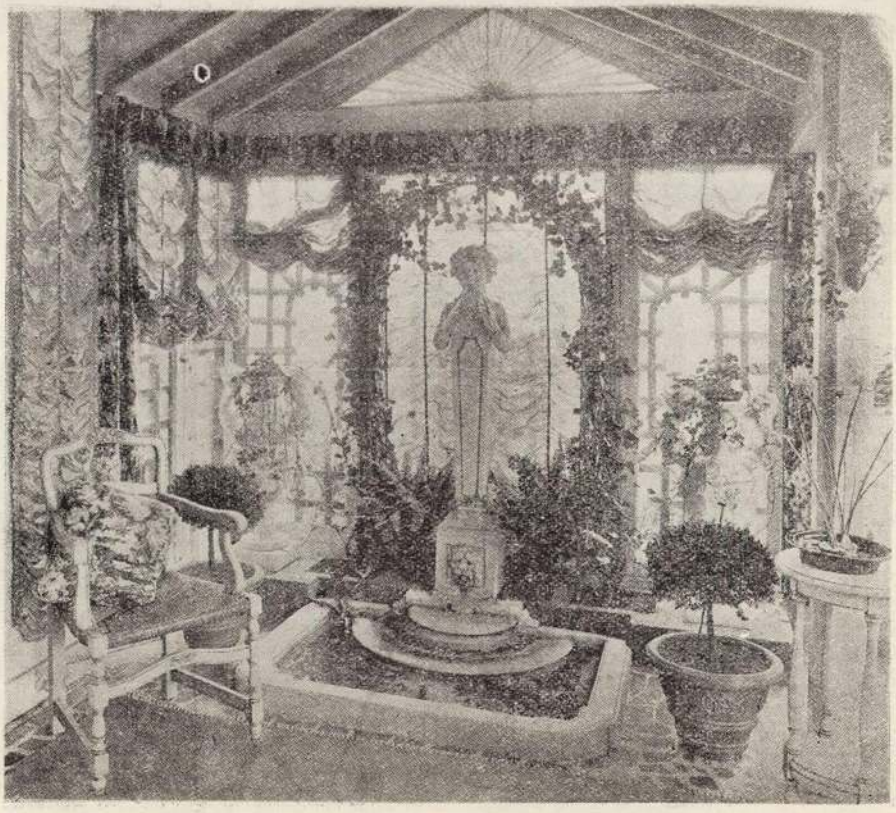
（丁）は『スプリング』のある室で水溜には水草を浮かせ兩側に丸刈仕立のアザレアを鉢植にして置いてある。マーブルの神像の後にはツタを



觀景の間書上同（三ノ乙）



（丙）生々とした色彩で飾り上げた「**サンルーム**」



（丁）「**スプリング**」をもつ夏向の客室の飾り附



チーホンサンつもゐ井天の絲（戊）

チ』の涼しさうな光景で『テーブル』の上には大きな鉢植の羊齒を、又一隅の鉢物は西洋アジサイの見事に咲き誇つてゐる姿である。

和風客間に適當した飾り方

盆栽と挿花とは昔から日本座敷を飾る植物材料の雙璧であつて、今更改めて、こゝに贅言を要しないのであるが、盆栽に就てのみその鑑賞論の概要を一寸述べて置こう。盆栽は本來は盆栽そのものを主體として鑑賞すべきもので、盆裡に移されて自然に人工を加へた植物が如何に審美的であるかに價値が生じ鑑賞眼もこゝを的として批評を加へ優劣を論じたものであるが、こうした鑑賞振は所謂盆栽通でなくては出來ない仕事である。そこで盆栽が實用化されて今日では一部の人達には別として一般には骨董品から一歩進んで室内裝飾の材料となつた次第である縁日の植木店から求めた盆栽は誰しも盆栽そのもの、鑑賞は從として、殆ど室内裝飾用に使つてゐるやうである。そこで室内裝飾の具に供する以上は必ずやその室に調和するやうなものを選擇して植物の裝飾材料としての使命を達せしめねばならない。和風客室で盆栽を置くべき場所は第一に床を推さねばならない。そして床には掛幅があるから之等の書畫と盆栽とは最も調和することが條件の一つであることも忘れてはならない。普通に鑑賞さるゝ重な盆栽類を四季別に揭げてみれば

春季――梅、竹、春蘭、松、萬年青、寒菊、水仙、等々

夏季――槻、梧桐、笹、王簫、柳、百日紅、石菖、等々

秋季――柿、菊、櫨、檜、蔦、柘榴、七草、等々

冬季――欅、臘松、南天、木瓜、福壽草、雪割草、椿、等々

繩はせた『アーチ』があつて滾々と湧くライオンの泉を周つてボストンファンの鉢を置いてある（戊）はツタを天井一面に絡はせてある『ボー

猶盆栽を形態から分けると

立幹、懸崖、半懸崖、叢生、石付キ、根上リ

水盤物

の七つに分類され更に立幹が細分されて直幹、單幹、雙幹、武者立（ムシャダチ）、寄植、千本物等に分けてあるから、之等の形狀によつて置場所も飾り附けの方法も夫々適當に考慮せねばならない。

鉢物の外面は斯く美裝すればよい

盆栽の鉢は多くは支那燒とか瀬戸とか伊萬里とか相當外觀美の整つた色合も形狀もよく調和した高價なものを選んであるから心配はないが西洋草花とか溫室栽培の觀葉熱帶植物類は殆ど孰れもが素燒鉢の粗末な品でその外觀が甚だ貧弱であるから、之等の四寸鉢乃至八寸鉢を飾る爲めに近來種々なものが作られてある。即ち竹籐、アケビ、麥藁眞田、經木眞田、木片、紙片等で造られた裝飾用の外鉢でその形狀や大小も種々あつて風雅なものも俗惡なものも千態萬樣であるから、之等を求められる方は充分耐久力や意匠の善惡、價額の高下を調べて比較研究の上で選擇されないと、折角裝飾にと求めたものが却つてその主旨に逆らふやうな結果にならぬとも限らない。單に一時的の裝飾に使用するやうな場合にはナプキン紙のやうな『クレツプペーパー』の色合の良いものを求めて、之で素燒鉢を全體包み込んでリボンの鉢卷をして置けば立派にお化粧が出來上る、卓上裝飾のやうな來客の際丈に使用する場合は經濟的であるからこのペーパーで飾るやうである。

植物の保健にも注意が肝要

溫室の內では常も園丁が細心の注意を以つて植物の衛生に考慮してやつて居ればこそ、軟弱な花卉も濕氣を欲する蘭類も育つのであるが、一度客間の裝飾材料として持ち込まれると殆ど彼等の生育狀態も無關心にされるから、或は害蟲や病菌に侵されたり或は溫度の不足や給水の不充分な爲めに高價なものや珍らしいものも枯死して了ふことが多いのである。管理に素人な人達には無理ならぬことではあるが、然し少しの手入で立派に枯死を免れて育つて行くものであるから、常も給水と溫度の調節とを忘れず、又若し害蟲（カイガラムシ、スリツプ、アブラムシ、アカグモ）等が眼につけば指先で直ぐに捕殺してやつて除いてやれば被害を免れて永く鑑賞が出來やう。何分生物を裝飾材料として取扱以上は少しは面倒を見てやらねば好結果は得られない。最近賣り出されてゐる驅蟲藥でデリス石鹼粉末と云ふのがあるが、之はデリスと云ふ熱帶植物の根から採つたもので、之を五匁位を水一斗位に稀薄した液を筆先か噴霧器で撒布してやれば大抵のものは驅除出來る。又蘭とかゴムノキとか葉の厚い所謂革質葉のものは海綿（スポンジー）の小塊を前記の石鹼水で浸して、之で一ケ月に一度位葉の表裏を叮嚀に拭ふてやることが害蟲の豫防に大變効果の多いものである。營養分の補給としては室內では文化肥料のやうな臭氣のない化學肥料を水に稀釋して施してやるに止め三ケ月に一度位の割で時季の好い折を見計らつて戶外に鉢のまゝ取り出して、そこで日光にも充分浴させ肥料も適度に施してやつて一ケ月程養生させてやるのも大變よいことである。然し開花を終つて凋落する草花類にはそんな必要はない。要するに室內裝飾に植物材料を供用した場合は常も生物であることを念頭に置いて貰つて相當の愛護を加へてやれば、綠の葉も紅の花も生々として不絕の春が居室を訪れ、其處に自然味豊かな別天地が日々に伸びて行くであらう

如何なる種類のものを選定すればよいか

最後に洋風又は折衷の客室を飾るに適當な室內觀賞植物としては、如何んな種類のものが相

應しいかと云ふに、先づ可成四季を通じて眺めるものが好ましい。勿論外觀が觀賞價値のあるられ、比較的低溫(攝氏十五度乃至十度標準)に裝飾の目的に供し得るものであることは云ふ迄も耐え、性質が丈夫で、病蟲の侵害に對抗し得もない。

試みに左に之等の條件に合格して一般に推薦し得る種類のものを觀賞する部分によつて分類して一覽表にしたものを附記することゝしよう

A 葉を主として觀賞するもの

名稱	觀賞時季	性狀概略	摘要
アスパラガス、プルモサスナヽス	年中	綠色の房々した細葉	俗に蓬萊竹と云ふ
同 スプレンゲーリ	同	同 粗葉	此方は釣鉢にも適す
アヂアンタム	同	女性的な美しい綠葉	ハコネシダ、クジヤクシダの類
ネフロレピス、ボストニエンシス	同	男性的な丈夫な綠葉	ボストンシダと俗稱す
同 マーシヤリー	同	稍柔かみあるもの	前より弱けれども美麗
セラギネラ	同	檜葉の樣な美葉のもの	種類多く廣く裝飾に用ふ
シペルス、アリタニホリヤ	夏期	一二尺にて叢生す	傘草と俗稱する水草
同 パピルス	同	丈高く寒氣に弱し	前の細葉のもの
プラチセリウム アルシユルネ	年中	額面風にベコ材に植らる	俗にコウモリランと云ふ
クロトン	同	葉形と葉色とは色々	紅竹と云ふ程斑色もあり美し
パンダナス	同	雄大な劍狀の葉を垂る	タコノキと呼ばれ小笠原に多し
ドラセナ	同	種類多く色彩にも富む	千年木とも稱し葉四方に擴がる
ケンチヤ ベルモリアナ	同	普通にある椰子の鉢物	特に寒さを嫌ふも丈夫なり
同 ラオルステリアナ	同	前者の細葉のもの	暖房ある室なれば良く越冬す
リヴイトナ キネンシス	同	椰子の中の代表的なもの	前の二つ同樣卓上裝飾によし
インデアン、ラバー	同	五丈にも伸びるが鉢物にも用ふ	丈夫で『ホール』の裝飾に適す
ブウゲンベリア	春—夏	灌木にて新葉美麗なり	ハナヰカダとも稱し柵に副はすもよし
マランタ	年中	二三尺の草本、葉斑あり	姬芭蕉とも稱し小鉢に適す
ペヽロニア	春—夏	一尺位の草本、葉に紋あり	寒氣に弱きも小鉢向によし
ロウスデスカラー	春—秋	一尺位の草本、劍狀葉	ムラサキヲモトと稱し丈夫なり

パニカム	春—秋	二尺位の垂下する草本
コレウス	春夏	二尺位の草本、葉色美
アロウカリア	年中	杉葉の形狀面白きもの
ボインセチヤ	冬	赤き白きの斑入葉美なり
ネペンテス	年中	懸垂狀に生じ珍らし
アンスリウム	同	赤と白きの苞を有つ
モンステラ	同	丈夫な氣根の熱帶性
アブチロン	春、夏秋間	楓に似て斑入葉美し
大谷渡り	春、夏	羊齒類で葉渡り二三尺
チモラン	年中	丈夫な堅き葉を生ず
蘇鐵	同	分岐したものを尚ぶ
仙人掌	同	種類多く花も又美し
ヘゴノキ	同	木性羊齒にて丈夫
月桂樹	同	葉香氣あれば愛好さる
棕梠竹	同	葉姿剛健にして美なり

次は花物であるが之は主なものゝ變つたものゝみを示さう。

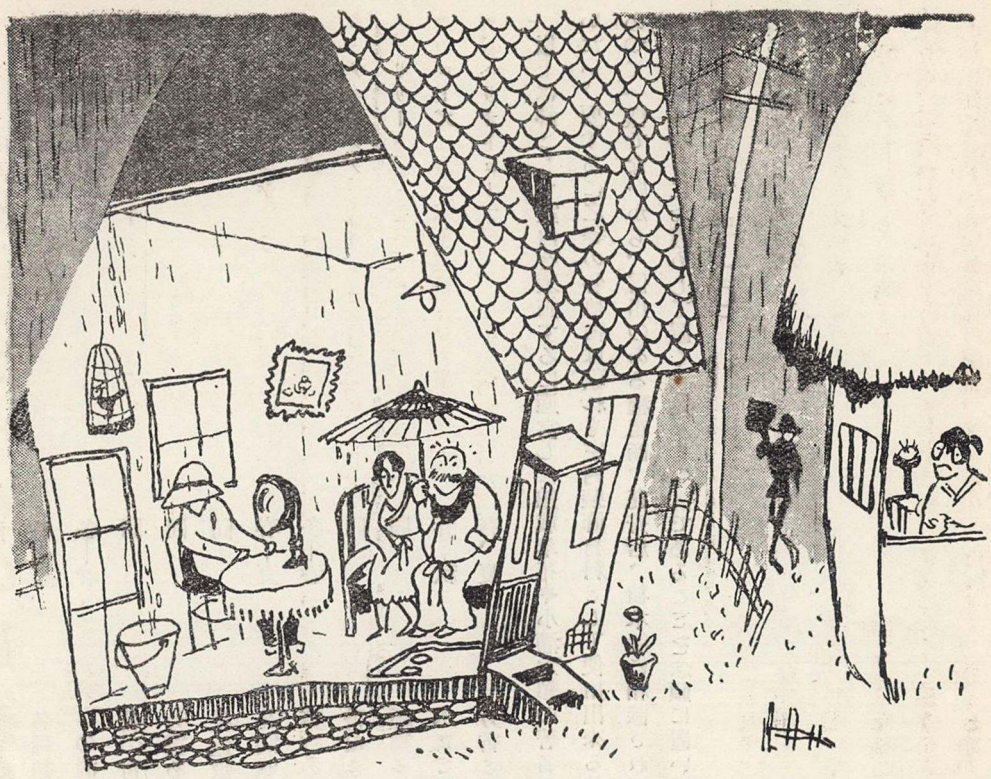
B　花を主として觀賞するもの

名稱	觀賞時季	性狀概要
シプリペジウムインシグネー	年中	洋蘭中の丈夫なもの
デンドロビウムノビール	同	同前
パツシフロラ	同	蔓性木本にて花美
ランタナ	春—夏	小形灌木にて小花密生す
ヒドランヂヤ	夏	三四尺の丈あり花特に美
アザレア	年中	一二尺の灌木、花種々あり
ベコニヤ	年中	種々あり葉も花も美

摘要
釣鉢にも窓箱にも面白し
加溫すれば冬季も育て得
南洋杉とも六角杉とも稱す
『クリスマス』に必ず用ふるもの
ウツボカズラと云ふ食虫植物
珍奇な裝飾として欣ばる
電話草と俗に呼ぶ
窓の裝飾に多く用ふ
熊野地方に多く蔭地に適す
原名『ユッカ』と稱し戸外にも植へらる
葉の更新期は觀賞に適せず
カニ葉の如きは釣下げにもよし
寒さを嫌ふも雄大にて廣間に適す
戸外にて植栽するも室内にも良し
丈夫なれば低溫にも堪ゆ
摘要
花も葉も眺められ低溫にも保つ
石斛蘭と呼ばれ一般に知らる
時計草と稱し柵に纏はすに良し
姫アジサイとも云はれ可愛らし
西洋アジサイと俗稱し大鉢植とす
溫室なれば冬季を開花す
溫室なれば四季開花

ゼラニウム	同	色も形も種々あり變化多し	殆ど周年開花
カーネーション	同	芳香、色彩、西洋草花の王	溫室なれば冬も花を得らる
プリムラ	冬―夏	各種類共色も數種	開花せしものは低溫にも保つ
シネラリヤ	冬―春	冬の溫室草花の魁	暖房ある室の飾りに限る
カーセオラリヤ	同	花の奇形なるを欣ばる	巾着草と呼び冬は暖房を好む
フリージヤ	同	芳香あり色は白、黃、樺	比較的低溫の室にも育つ
シクラメン	同	花色數種あり花美	花期長く丈夫に保つを得
グロキシニヤ	春―夏	花筒狀をなし艶麗	夏の鉢物草花として第一
ヒヤシンス	冬―春	芳香あり色彩又美	鉢物にも切花にも良し
チユリツプ	同	香なきも花色一層美	同
リリー	同	種類多きも白を尙ぶ	同
ローズ	春―秋	木立と蔓性とあり	鉢物にも棚仕立にも用ふ
ヘリオトローブ	春、夏	芳香と可愛な花形をもつ	鉢物及切花裝飾に適す

以上は鉢として室内を裝飾するに適當した舶載草花や小灌木類の著名なものを選擇したので、本邦在來のものは一切省略してあるから御含み願いたい。要するに之等の各植物は孰れも室内裝飾材料として使用出來る恰好のものばかりを列擧したのではあるが、然しその生育上の難易は種々あつて一樣でないから、信用のある種苗商、花卉店、植木師に相談されて、その時期、使用場所、價額等の條件によつて、最も適當なものを任意供用されるやうにお薦めして置く。吳々も生物であることを念頭に置いて愛護してやつて頂きたい、それが室内を永く美しく飾る第一の必要條件であるから。(三、三、二〇)



六百圓の文化住宅

蘇牛作

文化住宅の條件としてお定りの赤屋根に小鳥ラヂオにスリッパ席告の切り抜きでもいい額が一二枚籐椅子にコーヒセットと其れに圓本の全集もの本棚是れで先づ及第所もしも學校の先生がメンタルテストで文化住宅と言つたら是れ丈け言つとけば先づ大丈夫。

ある婦人雜誌社が自分の創案になる安價住宅の建築法が紹介された、いよ〳〵滿都の腰辨君の間にその六百圓住宅建築熱のセンセイションを巻き起こさせて仕舞つた。

儘よござふせ六百圓一寸おしい氣もするがネ今さら仕方も切り方もねいやつて仕舞へかつがれついでだ。

◇　◇

さて出來上つたのは是れだ、呼鈴のあるのが一寸嬉しいネ。

『いや是れも文住の條件の一つだからネ

『こふ家の中で傘なんかさしてるなんざあ振つてるネ芭蕉翁が生きてりや喜んだかも知れねいぜ

『場所―柄あんまり大きい聲ぢや言へねえんだよ

テラコッタの建築物に及ぼす
——美的價値——

澤部實之介

建築は空間美術の一種であつて、又同時に造形美術の一種である事は否定出來ない物である。

建築の空間は外から見れば充實した立體のやうであるが、それは寧ろ彫刻的の見方であつて內部は空虛な空間である。建築は繪畫や彫刻と違つて住むと云ふ實用がある、又構造上は科學の法則に從はなければならないので、實用と科學とから束縛されて居るのである。

爲めに建築は羈絆藝術であつて自由藝術でないとも云ふ說もあるが、繪畫、彫刻と雖も實用と科學との束縛は必しもない譯でなく、要するに程度問題なので、建築は比較的束縛の多い自由藝術と云ふ方が妥當なのである。

美と云ふ事に關しての美と云ふのは、美學上哲學上、倫理學上の問題であつて、眞善美と鼎立したものとすれば、眞は知の理想、善は意の理想、美は情の理想で、三つを統一して理想とする事が出來る。

知とは科學、意とは道德、情とは藝術の意をさすのである。

又一面に於て、美と實用を對立せしむれば、美は實用意外のものであるが、美即ち實用と云ふ傾向もある。

美が快樂と關係の深いのは拒まれない事で、マーシヤルは、永久の快樂が美であると云ひ、サンタヤーナは、客觀化された、快樂が美であると說いた。

美の種類に具象美と抽象美とがあり、又自然美と、人工美がある。藝術美は人工美の主要な部分を占め、山水、花鳥、天體は自然美の總である　而し美は藝術の總でなく、近代の藝術には美に對する醜を含み、又、眞をある程度の目的とする、古くは殆んど美のみを目的とし、善を一部の目的とした事もあつたのである。

裝飾は、ある物の目的を助くる爲め、少くとも目的に反せざる程度にて、之れに變化を加へ又は他物を加へる事。廣い意味で云へば藝術的分子だとしても差支へあるまい、藝術の內で建築を裝飾するのに、彫刻や繪畫を用ふる事があり裝飾美術を以てする事がある斯の如く裝飾と云ふ言葉は、二重にも三重にも用ひられたから間違へてはならない、壁畫は建築を製飾するが繪畫としては必ずしも裝飾美術でない。

人間の本能即ち美に對する慾求、其の原因と結果、其の効果に對する說明を略し、先づ建築と美と裝飾との三定儀を略記したのである。

一　過去に於ける裝飾と材料との關係

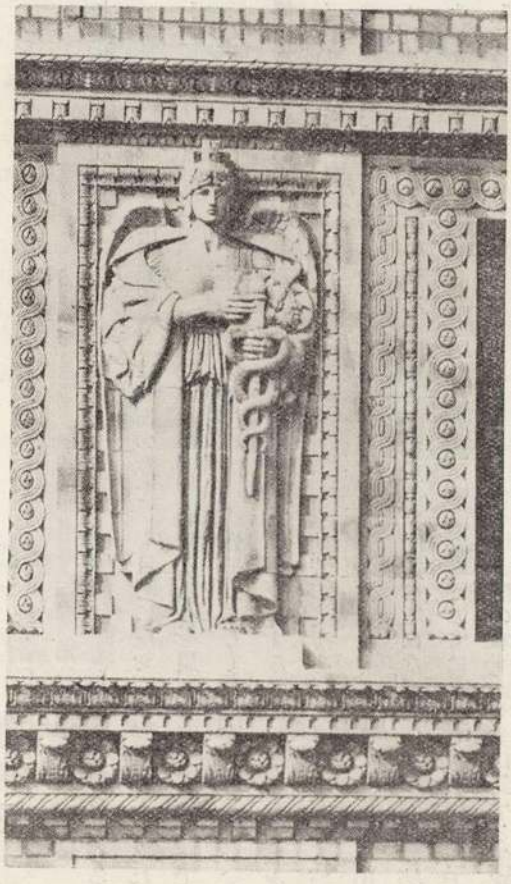
人間が自然の征服の常勝軍の如く、又其の天然の產物に對する征服をも、わする、が如き事

をわすれなかつた物である、而し土を持つて之れを加工する事を知り得たりとするも、之れを焼き硬化せしむる事を知らず、又自然に發生する木材を利用する事よりも、硬化力を有し雨露に對する耐久力の大なる石を使用する事をわすれなかつたのであつた。

而して之れが美裝化する事に對しての構想、手法は、決して吾人の知る如く勝つて居るも決して劣つて居るとは申されない事を知るその彫刻たるや、後代に範たる可き物幾何たるや數を知り得さる位たり、之れ材料の豊富たる事、技工に對する自己の技術の信賴と、材料制限に起因せる況狀にあるが故にして、之の材料種別の制限は技術上の進歩發達即ち技工上の向上と云ふ可き事に對する一大努力を能へしめた物であつて、之れは現在の如く多くの建築材料を有し諸種の技能と製法の發達に比すれば雲泥の差のある事を知る物である、これがために同一材料を使用して之れに施行なす手法に於ては際限なき迄發達した事は我が國に於ける推古期に於ける法隆寺の金堂が木造建築の至寶として其の範を現在にたれて足るが如く石材を主材としたる構造建築の發達と、進歩は當底想象をも許さなかつた物であろう。

二　天然材料と需用上の關係

前にも記した如く石材は天然材料の一大原素たる物である、而し之れが採用上に、運搬に、構造學上からの見知より、又時代の變遷に依り單に天然材料にのみ信賴する事を許さなくなつた物である、こゝに於て、天然材料の石材にのみ信賴する事なく、天然上の加工法方を案出するに至つた物である、即ちこれ、煉瓦としての



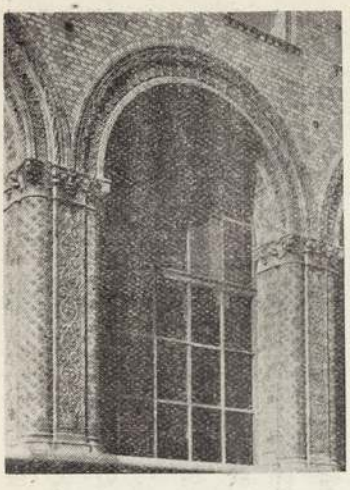
云わざる可からず、然るに又他方面より見るに一片の煉瓦を持つて積層する積層建築物の構造上の不安は決して吾人をして滿足をしてあたへしめなかつたのである。

即ち、鐵骨造、コンクリート造の起るあり、耐震耐火的なる故を以つて鐵筋コンクリートの隆盛を見る現在に至れり、こゝに於て、過去の實狀は現在に於ては想像し得ない迄に相入れなくなつたのである、時代の變遷は決して、一小地方にのみに於て止まる事を許さなくなつたのである、交通文明は、其の土地の遠近を語らなくなつた物であるが故に、其の數量に際限を有する天然材料にのみ信賴する事を以て能事たれりとはせしめなくなつた物である。

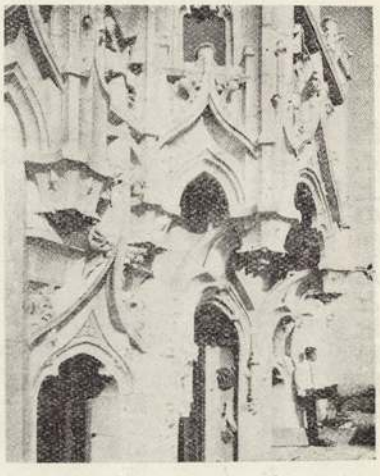
三　材料の經濟上に及ぼす關係

社會の進歩發達と、生産消費の關係等より、天然に發掘し得る材料を以つて、建築構造上の一大要素とせしむる事不安は燃料に於ける石炭の如く、決して之れに歸得する事を許さざる狀態となり、こゝに於て天然材料に變ふるに人工材料を以て建築材料の一要素たらしめんがために、案出せられたる物あり。

然りと云へ共、其の生産は消費と伴ず、單一企業者に依る生産品の不統一と、製品の造量は決して、其の需要に應ずる事を許さざる狀態にありたり、故に物價は之れに伴ず小製造法の不備なる點を曝露せるものであつたけれども、人口の增殖、企業家の統一供同出資、多量製産に依る職業の分業分業に依る技術の進步故に製品の改良を來し、其の需用を大にせしむる利益と



利便を、建築上に能ふる事を得せしむるに至つた物である。



故に其の材料を天然産の物に依るよりは人工産品に依るの特種利益の存する事を熟知せるも其の極部的構造材料たる彫刻及裝飾用品に對する技工と考案又は其の製法の不充分より該分部的の物に限り天然石を用ひ之れに彫刻を於し又は比較的早くより發達せる鐵材の鑄物を用ふる事とせりと云へ共、構造學の發達は決してそれを以て滿足を能へず、セメントの利用を來すコンクリート造建築の發達に從ひ、其の表面仕上けに於ける至達點に於て、建築家をして不安ならしめたる美裝方法はやがて、張り付けタイル迄の考案を至せりと云へ共、色彩の單調なる點に於て今一分の考慮を要する事を認めらるに至れり。

然れ共、之れが製法に手法に一大改良を加ふる共、其の需用が之れに伴ざりしがために、之れが製造に着手し得ずして、高價なる代用品を求むるに困難を感ずに有樣を告げる如くなつた物である。

而し秩序ある製産方法が資本の增大と事業經營の形態と、協力勞力の區分に依つて、親格等一ある製品の製造を、優秀なる技術職工に依りて多量製作し得る時代を來し、同一製品。他製造業者に對し競走的良心に依り、物價の安定を量り、こゝに於て、人工製品の天然材料より有理なる立場と安定及經濟的見地よりの使用材料として、一大勢力を有するが如き現狀を呈するが如き狀態を見るに至つたのである。

四　天然石と人造石の建物に及ぼす感度

天然石には自然の有する自然美がある、石其の物に有する己有美を存するが故に、他の追從を許さない氣品を有する物である、而しながら天然石は加工に依つて表わされる處の感度は決して多種多用な物でない、平面的に、又は立體的に形態の變形又面の凸凹に依る變形を生ぜしむ事は人工的にも許される處なるも、之れが色彩的方面に於ける加工たるや全く不可能なりと云ふも過言に非らず。

而しながら、天然石の有する自然の氣品は決

して他の追從を許さず過去の偉大なる建築物が吾人の眼前にあたへるその莊嚴さは實に天然材料の有する氣品の集合の發揮され居る事に依る物に他ならないと云わなければならない、天然材料の有する特美はこゝにあるとも云へるのである。

又一方に於て、現在の如く構造上の制限が過去の嚴ならず各種の手法が用ひらる場合に於ては色彩的に特長を有しない天然石又はその材料に於ては其の要求に應ずる事の出來得ない場合を生ずるのである、この點に於て惠れたる材料は人工的な物である、色彩の配合、形態の變形等各種各樣の案出を許され居る物と見られ居るのである、而してこゝに於て、之等の材料が、はたして現在の各種建物の求むる天然材料に變ふる人工的材料として滿足を充分にあたへしむる事を得るであらうか。

此等材料の餘りに、單調な製法と手法は、決して吾人をして、不安より脫せしめない物である事を知らなければならない、而しこれは製法の折劣なる事に起因す可き事柄を多く有するのである、改良進歩の點はこゝにあると云わなければならない、人工材料の特長は各種一形態品の製作と色彩の自由案出にある、この點を更に研究し進歩せしめなければ天然材料に劣る共優る事は望む事を許されない物である。

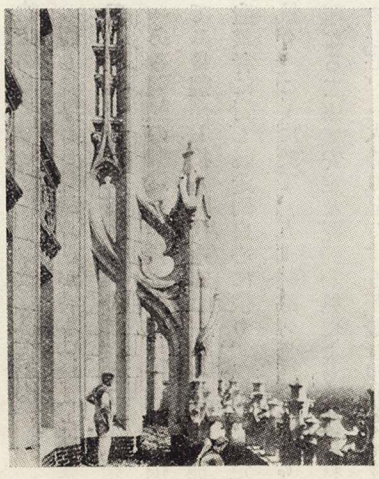
之の點に於てテラコツタの如き、總ての點に於て有利なる立場にある物と見なければならない、今やその發達もすこぶる合理的に進歩し、技の進、形の美、配材の妙は今やその眞實を表現せんとしつゝあり。



五　構造上の發達と材料制限

時代の進運に從ひ、世の總ての事物が極めて合理化せられ、實利的に發達せんとし、勞働運用の、合理的組織は建築構造學上に及ぼす結果と、材料の運用に一大センセーションをあたへんとし、機械力の發達は又力學的、勞力の運用に充分なる發揚をあたへしめたり。

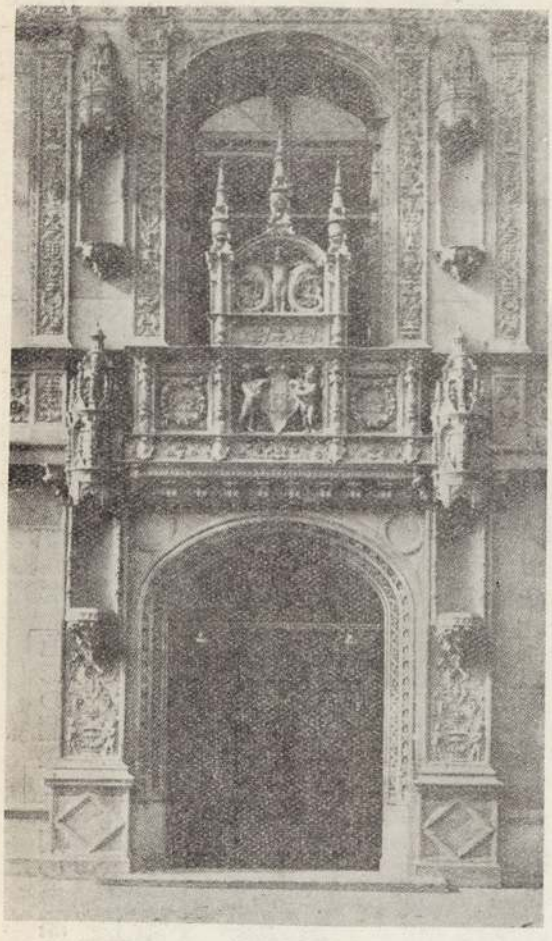
故に外面的裝飾の如きは過去石層建築の如く壁體の一部を構成せる一少部分の石の外面を彫刻したるが如き方法は之れを許さず、全く力學的方面よりの考察を除外せしめたるが如き有樣となり、單に裝飾的にのみ使用せられ來るが如き結果を來すが如き現狀にして、之れがために裝飾的材料は著しく經減せらる如くなり、又材料も各種多樣の物を考案案出せられるが如き結果を來せり、テラコツタの達散も今後に於て大いに利用せらる可き狀況を示さん。



故にテラコッタとしての使命は外面的裝飾には解く可からざる材料の一つとなれる事にして近代的の建築學上及實用的方面より又經濟的方面より見る時は決して他の諸材料の追從を許さず獨歩の地位を得、無我の境を行くが如し。

六　人工美と感受性

自然の物には自然の美しさがある、又人工的の物には又人工的加工に依りて他の追從を許さぬ物である、現在に於てに過去の如く天然材料を以て、建築物を創造する物でない、ほとんど人工的製品の集合に依つて一つの形づくられた



る建物を創制して居る點は大いに過去と其の趣を異にして居るのであるから過去の建築材料をのみを以つて滿足する事を許さなくなつた物である。日進月歩の今日建築材料に於て殊に陶業に於ける研究はすばらしい勢力を以つて進歩を來して來た物でそれが故に天然材料に對して決して劣つた物でない、又多種多樣なる點に於て決して天然材料に劣つて居ると は唯しも感じない。

然らば材料に於て斯の如く豊富なりとせば、各其の材料が建物上に使用せられたる場合に於て其等裝飾的美的感を受くる吾人の感受性は如何なる物であらうか。

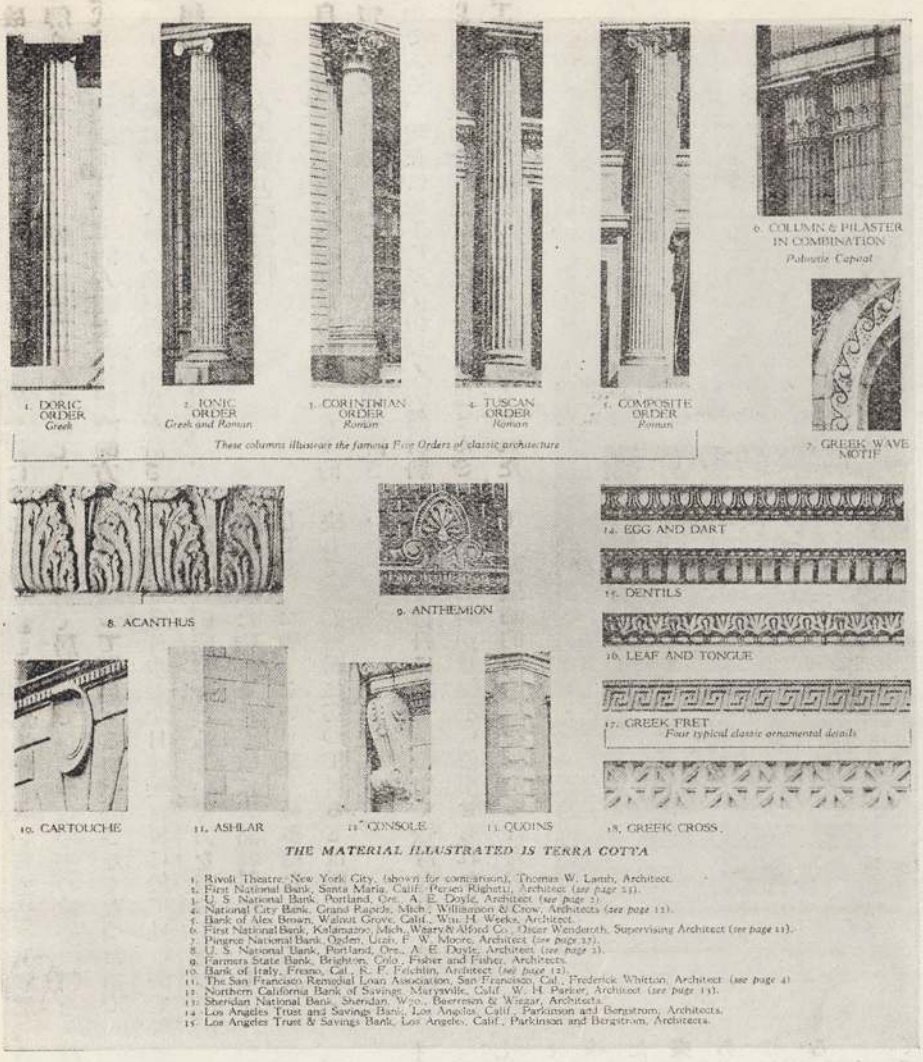


ある場合は非常に好感を能へる場合もあらうし、又ある場合は惡感を能へるであらう、而しこれは人工的製法に依る材料を一は善良なる意味に使用せられ、一は惡用せられた場合に起つた事柄に過ないのであるが、何が故に惡結果を來す可きかと云へば申す迄もなく材料の惡用にある材料の惡用は即ち撰擇の不備にあると云ふ可きである、撰擇の不備は材料の亂用に起因する物である事を知らなければならない。

而し其の材料の亂用は何が故に起るかと云へば即ち材料の撰擇の自由、即ち人工的に製作せらるが故に天然材料の如き各種の制限を受けない點による物である。

而し又一方に於て人工的方法に依つて作製せられ居るが故に建物と調和を色彩に於て形態に

於て其の撰擇の比較的自由を有するが故に、それに依りて受くる美的觀念は決して不規則なる物であるとして放棄すべき物でない事は明白なる事實さなつて表われて居るのである。



七　色彩の撰擇と彫刻の自然性

色彩の撰擇にあたつて現在に於ては殆んど自由なりさ云ふも過語ではないに製品の發達を來して居るが故に色彩上の建物全般における調和に對しては決して不安を感ずる物でない、而し建物には時代色さでも申す可きか、一種の調和色の流行がある、殊に現在の如き鐵筋コンクリート建物の建築せらる場合に付ては其の外觀の有する形態の自由さのために各種各樣の方法が自由に施されんさ場合に於ては色調に付ての材料の撰擇さの自由は何等の苦痛をも感じないのであるけれご他の建物さの調和又は衣服の色彩的流行さ好みの如く同一的色彩の歩調を建物に取る場合を有する物で斯の如き場合に於て其の色調の撰擇さの豊富さ自由さを有する事は決して天然材料に勝れりさ云へ共劣つた物であるさ云ふ事は出來得ない、殊に大なるスペースを同一色を以つて施工せんさするが如き場合の如きに於ては決して天然材料の追從を許さない物である。

色彩の如く由自住を有する如く、又形狀に於ける自由性も決して劣つて居るさは申されない殊に同一形態の製命の製作には何等苦痛さを感じない物である。こゝに其の特長を有する物であるが、而し一面より見る時は仕上げられたる材料の彫刻の自由さは天然材料の如く決して有利なる物でない、而し原形の製作には天然材料の及ばぬ特長を有する事さ、原形の彫刻作製に

依りて同一形態品の作製に何等苦痛を感じない特長を有する事を決して見逃す事を許さないのである。

八　テラコツタの耐久性と建物の持續性

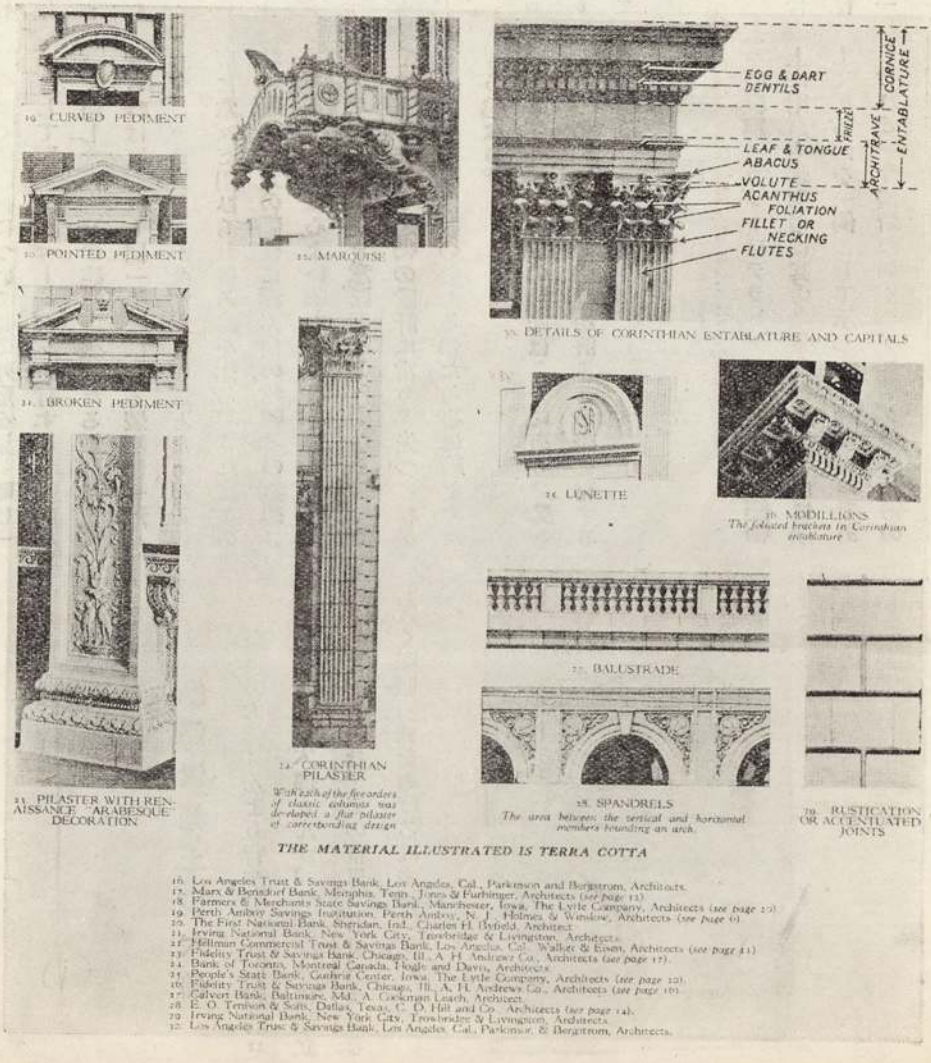
材料が如何に豐富であつても、如何に美術的製品であつてもそれが對久性に富んで居らなければ何等價値を有する物であるとは云ひ得ないのである。何となれば建築物は單なる愛玩品でないのである。藝術的立場よりも實用的立場に於ける見解の重要さを有する物である耐震的ならざるべからず。又耐火、耐水的ならざるべからず、建物は一時的なる寸斷的の物でない、長い活動寫眞のフイルムの如き持續性を有する物である。

故に之れに用ひられんとする材料は之等の製點の具備せしむる事必要を有する物である、現在に於てテラコツタと稱せらる物が各種の建物の表面に立體的に又平面的にスペースを專有して居るかと云ふ事は如何に其の目的に合致して居るかと云ふ事を現實に物語るものと云わなければならない。

ここに外部の用に供す事の多き材料に付ては如何に其の作製が致密なる共、雨風、火煙におかさる物なる時は決して立體的建築物の用途に供する事の不可能なる事を論ずる迄もなく單に形造られたる裝飾品に他ならない、之の點に於てテラコツタの耐久性の富める點は引いて建築物の持續性を大ならしむる故たり。

九　曲線美

建築物の價値は曲線の配置に依り美的價値の



發揮を充分ならしむる事多し、裝飾の配置、柱窓の形態、外觀の重要視せらるゝは獨り之れ線の配置の案配に依る物である。されば之の點に付て天然材料たる石材の如き物に於ては充分に研究せられたる曲線美を序々に石工に依りて作製せられる特長た有ると云へ共テラコツタの如き入神の技を以てなされた原形に付ても之れが加熱方法に依る以上形態の變形は際してさけ得らる可き物に非ず。

故に之の點に關して變形を生じざる事柄の重要なる事の必要は今更論ずる迄もなく、建物上に於ける裝飾的價値の著しく阻害せらるるは之れが故に起る物にして、外國製品に比し和製テラコツタの有する品位が建物上に及ぼす美的價値を如何なる程度に迄及ぼし居るかと云ふ事は吾人の既に熟知し得る所たり、

故にこゝに於て適材適所の必要あり、テラコツタの有する使命はこゝにあり、又其の材料の有する曲線美は獨り其の運用の妙味に生る物である事を知らざるべからず。

十結論

テラコツタの現在に於て建物に用ひらる場合即ち其の利用方面より見る時は非常に廣い範圍を有する物である。故に之れが起用に付ては一段の注意を要す、なんとなれば一度其の起用をあやまれば粗惡なる觀念こそ吾人にあたふれぞすれ何等價値を有せず一片の駄足に過ない物となるのである事を知らなければならない。

今多くの建物について其の外形を見る時は一つとして同一エレベーションを有する建物はない、而しながら其の建物の裝飾たる細部に付て見る時は驚く可し同一手法になる裝飾同一形を有するテラコツタが全く意味のことなりたる場所に堂々と用ひられ居る事を知る、さればこの時に起る吾人の腦裡に浮ぶ他の建物との連想さである、決して心よい物でない事を知る。

テラコツタの如き意匠考案の自由なる物に於ては充分注意し建物の設計に當り、先づ之れが計畫的に考案作製の要ある物たる事は論をまたざる處なり。

テラコツタの利用の妙味はこゝにあり、又その運用に他の建物の追從を許さざる誇を有する物である。

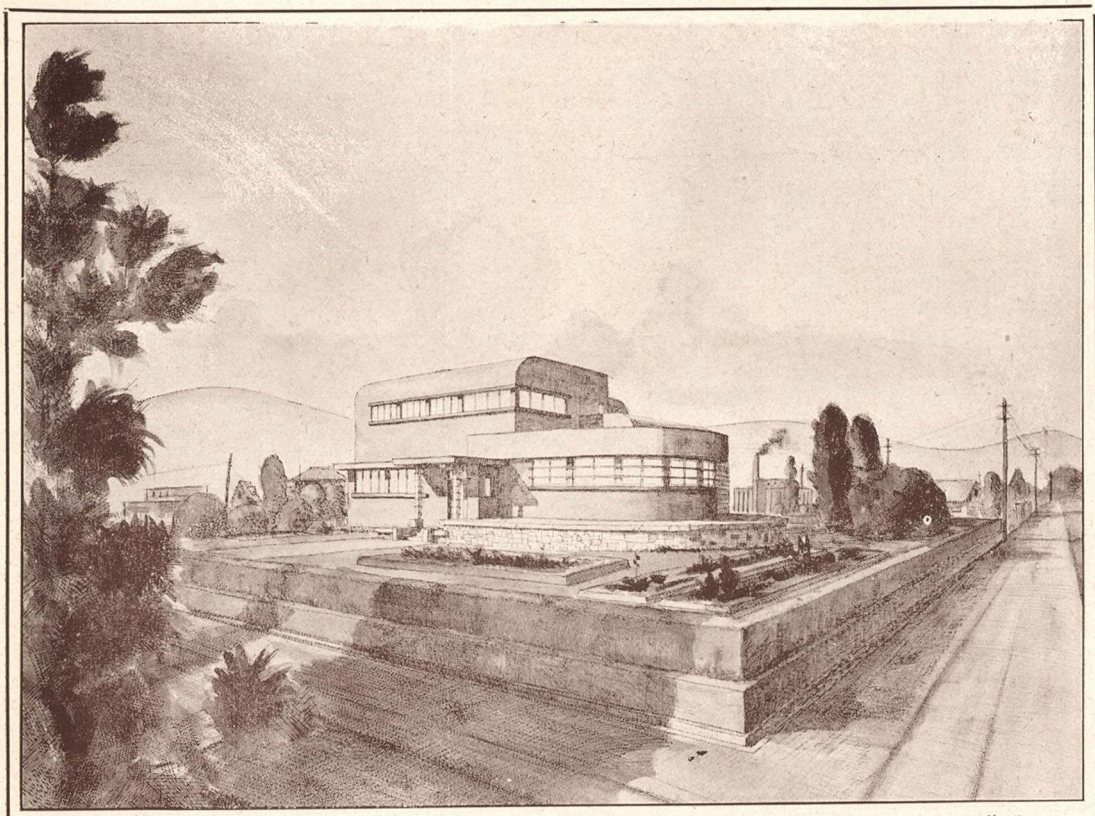
附記

各種寫眞カットはテラコツタの如何に建築物上に用ひられ如何に其の効果を吾人の目前に示して居るかを一例として示したに過ないのであるけれど、今後斯の如くテラコツタの建築物の内外兩面に於ても更に一段の妙味ある趣巧が吾が建築家に依り吾人の意に返するある何物かの不安に對して心おきなき、解決をあたへてくれるであろう。（終り）

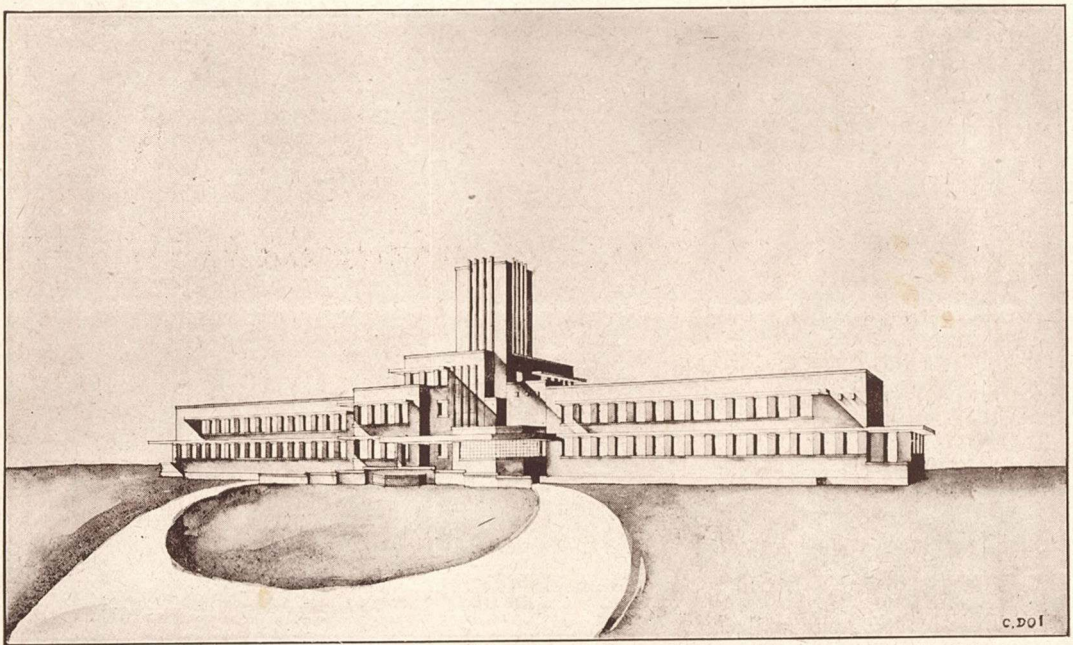
鐵筋混凝土の大佛

奈良の大佛さんより背が二丈高い鐵筋コンクリートの大佛さんが、別府郊外に建立された。寫眞は、その世界一の大佛さんで近く開眼の式をあげるはず。

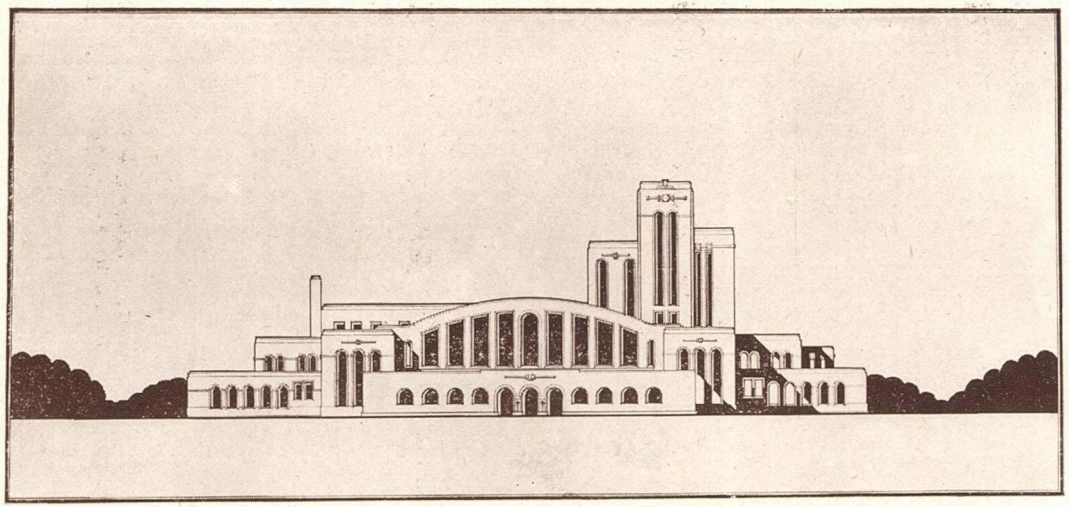


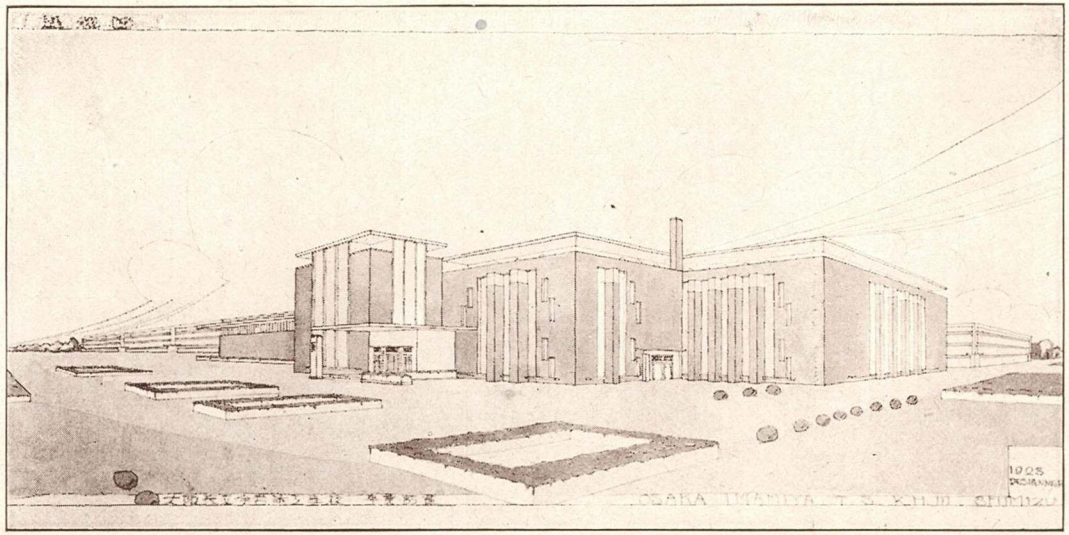


住宅透視圖　　大阪府立西野田職工學校(本年)卒業生　塚本義雄君作



基督教青年會ホーム正面透視圖　　大阪府立西野田職工學校(本年)卒業生　土井忠治君作





上・　某映畵撮影所設計圖

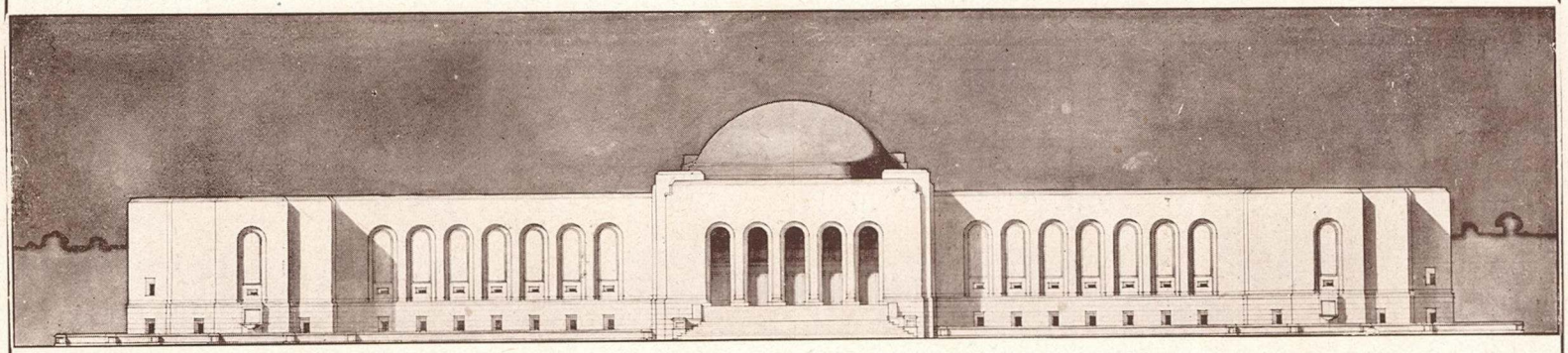
大阪府立西野田職工學校(本年)卒業生

竹內幸次君作

下・　あるテニス倶樂部の透視圖

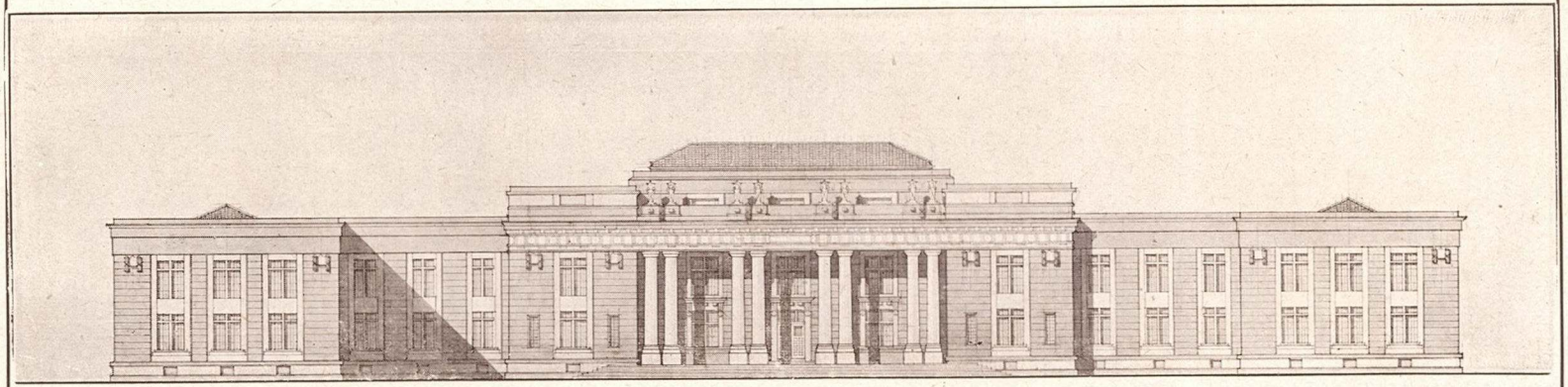
大阪府立今宮職工學校(本年)卒業生

清水憲吾君作



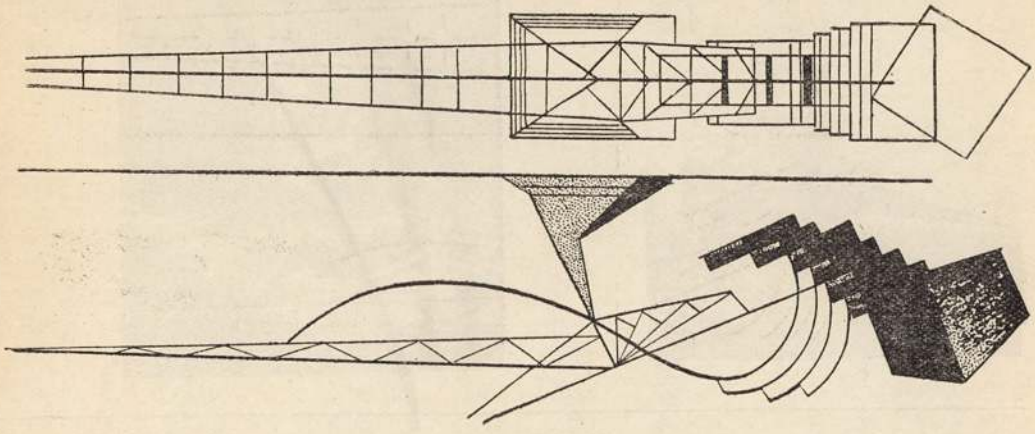
美術館設計圖

大阪市立都島工業學校本年度卒業生　新井恒人君作



某區役所設計圖

大阪市立都島工業學校本年度卒業生　赤穗員雄君作



露西亞に於ける建築運動

JEAN BADOVICI

露西亞では『空間の訓練』といふ言葉が行はれてゐるが、それは空間に於ける諸建築的要素の特性と、それ等要素相互の關係と、この諸要素とその從屬しその背景とする處の環境との關係と等を研究する一の科學を指すものに外ならない。そして、この科學は、また、物象と觀者との相互の位置の變動による光線變化の法則を決定的に明確にしやうとする目的をも持つてゐる。

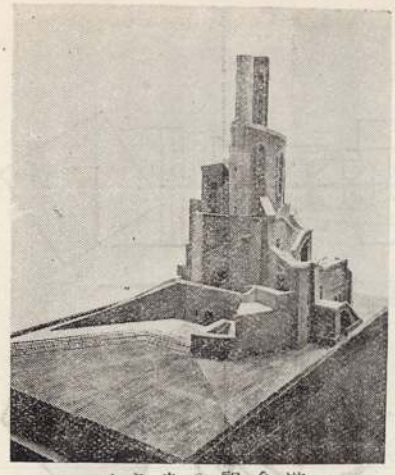
以上の諸目的の外、猶、此科學は、嚴密に限定された段階を漸次に經て、抽象的な幾何學的形式の研究から次第にその實際的應用と個々の特殊具體的な要素の研究とに移り進んで行かうといふ抱負をも持つてゐる。

で、實際の建築設計に當つては、この科學は、先づ純粹な建築的形式に非常に力強い、即ち極めて表現力の强い優越性を與へることによつて、次に觀者に容易に理解されるやうな明確な『リズム』を以つて複雜な形式の諸要素を統整することによつて、最後に種々異つた形式を秩序ある一組織のうちに包含することによつて、觀者に了解し易い平衡と、極めて合理的な全體との印象を與へやうと努める。

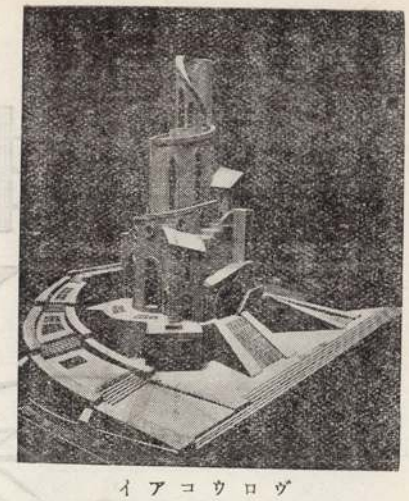
この科學とその教授法とは建築士ラドヴスキ教授によつて『モスコオ美術工藝學校建築科』へ齎らされたのであるが、此學校で同教授を助けて『空間の訓練』を教へた人にドクチアエフ及びクリンスキ兩教授があつた。

そして、一九二四年には同校に『基本科』なるものが設けられたが、この科の課程のうちには前に『建築科』の第二分科で使はれてゐたのと同じ方法による建築の形式的要素の研究が含

新興ロシアの新建築 (1)



バクウの記念塔



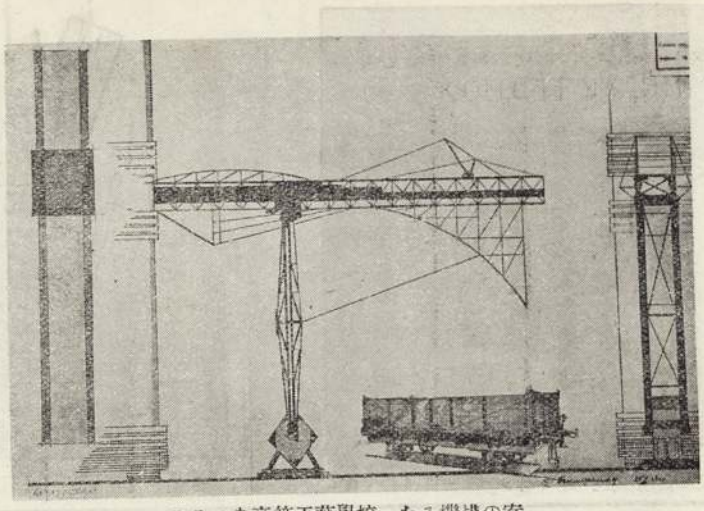
ヴロウコアイ

まれてゐたので、自然、『空間の訓練』の教授も新設の『基本科』へ移るやうになつた。

この基本科の初級の課程は『美術工藝學校』の八分科を通じて必修の抽象的諸問題であるが第二級に於いては建築の基本的問題が研究され、その課程は特に建築士を作る爲に按配されてゐる。

さて、建築と謂ふものは本來最も固定的な技術であるに拘らず、茲五十年來のその進歩變動は奇妙に速かであつたと謂はざるを得ない。すなはち、露西亞の全文化にわたつて一大變化を齎らした彼得大帝の革改に淵源する藝術的傳統の突如として中絶した後を承けて、追求と不安との一時代が現出され、この時代の間に露西亞は亞歐諸國のあらゆる諸流派の影響を代るがはる受けたのであつた。まづヴイギヨル、パラヂオ、カンデリエリ等の風が入ると共に、ルネスサンスに對する心醉がアダムス、トマス・デ・タモラ、及び、佛蘭西人ルルウ等によつて輸入され、ついで、バロツク、クラシツク、ロストブチヌ風のゴヂツク、近代の維納並びに瑞典樣式等が相ついで、或は同時に模倣研究されたのであつた。

然るに、『革命』は單に經濟及び政治生活の諸條件を根底から破壞し去つたのみならず、また舊來の理想の價値を根本的に覆がへして、今言つたやうな新古典主義の運動を突然一掃してしまつたのである。そしてその跡に、革命とゝもに生まれたものが即ち『構造的論理』に外ならない。これは前人の未だ曾つて想像したことのないやうな分業の狀態に相應して生まれた一新技術であつて、分業の思想の根底となる解析的精神によつてこの技術の若干の科學的基礎が追求され、その根本的要素が探求されるやうになつた。此のやうにして、量と、容積と、リヅムと、比例との一科學が生まれ、この科學が實際の上に應用されて、新材料の持つ諸條件と近代生活の要求とに適合するやうな建築がつくられるやうになつたのである。即ち製造場、工場、昇降機など近代文明の産んだ建築の諸樣式を無制限に採り入れて、此等の樣式を純粹力學の法則に隨つて處置するといふことが試みられて來たのである。尤もそれが未だ追求と分析との過程に在ることは言ふまでもない。しかし、已にこのやうな理想に則つてつくられしもかそれがあらゆる點から觀てしつかりとしてゐて、生氣のあるといふ事からそれが現代の論理に完全に適合してゐることを明らかに示す建築も、また、既に實存してゐる



モスコウ高等工藝學校　ある機構の案

のである。

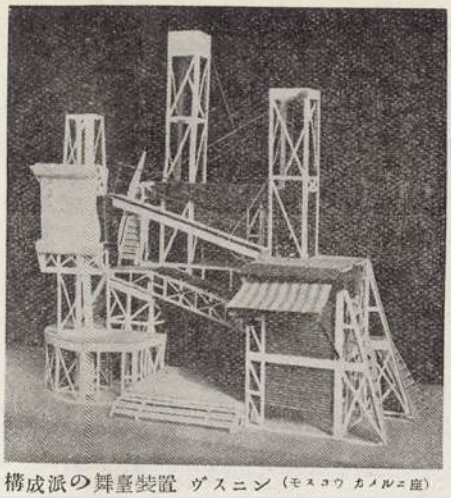
原來、建築に關する本能的才能は露西亞民族の有する最も顯著な、且、最も根底の深い長所の一つであるので、この民族の建てたあらゆる種類、無數の樣式の建築を一貫して、すなはち、奇麗に獨創的なモスコオから嚴肅にして偉大なペトログラド、大ノヴゴロドの簡素からキエフの壯麗、プスコヴの宮殿から木造の農家に到るまですべての露西亞建築に共通して同じ藝術的々確さと、輸入されたあらゆる樣式を完全に露西亞化してゐる一の民族的風韻が強く認められるのである。

たゞ、大戰前に一時歐羅巴の建築界からあらゆる獨創的研究の精神を奪ひ去らうとした折衷派の傾向が、亦、露西亞に輸入され、それが爲露西亞人の斯の建築的才能も一時稍揮はない觀があつたが、幸にして『革命』と共に起つた新興勢力はゼルトヴスキ、フオミヌ等によつて代表されてゐた此折衷的傾向を全然一がしてしまつたのである。

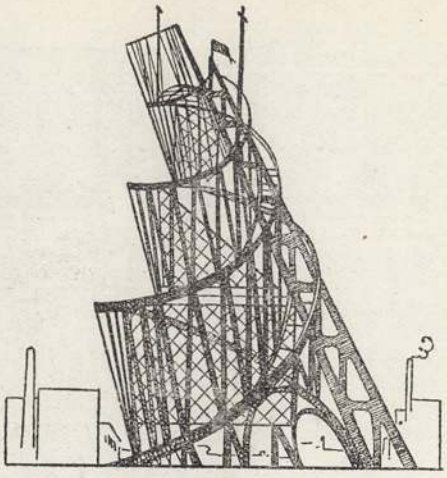
そして、この新興勢力のうちに產まれた新建築運動を支配する新らしい建築家はすべて次のやうな確信を持つてゐる。すなはち、まづ、苟くも大建築の名に値する建築は術學的態度を全然排除したものであり、且、如何なる傳統上の觀念からも完全に離脫したものでなければならぬと謂ふこと、次に、それはたゞ純粹抽象概念と技術上の條件とのみから決定され設計されねばならぬと謂ふことゝを確く信じてゐるのである。また、これ等の新建築家は藝術、隨つて建築も亦生活の組織の一であつて、決して單な裝飾の遊戲でないといふことを主張し、かういふ確信と主張とのもとに、革命の現出した新時代の展開に完全に適應するやうな新らしい建築の樣式を作つて行く事に皆その努力の目標を置いてゐる。

しかし、その目標は一つであつても、彼等がその程度まで既成建築の羈絆を脫してゐるかといふことに就いては自ら程度の差別があり、また、革命後の建築家がすべて一樣に一大革新と根本的復興との必要を痛感したと謂つても、彼等の案出した對策にはそれ〴〵相違のあることを免れぬ。で、極端に言へば各人各樣であるが、大體から觀れば、現今の露西亞に於ける建築の新運動は之を凡そ三個の主な傾向に分つて考へる事が出來る。すなはち、

一、まづ象徵派と謂ふやうなものが考へられるが、これはたゞ舊來のアカデミズムに新時



構成派の舞臺裝置 ヴェスニン（モスコウ カメルニ座）



タトリン 紀念塔

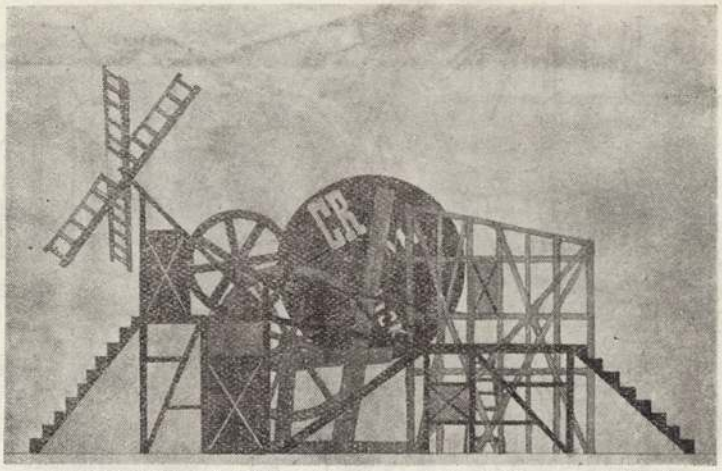
代の精神を加味したものに過ぎない。此派の建築家は好んで極く簡單な形を求め、アメリカの高層建築に觀るやうに『面』を強調する。しかし、猶、既成建築の樣式に牽制されてゐることが多いので、彼等の製作には革命前の頽廢建築の名殘が尠からず認められる。

二、次に構造派と名付けられるやうな一派があるが此派の建築家は大ていロマンチックで熱情的なテクニシアンであり、彼等の建築には汽船、自働車、飛行機等の構造の原則が非常に多く採り入れられてゐる。そして、此派のうちの極端分子は効用の外に美は無いと主張してゐる。しかし、『長さ』と『大きさ』との配合に當つて、ペルスペクチヴの變化と均衡の法則とを餘りに輕視することは此派の建築の大きい缺點と謂はねばならぬ。

三、最後に純理派といふのは、たゞ科學の示す處に從ひ、現實の外に目を注がず、純粹知識の理解せぬ要素をすべて建築から排除しやうとする。

尤も智識のみで藝術は成り立たぬとは誰も言ふことであり、また、實際、藝術が多く本能的な衝動から生まれるものであつて、智識はたゞその產出に當つて無用或は有害な要素を除去する批評の役目を演ずるに過ぎぬと謂ふ事も認めぬわけにはいかぬ。けれども亦、露西亞民族の心性が西歐人のそれとは甚しく異つたものであるといふ事も考へねばならない。すなはち、露西亞人の智識には官能的要素が深く浸潤してゐるのである。だから純粹抽象の領域内に於いて探究し、至純精緻の理念に就いて思惟すると共に、それと同時に、露西亞人はまた周圍の現實界を強く把握し、情熱を以つて之を愛することが出來るのである。

しかし、露西亞に於ける新建築運動に就いて特に注意を要するのは、それが實際に於いて建築家よりも寧ろ甚しく畫家に負ふ處が多いと謂ふ事である。そして、一つには斯ういふ事情にもよるのであらうがこの新動運の主張するやうな建築の型（フォルミュル）は既に定まつてゐながら、その樣式といふものが未だ出來てゐない。型と樣式とは違ふので、前者は後者を見出だす手蔓とはなり得るが、彼を以つて直に之と同じとするわけにはいかぬのである。で、最近の露西亞建築には、そのあらゆる作物を一貫して、一の否み難い誠實さと、現在及び將來の生活を構成する要素の正當な理解とが窺はれるが、しかし、そこには未だ、すべて偉大な時代の特徵である熱情と思想との融合、及び、斯の融合の基礎となる一の深い時代主潮の統一とい



ポポヴア案　(座ドルフエルマイ)　臺舞の夫の蜻蛉な花や花"

ふものがあらはれてゐない。建築が抽象的關係の技術であり、それが數字に非常に接近してゐることは事實である。しかし、それが時代の表現である一の樣式に達する爲にはその抽象を通じて生命の躍動が感ぜられねばならぬ。

然るに、前に言つたやうに、露西亞人の最も嚴密に智識的な思索のうちにも既に多くの官能的要素が含まれてゐるものなのに拘らず、現在の露西亞建築家は非常に極端な科學的客觀性を求めて、しかも之に到達してゐるやうに見える。彼等の製作には唯計算の冷たさが出てゐるだけで、露西亞民族の心といふものはそこに少しもあらはれてゐない。しかし、近代生活の基調が如何に智的なものであるにせよ、またその要求が如何に嚴密明確であるにせよ、それは決して個々の性格を無性質な統一のうちに平均化し、或は一々の族族の特徴を純粹に幾何學的な秩序のうちに消散せしめるといふやうな結果を生ずるものでなく、また、さうあつてはならないのである。

で、茲に述べて來たやうな新らしい建築運動も、此點から觀れば、大いに間違つた方向に進んでゐるやうに見えるが、事實は必しも然うでないのであつて、すべて長い間服從してゐたものが急に反撥する時の法則の通り、この建築の新運動が稍極端となつて純理化の方向に傾き過ぎたのも極めて自然のことに過ぎぬ。しかし、これは要するに一時の現象であるから、現在の露西亞建築は之を更に完全な將來のものゝ圖式として、その大體の輪廓として骨組として觀るのを至當とする。そして、恐らく將來の建築はこの骨組に細部の肉を付け、再び見出だされた官能の歡びを以つてこの輪廓を充たし生かしたものとして發展するのであらうと思はれる。



斷面八荒

蘇牛作

いかさま洋館なら雨後の筍と言ひたいが實は一夜で化る海月より早い軒並に竝んだベン館のぎれも是れも二階三階、二階三階に不思議はないが實は表丈けなんだから世話はねい。月夜の晩なら月がすけて見え、窓硝子が破れてゐりや其處から屋根が見えるなあ、何んたる事たい、内らからなら當りめいだが外からだしかも街路からなんだから恐れ入つちまふぜ此の分で世間も許し自分も得意がつてりやごふせ將來顔丈けで尻つぼのねい女が出ても意存はあるめいよ。

大阪の大玄關に就て

(2)

K生

前號に於て述べた様な新驛計畫を生むに至つた動機は何であるかと云へば、要するに交通問題の解決と云ふ事に外ならないのである

最近五十年間に驚くべき發達を遂げたわが大大阪は、今や、至る所で交通動脈の硬化に直面して靑息吐息をついてゐる。その中でも最も鬱血の激烈な所が大阪驛を中心とするあの一劃だ。この充血の手枷足枷を振り解こうと、自由を求める蛇の様に、身悶へ苦しんでゐるのが天下の大阪の今の狀態なのである。

從つて如何に大阪驛が理想的に改良されても、これが呑吐するおびたゞしい旅客や、驛前のタキシイ、路面電車との聯絡などが解決されなければいつまで經つても大阪市の交通疾患は治療せられないのだ。新驛計畫の根幹は實にこゝに存する。

かやうな根幹が完全に滿足された上に、更に考慮せられたきは防空的施設の事柄である

各都市共主として木造建築で防火設備も不完全、地下室も無く、避難所も無く、あらゆる對空設備の缺如せる我國では軍事上の施設の外に都市の設備や家屋の構造設備に對空的用意の必要な事は言を俟たない。即ち今後新改築さるべき建物は特に此點に留意したい。

過日某誌に井上航空本部長が『空軍は單獨で戰爭を終末に導き得る』と論じて居られるが、今假に充分優勢なる空軍を有してゐるとしても、絶對的且つ永續的に制空權の確保を得る事は困難であらう。素より今度の新驛案中には此の方面よりの研究も充分盡されてゐる事と思ふが、私はこの意味で地下室に依る地下の利用を多くされる事を希望して已まない。

自然建物は、高層なる立體的のものは不必要となる譯である。そして其の構造はスラブを始め各構材共カルキユレーション以外に其



新たに三十二市に 市街地建築物法を

三月六日の閣議にては大正九年勅令第五百四十五號市街地建築物法適用區域中改正の件を決定したが、右は左記三十二都市に新たに市街地建築物法を四月一日から實施せんとするものである。

旭川、八王子、姫路、明石、高崎、宇都宮、足利、宇治山田、四日市、沼津、甲府、上田、郡山(福島縣)福島、秋田、福井、尾道、德島、今治、久留米、別府、宮崎、岸和田、横須賀、川崎、前橋、水戸、奈良、大津、盛岡、松江、松山

史跡名勝指定

——關西地方の分——

新たに內務省告示をもつて史跡名勝天然記念物を指定したが關西の分は左のごとくである。

史跡　惣爪塔跡(岡山縣都窪郡加茂村惣爪)▲紀伊國分寺跡(和歌山縣那賀郡池田村大字東國分字宮ノ前同字八光)▲西國分塔跡(同上岩出村大字西國分)▲讃岐國分尼寺跡(香川縣綾歌郡端岡村大字新居字東川西)▲丸隈山古墳(福岡縣糸島郡

のプロテクションを充分に取り、フラットルーフには芝生等に依る庭園を設ける事にすれば驛員の休息所を兼ねて一擧兩得ではなからうか。高架道に於ても同樣に各構材のコンクリートプロテクションを充分に取る事は、單に騷音を少くするのみならず此の意味からも誠に結構であると思ふのである。

元來私は色々の點から考へて、高架や路面式を廢して、市街地だけは何故に地下鐵道式に計畫されなかつたかを不思議に思つてゐる勿論、高架式等に比すれば莫大な費要を要するであらうが種々のアドバンテーヂの合力は優に費要の點を償ふて餘りあるではなからうか。然し最早今日となつては、前述の計畫通りにされるより致方ない。

新驛が前述の地下室を大いに利用し、阪神阪急、地下鐵道、その他の各ターミナルとも地下に於て互に聯絡するであらうと云ふ事は前號に詳述した通りであるが現驛前に集合、駐車してゐるタキシイも、私は地下に於てなされる樣にしたいと考へてゐる。東京驛前でも無數のタキシイが群を作つて、唯漫然と客を待つてゐるけれど、土地利用の點から見ても甚だ感心しないやり方だと思ふ。或る一定の區域内に停車してゐるものなら附近を通行するに少しも危險は無いが絕へず動いてゐる後方をまわれば後退し出す車もある有樣で全く不都合である。それも東京驛のやうに驛前に廣大な廣場を有し、青々した植込みなどを取れる所ならばまだよいのだが、大阪驛は位置から云つても驛前横走の道路を控へ、充分なる廣場を取り得ない狀態にある。即ち英國や獨逸に多く見られる樣な驛前の美觀は得られぬ狀態にあるのだが少しでも驛前を廣くし植込みを多くする樣に計畫しなければならないだらう。そこで私はペンシルヴエニアステーションの如く、同驛は地下鐵道ではあるが驛前から降り勾配で降つて行く樣にしたらよいと思ふ。此驛では正面に向つて左右兩端にこうした道路が設けられ、途中に夫々ブリッヂが一つあつて、兩側面道路から來る客はそこを越へて驛に入る樣になつてゐる。車は一臺一臺と吐き出されて少しも不便な事は無いタキシイの駐車場を地下にする事の利益はもう一つある。それは手荷物の取扱が驛員にも旅客にも簡便となる事だ。手荷物取扱所を地下室に取り、その前でタキシイから降りる事にすれば赤帽を要せずして手荷物が預けら

周幡寺村大字周船寺）▲日岡古墳（同浮羽郡千年村大字若宮高林）▲菅田庵（島根縣八束郡川津村大字菅田）

名勝　舍龍石坊庭園（福岡縣田川郡彦山村大字英彦山字上谷）

天然記念物　おほやまれんげ自生地（奈良縣吉野郡天川村大字北角字峰中）▲立花山樟原始林（福岡縣糟屋郡立花村大字立花口）▲高尾暖地性濶葉樹林（島根縣周吉郡中村大字中村字高尾）▲しゝらん群落（奈良縣吉野郡下北山村大字前鬼字千代迫）▲秋吉台山の地獄台（山口縣美禰共和村大字青景字地獄）

新特別保護建造物

古社寺保存會は去る廿九日特別保護建造物ならびに國寶の指定および補助金下附の件を議決したが新に指定された特別保護建造物左の通りである

新に特別保護建造物に指定されたもの（六件）

正福寺地藏堂（東京市外東村山村）▲斑鳩寺三重塔婆（兵庫縣揖保郡斑鳩村）▲熱田神宮鎭皇門（名古屋市南區新宮阪町）▲龍泉寺仁王門（愛知縣東春日井郡志段味村）▲瑞龍寺法堂および同寺總門（高岡市下關）

實現させたき新計畫

東京大阪間　高速度電車

政府の勸告によつて急に出願の手續きをとるやうになつたと傳へられる鄕誠之助男、根津嘉一郎大橋新太郎、大倉喜八郎氏など財界の巨頭六十餘

れることになる。タキシイを利用する旅客はローカルトレインとエクスプレスと何れが多いかと云へば云ふまでも無く手荷物の關係でエクスプレスの旅客の方が多い譯であるからタキシイ利用の大部分の旅客にとつては大變便利である。

其の代りローカルトレインの旅客にとつては地下まで引張り込まれては敵はない。この種の客の車は、今まで通り驛前で停車せしめる。降りるところにも小設備の手荷物扱所が道路に面して設けられてある。車は駐車することが出來ないから地下に吸ひ込まれて降車客を待つ。そして自家用自動車の直通を考へて三臺以上の竝走にたへるだけの副員にしてある。こうゆう工合にしたいと考へるのである。

ついでに手荷物運搬に關する希望をこゝに述べて置きたい。現在では手荷物運搬車が旅客の密集するフオームを横行して積み込むと云ふ亂暴なやり方をやつてゐる。外國では大抵手荷物のフオームが別に設けられてありこゝで積み込む事になつてゐるから旅客は安心してフオームに立つことが出來るのである。然し出來るものなら列車がフオームに横付けになつてゐる裡に、荷物車だけが地下の手荷物扱所と連絡して直接積み込み、旅客の氣のつかないうちに再び連結されて發車すると云ふ樣にしたいと思ふのである。

地下道に關する希望はこの位にして次に驛本屋平面について希望を述べることとする。驛の平面は簡單第一主義でありたい。旅客は可成り神經質になつてゐるものであるからごこに何があるかと云ふ事が一目瞭然であらねばならない。電報、郵便取扱所、手荷物扱所洗面所、切符賣場等が驛に入ると直ぐ目につく樣に配置される事が大切である。驛平面を構成する要素としては先づコンコースで次が待合室、チケツトロビイの順であらうが私の氣づかふ點は此のコンコースである。新計畫によると待合室始め、大部分が高架下に設けられるものの如くであるが、この爲にコンコースまでが高架下にとられはしないかと云ふ點なのである。

由來、停車場程人々の心に深い印象を燒付けるところは無い。誰しも一度はこゝで悲しい別れをし、嬉しい再會をし、又は憧れの都に上つて始めての一歩を地に印する喜びを經驗するに違ひ無い。喜びや悲しみやに昂まる

名を發起人とし東京大阪間を高速度電車で連絡しようとする日本電氣鐵道（資本金二億五千萬圓）の計畫の概要によると東京、大阪間（二百九十八哩）の決定した停車場は澁谷（東京起點）新治（神奈川）御殿場、靜岡、金指町（靜岡）岡崎、名古屋、龜山（三重）木津（京都）野江（大阪到着點）の十ヶ所で軌幅は四呎八吋半で建設費は一哩當り八十三萬八千九百廿六圓、主な建設費はトンネル七千五百萬圓橋梁二千四百萬圓、軌道二千六百萬圓、車輛二千二百萬圓、電力設備二千三百萬圓、土工千八百萬圓、用地七百五十萬圓、その他總掛費三千六百萬圓であると。

アパート式醫院

今回大阪市内に於ける一部醫師間にては時代の要求に伴ひ適應のアパートメント式醫院の綜合建築を建設せんと計畫されてゐる模樣で仄聞する處に依ると鐵筋コンクリート構造になる近代的四階建位の建築物を設け各科醫院を綜合しようと云ふのであつて普通病院等の組織とは全然其趣を異にし單に市内に散在する各科醫院を一廓に集合し患者の便宜を計るものである從つて患者は此の建物内に入れば何科にても直に診療を受ける事も出來るといふ計畫で從つて建物構造には普通アパートやビルヂング建築とは多少異り構造設備には相當苦心を要する由であるが之が經費は約五十萬圓を要する見込であると。

大阪驛頭に
大ビルデイング

都市計畫事業の進捗により大阪市の外觀は建築

胸を、列車の轟々たる音響で上から壓縮させられる様な位置におきたくない。ふるへて熱く息づく若人だちのかがやかしい囁きを列車下の重苦しい雰圍氣の中にいぢけさせては面白くない……。東京驛のコンコースに立つた者がペンシルヴェニア驛のコンコースに立つた時、ぞの様に其のすがすがしさに驚く事であらう。私は新驛に、何もそれ程の廣さを求めようとは思つてゐない。唯、コンコースだけは高架下から脫出せしめ、せめて、ペンシルヴェニアの持つ、あのグラスと鐵骨とから來る輕快な、晴々とした、のぞけさが欲しいと思ふのである。

一時間最大三十列車の送迎が可能となるそうであるから待合室は極度に縮少される事と想像される。アメリカ邊りの驛では待合室が隨分と小さくて男女別となつてゐる。別に大きな喫茶店、料理店があつて却つて、こゝの方が待合室の觀がある位であるが、是と比較すれば東京驛のは實によく出來てゐる!?その爲に色々な待合に利用されたり、冬の寒い日などは川の無い連中が入り浸つて、てこでも動かなかつたり、居心地がいゝので見送人がぞろぞろ入り込んで時間の觀念を超越して駄辯つてゐる様な種々の弊害を伴ひ易い。それで待合室のどこにでも警官が眼を光らせてゐる。

フォームとコンコース間に大地下道を作る事は混雜防止の一方法である。こうして數多の開札口によつて各フォームと聯絡する事は非常によい思ひ付きと思ふ。尙、混雜を起す主なる原因は、人の潮流が交叉することであるから、かやうな事の無い様に十分の考慮を拂つて戴きたいものである。

今回の計畫中、大阪人にとつてエポツクメーキングな一事は、大地下計畫の外に、始めて出現する、市内横斷の蜿々長蛇の如き高架鐵道である。これについて私は、其の附近住居の人々に可及的騷音が聞へない様に、適當の設備をして頂く事を望むのである。ニューヨークの鐵骨高架道が夙に問題視されてゐる轍を踏まない様にしたい。是非共鐵筋コンクリート構造とし別にアコースティックの立場から充分の設備をして貰ひたい。これは一つには、始めに云つた對空施設の一部ともなり防火の一助ともなる。

アメリカの有する美しき都市シカゴは、千八百六十年から千八百九十年に至る三十年間に道路に著しく美觀を添へつゝあるが大大阪の玄關とも云ふべき大阪驛前も近く停車場の改築と共に道路の改良を行ふことゝなつてゐる然るにこの附近の建物は何れも木造の古い建物のみで大大阪の玄關として東京、京都、神戸等の都市に比し甚だ貧弱の觀を呈してゐるといふので今回有志糾合して梅田驛頭を飾るべき一大ビルヂングを建設せんとの計畫をもくろみつゝあるとのことである、右につき仄聞するところによると現在の大阪驛前に添ふ敷地約二千餘坪を買收し恰も東京驛前に於ける丸ビルに匹敵すべき九階建の高層大建築となさんとの意向ある而して豫て問題となつてゐる理想的の大ホテルも右の内に設けたいものである。

小兒の爲めの會舘

今回、神戸に晝間兒童に見せる兒童映畫常設館が日本ではじめて出來たが、設立者は「家なき幼稚園」を經營してゐる宗教團體の「憩の家」で會場には大倉山公園の五郎池の共益クラブ階上を改造したものである。室内は千三、四百名の兒童を收容し得て救護室や屋上庭園、遊戲場なども設け名稱は「神戸兒童會館」といひ、映畫以外に學藝會や童謠劇などにも使用するはずで、平日は午後一時から三時間づゝ子供のために、夜は一般に開放する計畫である。兒童敎化の高唱されつゝある今日假設的建築にしろ計畫が具體化したのは結構なことで、今後各大都市の公園等に附隨せしめて永久的建築物として益々發達させたいものである。

に急速の進歩を遂けて、現在ではニューヨークに次ぐ第二位の大都となつたが、その交通問題に頭を惱ましてゐる事實は、われらの大阪にまことに彷彿たるものがある。目下偉大なバイオニアー、バーンハム氏案に基いて着々改良中であるがアンヌリー氏の『シカゴの交通問題』を見ると次の様な美しい言葉が綴られてゐる。『今日まで埠頭一帶を占有してゐた醜惡な倉庫の類は取り除かれその代りに廣く美しい、ダブルデイックのドライヴウエイが川の緣に沿ふて走つてゐる。その向ふには高雅な摩天閣が長い影を投じて寶石をちりばめた塔屋を、澄み切つた水鏡にうつし出してゐる』(レコード、一九二七年十月號)

煤煙に包まれた都、われらの大阪市に、美しいミシガン湖を控へたシカゴの美觀を望む事はそれ自身が既に間違つてゐる事かも知れないが都市の衛生と云ふ事を考へて市内乘入れの鐵道の凡ては、少しも早く電化せしめなければなるまい。高架上を黑煙濛々と吐き散らしつゝ列車が走ると云ふが如きは、他の大計畫に比し、許すべからざる矛盾と云はねばならない。私はこの點について切に當局の御注意を喚起したいと感じるのである。同時に住居地域接續の工場地帶に對しては無煙炭使用を強要すべきである。

新驛屋上を飛行機發着場に利用すると云ふ希望が、某方面から發せられてゐるとの事である。案としては結構な事だが實現させる事は餘程困難ではないかと思ふ。發着場とする以上、のべつに飛行機の送迎をしなければいけないから飛行機は風向の如何にかゝわらず飛び上らなければならない。これに要する面積は各方向に對し少くとも二千呎を必要とすべく周圍の障害物の高さは最少限七呎に對し一呎の割合で高くなつてゐなければならない。だから全敷地を摩天閣の建坪に充て、いくつものエレヴエーターに依つて地上との連絡を圖らしめる程のことをするにあらざれば到底不可能な話である。

私はむしろエヤーボートとして別に郊外に設置し、そこに直通するドライヴウエイを設けた方がこの目的に、より適切な手段であらうと考へるのである。これに就いては意見もあるが驛には無關係な問題となるから省略する。

驛の外觀は地下利用の結果、立體的よりも平面的となるであらうが耐震的價値から見る



京都日出新聞社

京大武田博士の手許に於て設計完了せる京都日出新聞社は建坪二百四十坪總地下室付四階建延千二百坪のもので外部仕上げは腰廻り北木產花崗石上部ソリダットスタイン塗りとし、本年八月頃には烏丸二條に其堂々たる偉觀を呈する事となつた施工は大阪橋本組

西宮市廳舍

神戸高工古塚講師の手元に於て過般設計完了せる西宮市廳舍は今回中島組に於て施工する事となつた地下室付三階建完成の上は中都市廳舍として理想的のものが出現するであらう。

大毎京都支局

豫て京大武田博士の許に於て設計中であつた大毎京都支局は設計完了と共に起工した、施工は大林組、建坪は約三百坪總延坪千三百坪八月落成の上は日出新聞社と共に京都に於ける新聞社建築の双璧となる譯である。

もその方がよいと思ふ。意匠に對しては多くの若い建築家の頭に夫々面白いものが描かれてゐるであらうが餘りに突飛なものは避けたい商工都市らしい、ごく眞面目なモダーンタイプとしたいと思ふのである。

先づ驛前はずつと廣くなるに相異ない。綠滴る許りの植込か對象的に植へられてある。最早、疾走する自動車の外には今までの樣なたくさんの人や荷車の往來は見られない。路面電車から降りる人も安全地帶から直ぐ地下道へ消へ去つて了ふ。驛の背後には澄み亙つた大空がくつきりと浮び上り列車の黑煙も無い。こんな風に美化されるものと想像されるが困つた事は驛前に立ち竝んだ現在の倭少家屋の仕末である。

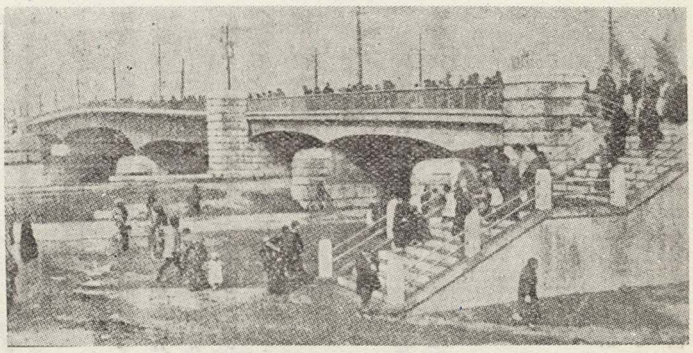
是に對し私は一大ホテルをあそこに建設してこれをおき代へる事にするのがよいと考へるのである。聞く所によれば旅客の八割までは大阪驛を發着地點とすると云ふ。この可半數に餘る旅客に對し大ホテルを建設する事は鐵道當局や市民の義務であるとさへ考へるのである。外國ではごの驛へ行つても大抵、驛前にホテルがある。ワンブロックを占め、驛前に橫走道路を有して、大阪驛と頗る類似點の多いペンシルヴエニアステーションも亦その前に、ペンシルヴエニアホテルを持つてゐる。そして是との聯絡は矢張り地下道である。東京驛と丸ビルの間に地下道を計畫しなかつた事などは大失敗であつて新驛前にこの種の大ビルディングを計畫する場合には必ず驛との地下聯絡を考慮されてほしい。

これまでに述べて來た樣な事柄は何れも明快な裁斷の下されてゐる事柄ではあらうけれど思つたまゝをつらねて見たのである。新驛改築關係の方々の參考に多少でもなるところがあれば幸甚である。

かくの如くして大阪は交通難から救ひ出されるであらうが夫れには一般の交通道德を增進せしめる事も大いに關係するこゝである。現在の狀況を見ると往來の中央で方向轉換をやる自動車さへある始末である。何人もの交通巡査は四ッ角の中央邊でのみゴーストツプをやつてゐる。こんな有樣だから完全な交通整理が出來ないのである。新驛計畫に對する希望と共に、市民の交通道德に對しても一考を煩はしたい事を希望して擱筆する。

——三年三月三日——

復興局自慢の 言問の新橋



東京淺草山の宿と本所新小梅を結び隅田川に架橋された言問橋は大正十四年四月起工以來復興局が二百廿萬圓の巨費を投じ約二ケ年半を費して漸く竣工、橋長二百卅八メートル橋幅廿二メートルで突桁式鋼板桁として東洋第一の最新橋梁である、言問橋の開通と共に江戸名物の一つ竹屋の渡しがこゝに影をひそめる事になつた。

東京明治座

濱町公園の一角に竣工成つた明治座は昨年二月起工以來滿一ケ年、感じの好い建物となつて好劇家を嬉ばせることゝなつた。地下室を別に鐵筋コンクリートの四階建、舞臺間口十一間、花道カーケストラを兼ね備へ四階には立見席もあつて幾分昔の形式を殘こしてゐる。左團次猿之助一座によつてこけら落しをされた。



微苦笑

空き家札

近頃郊外で日に付くものは空き家の増へたことである。その一方ヒョロ〳〵した鳥籠のやうな新建ちの貸家が畑地を侵かしてぞんざんはびこつて行く。建築工事の少ない不況時代にも決して手を袖けてゐる大工はないそうだ。

空き家が多いのに、また其の上貸家を建てるとは何たる矛盾だろう。甚だおかしいやうではあるが借家人が新建へ新建へと移動するから古い住み難い家に空き家札が張られ粗末でも多少とも知識階級の住宅に就いての要求を取り入れた新建があとから、あとからふさがつて行くのである。これも一種の老朽淘汰であるそして半面には建築知識の大衆化を物語つておるのであるが、迷惑するのは貸家に金を産ませるつもりの大小資本家である。此調子で往けば今日の新建も数年後には空き家札を雨にうたせなければならん運命になるのは當然過ぎる話である。何故ならば新築する住宅に僅かばかりの改良を加へても建築知識の大衆化のすばらしい速度にはとても間に合はないからである。

安價な、住み心地の良い、永續性のある貸家の建築法を案出してやる建築家はないものか。

富國策

東洋の夢の國、櫻の國、フジヤマの國、ピエルロチの紙の家の國、日本に歐米人が憧れる情は非常なものらしい。鐵道當局でも國際的宣傳にウント力瘤を入れて、世界の樂園として遊覽客を吸收しやうとしておる。

誠に竝亡國には願つてもない富國策である。ごうせ懐をはらませて金を捨てにきて來れる福の神様だ。頂だけるだけ置いて行かせないのは馬鹿の骨頂だ。遊覽國としての先輩フランスが自身の臺所向きは極度にきりつめても、遊覽客には贅澤の限りを盡させるだけの設備を誇つて、好模範を垂れておるではないか。

然るに、この秋の大典にも外國人の日本遊覽團體の申込みが山程ありながら、肝腎のホテルがないので斷らねばならぬ始末、それでも斷念出來兼ねるのが『二千五百人に對し二百五十輛の寢臺車を貸し



海外奇聞

平和の殿堂と建築家の決闘

今回ゼネバの國際聯盟會館の當選建築家の間に意外の出來事が起つた。設計の經過に就ては二月號で報道した通りであるが、一等當選者のフランスのネノー氏とハンガリーの建築家パゴス氏の間に設計圖に關し決闘問題が持ち上つた、右はネノー氏及びパゴス氏の兩氏が二日イタリーの事務次長室において設計圖について協議中ネノー氏がパス氏に對し退出を命じた時パゴス氏が遂にネノー氏に決闘を申込み介添人を送ることとなつたためであるな、ほ當局者はこの決闘は平和の殿堂地ゼネバに惡例を殘す事になると懸念してこれが阻止の方法を講じたそうであるが、決闘の結果に就ては遺憾ながら不明である。

最低五十圓から賣物に出た監獄

最近イギリス各所で監獄所の賣物が出てゐる。

て下さい』と申込んできたそうだ。

猿が木から落ちた

本年五月ローマで開かれる國際著作權會議の議題二つ、一つは『無線電話にも原著者の許諾權を國際的に確認せよ』他の一つは『工業に應用したる美術に關する著作物權を認めよ』で、二つとも國の體面上承認することになるであらうが前者は無斷借用をやつてゐる放送局が困る位のことであるが、後者は總生産額五億九千六百十一萬圓、輸出總額一億九千九百三十萬圓の工藝品の消長に關する重大問題なのだそうである。

といふのは、我が國の工藝美術品の大半が外國品の模倣であるために、國際的著作物權が認められることになればこれ迄物眞似の上手な日本人が唯一の『賢策』の無斷借用が罰金刑になるといふのだ。

何んといつても、人樣の考へを無斷拜借しておつたのが重々惡いんだから、國の體面を云々する迄もなく、此際進んで承認すべきだ。日本にだつて工藝美術の意匠家がない譯ではない。これ迄製造家が意匠家を馬鹿にし切つておつた罰なのだ。意匠家よ、大に腕を振ふ時が來つゝあるのだが人事ではない若し、建築上の著作物權を國際的に承認しろと出られたのだつたら……隨分面倒な問題が起るだろう

あきめくら

ある有數な實業家の新築祝に友人の一人がこんな立派な贈物はあるまいとフランスの現代作家の筆になる油繪額を持ち込んだ。所が不幸に其の實業家算盤は達者であるが美術品を見別けることは不得手だつたので稀世の美術品も『お前の部屋も洋室だから額を一つやろう』と下女部屋へ掛けられる運命を見てゐた。

ある日來客があつて、自慢の新宅を隅々まで案内して、女中室に來た時客はその繪を見て驚いて『ごうしてこんな部屋にお掛けになつてゐるんです。得難い傑作ですよ』と聞かされて、その繪は客間へ掛け代へられたが、元から掛つてゐた自身のめがねにかなつた三文畫家の額を下女室へ下げ渡たそうとはしなかつた。そして何所にそんな値があるんだろうと不思議そうに見入つてゐたといふ話。

その實業家は其の繪の金に換算した相場に敬意を拂つたまで、あつたのだ。

このうちには未決監房、絞首臺、埋葬場まで完備したものもあるが、さすが小氣味が惡いので買手が少い、そこで內務省では新聞に廣告して「堅牢廣大な監獄所、舊知事邸別館附の賣物格安」と大に宣傳してゐる。値段は最低五十圓から最高廿萬圓までお好み次第とある。ヘブリッヂのストーンウエーの監獄は一切をつけ五十圓で賣れたが、ニューカッスルのは十三萬五千圓、カーライルのは八萬圓といふ高値で賣れた。ダウンパトリックのは二百圓またウエールスの山間景色のよい地にあつて避暑地には持つて來いのプレコン監獄は八千圓まで値をつけたものがあつたが、また賣れない。かく投げ賣りにされるやうになつたのは戰後刑罪人が減少したがためであると。

ラヂオは何故に家具商を救ふか

自働車と活動寫眞は近代人を客室と爐邊から奪ひ去つて、そのために客室を裝飾すべき家具の需要は激減し家具製造家は恐るべき打擊を蒙つた。しかしながらアメリカ家具製造家組合長ハリーソードンの發表するところによれば、ラヂオの發達と普及は再び人々を家庭に止まらしめることになつて人々は放送プログラムを聽取せんとして客室を利用し、付出の度數は著るしく減少せる傾向にある。昨年中にアメリカに於て販賣されたる家具の金額は九億弗に達し、その三分の一は客室および休憩室に用ゐられたる家具であつて、殊に大型のアームチエーアに對する需要が增加して居るさうである、これは全くラヂオのお蔭だと家具商はホクホクもので喜んでゐると。

學校火災に就いて（二）

會員　菅野久一

月別	大正十二年	大正十三年	大正十四年	大正十五年	昭和二年	合計
一月	一	五	二	一	六	一五
二月	一	七	三	五	七	二三
三月	二	一	一	四	四	一二
四月	三	一	一	二	五	一二
五月	—	四	四	四	二	一四
六月	三	—	二	一	二	八
七月	二	—	—	—	—	三
八月	二	一	四	二	一	一〇
九月	—	—	五	一	一	七
十月	二	二	一	二	二	六
十一月	一	二	三	二	一	九
十二月	六	五	三	四	一一	二九
總計	二三	二六	二九	二八	四二	一四八

五ケ年を通じて出火件數の多い月は二月及び十二月であつて一月三月四月五月之に亞ぎ概して寒季に多いのは火の不始末と關係あるものと見るべく、第一學期末（七月）を除いて第二學期末（十二月）と第三學期末（三月）に比較的出火の多いことはかの忌むべき放火との間に一脈の交渉あるやを思はしめるものがある。

（五）出火時刻別

時刻別	大正十二年	大正十三年	大正十四年	大正十五年	昭和二年	合計
日出前日沒後	一五	一八	二一	一五	三一	一〇〇
日出後（授業中）日沒前（然らざるもの）	三	—	—	四	四	一一
	四	六	六	八	七	三一
不詳	一	二	二	一	—	六
總計	二三	二六	二九	二八	四二	一四八

時刻別に付いては夜中即ち日出前日沒後の出火最も多く總件數の約三分の二を占め、日出後日沒前即ち晝火事の内十一件は純然たる授業中の出火であつたが、主として教室に於ける化學實驗中の爆發であつて二三失火又は漏電に因るものもあつたけれども不幸なる犧牲者を出すに至らなかつたのである、因に不詳中には出火時刻の報道なきものや類燒時刻の不明なるものを含んで居る。

（六）損　害

項別	大正十二年	大正十三年	大正十四年	大正十五年	昭和二年	合計
損害額判明件數	七	八	一七	一五	二一	六八
損害見積金額 千圓	八五五七	一八三五	四四五六	六三四四	三四〇〇	二四五〇〇
損害額不詳件數	一六	一八	一二	一三	二一	八〇

五ケ年間中に於いて損害額の判明せるもの六十八件に對する見積損害額は二千四百五十萬圓であつてこの比率を以て損害額不詳の八十件の損害を換算すれば約二千八百萬圓となり合計五千二百萬圓に及ぶけれども事實上損害の多額なる大火にありては其の都度報ぜらるゝを常とするが故に必ずしもこの比率に依るを得ないが尠くとも三千萬圓を下ることはなかるまじく之に其の他直接間接蒙むるところの所謂無形の損害を加算すれば學校火災の損害蓋し思半ばに過ぐるものがある。

(七)死傷者

事項	大正十二年	大正十三年	大正十四年	大正十五年	昭和二年	合計
燒死者 教師						
燒死者 生徒						
燒死者 小使	一					一
燒死者 消防夫						
燒死者 計	一					一
火傷者 教師					二	二
火傷者 生徒						
火傷者 小使	一					一
火傷者 消防夫					二	二
火傷者 計	一				二	三
負傷者 教師						
負傷者 生徒				五四		五四
負傷者 小使						
負傷者 消防夫						
負傷者 計				五四		五四
總計	一			五五	五	六二

燒死者に於ては教師二名、小使及消防夫各の一名、火傷者に於ては小使一名消防夫二名、負傷者(實驗中爆發のため器具の破片に因る)教師一名生徒五十四名であつて物的損害に比して其の被害の少ないのは既記のやうに我が國の學校火災は主として夜間に起るものが多く、晝間と雖授業中のものが僅少であるがためである。

(八)御眞影燒失

御眞影を燒失するに至つた火災は大正十三年中に於いて三件、大正十四年中に於て一件、大正十五年中に於いて二件、昭和二年中に於いて一件、計七件であつて學校管理者關係者の懈怠不謹愼眞に驚くに値する不祥事であり又恐懼に堪へないことである、尤も狂へる火焰を冒して御眞影奉遷の任を全うした者もあるが何れにしてもかゝる事態を惹起することは記すだに畏多いことであらねばならない。

(三) 米國に於ける學校火災の概要

我が國に於ける學校火災の概要は前記の通りであるが、之に對し世界一の火災國と稱せらる、米國に於ける實狀を掲ぐることも亦一興である。

米國に於ける學校數は約三十萬を數へ、これらの學校に發起したる

火災に關し米國々民防止協會季報（一九二七年十月發行第二十一卷）は長文の調査報告を載せて居るから左に其の要綱を摘記する。

（一）著名なる學校火災

○レークヴィユー學校（一九〇八年三月四日）

オハイヨ州クリーヴランド市外コリンウツドのレークヴイユ學校の火災は授業中（午前十時―十一時）であつたゝめに二名の教師と百七十三名の生徒が燒死、原因木製根太の上に敷設されたる蒸氣本管。

○教區立小學校（一九一五年十月二十八日）

マサツチユセツツ州ピーボディーのセントジョーン教區立學校地下室から出火し（午前九時）地下室階段出口が遮斷されて兒童二十二名燒死。

○セントポニフエース高等學校（一九二二年十一月二十五日）

この學校の火災は午前二時十五分頃發見されたのであるが、就眠中の教師一名と生徒九名が燒死、原因洗濯所に於ける喫煙。

○クリーヴランド學校（一九二三年五月十七日）

南カロリナ州カムデンのこの學校の火災は夕刻の課業始あ遊戲中に觀覽席から起つたのであつて約二十分で全燒、七十七名燒死、原因石油ランプの自力墜落。

○ホープデヴエロツプメント學校（一九二四年五月三十一日）

カリフオルニア州ヴエニス近くのプレーヤデルレーにあるこの學校では午後八時四十五分出火し孃母一名女生徒四十一名燒死、原因放火（因にこの學校は低能女子教養か目的である）

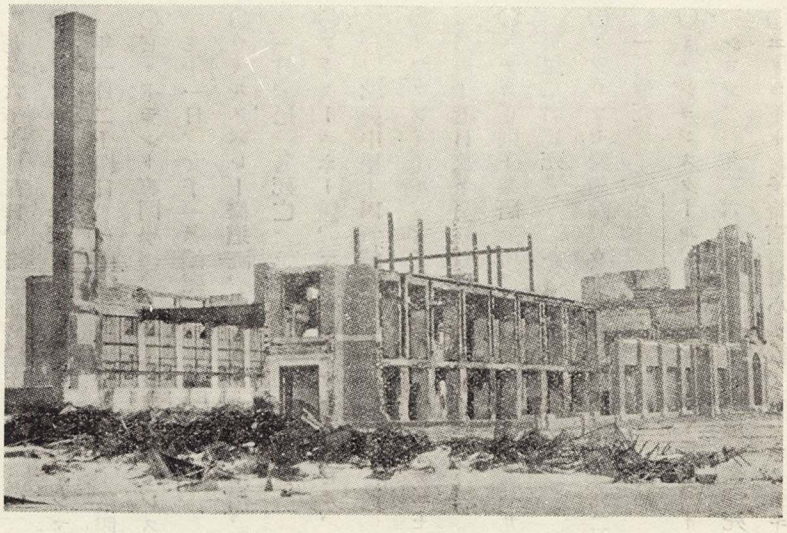
○ルーラル學校（一九二四年十二月二十四日）

オクラハマ州ホバート近くにあるバプススウィツチのこの學校でクリスマス前夜の祝宴中にクリスイストリーが轉倒して其の燭火から火災を起し三十六名燒死。

以上は燒死者の比較的多いものゝみであるがこの外燒死者を出した學校火災を擧げると次のやうである。

（イ）中學校

○ノースサイド中學校、ミネソタ州ミネアポリス、一九一三年七月十



ミシガン州イプシランチの在リコンソル共立學校の火災は一九二五年十二月五日夜發起したのであるが內部可燃質の建物であつため外壁は再築を要するまでに損傷されたのである。

八日、壁の墜落により消防夫二名死亡。

○ホイリング中學校、ウエストヴアージニア州ホイリング、一九一四年一月三日、壁の墜落により義勇消防夫二名死亡。

○デアリング中學校、マイネ州ポートランド、一九二一年五月二十一日、壁の墜落により消防長死亡。

○マルヽボロ中學校、マサツチユセツツ州マルヽボロ、一九二二年一月二十二日、火の粉が着衣に移つて女兒燒死。

○ワシントン中學校、オレゴン州ポートランド、一九二二年九月二十五日、壁の墜落により消防夫一名死亡。

○イングリツシユ中學校、マサツチユセツツ州リン、一九二四年三月二十九日、梁の墜落により消防夫一名死亡。

○ミツゾリー州ユニヴアシチーシチーの中學校、一九二六年九月二十一日、漆喰床塗料の溶劑爆發のため職工一名死亡。

(ロ)小學校

○ホケラガ小學校、加奈陀モントリアル、一九〇七年二月二十六日、敎師一名兒童九名燒死。

○モンテリー公主小學校、インヂアナ州、一九〇七年十二月二十七日ガソリン燈の爆發のため女生二名燒死。

○ネグロ小學校、ノースカロリナ州アツシユビル、一九一七年十一十六日、兒童七名燒死。

○ハイポイントコミユニチー小學校、ジョージア州コビングトン、一九二二年十一月二十八日、兒童二名燒死。

(ハ)寄宿舍

○大學ビルディング、テンネソシー州ナソシユビル、一九〇三年十二月十八日、深夜なりしため女子十五名燒死。

○カーネル大學、ニユーヨーク州イサカ、一九〇六年十二月七日、學生義勇消防夫三名燒死。

○カーネル大學、ニユーヨーク州イサカ、一九〇八年一月三十一日、學生一名燒死。

○クリスチヤンブラザース專門學校、ミツソリー州セントルイス、一九一六年十月五日、學生九名燒死。

○セツツルメント學校、ケンタツキー州バインマヴンテン、一九一九年一月二十四日、夜中の火災で婦人一名子供四名燒死。

○ビードモント專門學校、ジョージア州デモレスト、一九二〇年一月二十一日、女子一名燒死。

○ウイルスパレー修道院、ペンシルヴアニヤ州、一九二〇年三月二十一日、尼一名死亡。

○フラターニネー館、マイネ州ウオーターヴル、一九二二年十二月四日、就寢中學生四名燒死。

○ピツツフイールド女子割烹學校、マサツチユセツツ州、一九二三年二月十七日、下男一名燒死。

○ユチカ正則工業研究所、ミシシツピー州、一九二三年十一月六日、男兒二名燒死。

○ラクロツセ修道院、ウイスコンシン州、一九二三年十二月二日、尼一名燒死。

○ミツシヨンスクール、オレゴン州ウマチラ、インヂアンレザーベーション、一九二六年四月二十一日、尼一名燒死。

○エリコート女子寄宿舍付小學校、コンネクチキウート州グリーウイ

ッチ、一九二六年十二月二十三日、雇人一名燒死。

(ニ)實驗室

○メヂカルビルディング、ミツソリー州コロンビアミツソリー、一九二〇年四月十日、放火せし盜人燒死。

以上列記したるが如く死亡者を出したる學校火災件數は三十件、犧牲者は男四十七名(一二%)、女三十九名(一〇%)、小兒三百十四名(七八%)計、四百名他に性別や年齡の不明な者が二十三名あるから總計四百二十三名に達し、火災一件に付き十四人一分ミいふ死亡率を示し住宅火災に於ける死亡率である二人、其の他の建物に於ける死亡率六名に比して遙かに高率である。

(二)學校火災に於ける死亡原因

(イ)構造、建物の構造の良否は犧牲者の有無多少ミ密接なる關係を有するものである。

事項	中學校	小學校	教室用ビルディング	寄宿舍	工場及實驗室	合計
不適當なる出口	一	二五二	一	一	一	二五二
內開きの出入戶又は閉鎖せる窓	一	三六	一	一	一	三六
夜中睡眠中で致死の原因不明	一	一	一	三九	一	三五
睡眠中の死亡	一	一	一	二七	一	二七
火焰が地下室の階段に沿うて上昇し出口の遮斷	一	二二	一	一	一	二二
第一階よりの火焰が上階への階段遮斷	一	一二	一	一	一	一二
內階段を墜下の爲	一	三	一	一	一	三
總計	一	三二二	一	六五	一	三八七
揮發油燈の爆裂	一	二	一	一	一	二
火の粉	一	一	一	一	一	一
總計	一	二	一	一	一	三

(ロ)衣類の燻燃、致死の直接原因によつて分類して見るミ次のやうであるが、建物の燃燒如何に拘らず死亡したるものも含めてある。



マサツチユセツツ州ウエレスレー專門學校は一九二七年三月七日一部改造中職工の喫煙から火災を起し四十萬圓を要したる建物は修繕不能の損害を受けたのである。

(ハ)消防竝に救助、(二)災を消止めやうとして建物内に殘つて居たり、貴重品を取出さうとして燃えて居る建物に飛込んで死亡したる者は次のやうである。

燃燒せる建物に後戻りす			七		四		一一		一五
壁の崩壞			七				七		五四
消防中(前項に屬せざる)					三		三		三二
總計			七	七		七	二一		五
(ニ)特別危害									六
漆塗床塗料の溶劑の爆發							一		九七
可燃性蒸氣の爆發							一		八
總計			一				二		一三二
(ホ)其の他									一七
不明					一〇		一〇		一
總計					一〇		一〇		五二四
累計	九	三三一		八二		一	四二三		一五七

(三)學校火災に關する其の他の統計

以下掲ぐるところの諸表は米國々民防止協會記錄部が一九〇三年から一九二六年に至る間の左記種類別に依る學校火災五百二十四件(内四百四十七件は一九一七―一九二六年の十ヶ年間のもの)に付き地方會員の報告等に基いて作製したるものである。

大學又は專門學校

師範學校
寄宿舍付學校
職業學校
實業學校
尼學校
中學校
下級中學校
公立小學校
教區立小學校
感化院
合計

然しながら學校火災に付ては火災保險會社でも詳密な調査がないくらいであるばかしでなくこの諸表には小規模のものが除かれてあるから完全確實なものと稱し難いけれども我が國の夫れに比して其の内容が遙かに優越せることが充分窺はれる。

(イ)罹災建物の分類

中學校々舍
小學校々舍
個人學校、大學教室又は事務室
寄宿舍建物
工場又は實驗室用建物
其の他の建物
合計

(ロ)發火場所

事項	中學校	小學校	教室用ビルデイング	寄宿舍	工場又は實驗室	其他	合計
汽罐室、爐室	一四	二六	一	七	四	五	五七
地下室	七	二〇	五	一三		二	四七
屋根	六	一七	六	二		五	四六
屋根部屋	一〇	九	六	一〇	三	五	四三
化學實驗室又は之に類するもの	七		七	二	二	一	二〇
教室	四	八	四		一	三	二〇
集會室	一二	四	一			一	一八
押入	六	四	二	六			一八
紙屑置場	二	七	二		二	一	一五
家事實習室臺所	三	一		七	一	一	一三
壁又は床	一	三	三	四			一一
學生室							一一
食堂	二	一		六			九
各種實習室	四	二	一				八
體操室		四			二		六
教員室	一	二			一		五
石炭庫	三	一	一				五
隣接建物		三		一			四
機械實驗室				三	一		四
圖書室	一						三
外套室		三					三

事項	中學校	小學校	教室用ビルデイング	寄宿舍	工場又は實驗室	其他	合計
洗濯所						二	二
化學準備室	一						一
地下室にあらざる建物下底		三					三
枠造り小屋						二	二
浴室	一						一
昇降機室						二	二
居室						二	二
その他		一				一六	一七
不明	二〇	三〇	一一	二五	一一	一七	一一四
總計	一〇五	一四九	五四	一〇九	四七	六〇	五二四

備考、この表の中の其の他とは校庭に於ける花火、教會堂の鐘樓、貯木室、鑄物場、木材乾燥室、ポンプ室、解剖室、競技準備室、屠殺所、映寫室、書籍準備室、門衛所、病室、撫球廊、武器庫、氷室、厩舍等である。

(八)罹災建物の構造

事項	中學校	小學校	教室用ビルデイング	寄宿舍	工場又は實驗室	其他	合計
外壁煉瓦造又は石造內部木造	六六	八〇	三四	四九	二三	二三	二七五
枠造	一四	四一	五	三四	八	一六	一八
耐火構造	一		四	三	一四	九	三一
煉瓦貼付	四	八	一			一	一五
一部耐火構造	六	二	一			一	一〇
枠造外部化粧煉瓦貼付	二						四

外壁コンクリート、ブロック內部木造	一	二	一	一	一	一	四
不明	一二	一六	八	二一	二	八	六七
總計	一〇五	一四九	五四	一〇九	四七	六〇	五二四

この表の示すがやうに外壁が煉瓦造又は石造であつて內部が木造のものが最も多く總數の約二分の一以上に及んで居るのみでなく其の何れも完全に燒失したのであつて、これらは地下室の遮斷されてないもの又は開放階段のものなど共に火災の擴大が極めて速かである。

(二)出火原因

項	中學校	小學校	教室用ビルデイング	寄宿舍	工場又は實驗室	其他	合計
喫煙	三	四	五	一一	二	一二	三七
自然發火	一一	五	三	五	七	二	三三
破損せる暖房裝置	一〇	一四	—	四	四	一	三三
破損せる煙突及煙道	四	八	二	一〇	三	五	三二
放火	六	一四	二	五	—	一	二八
破損電線	九	五	四	三	二	三	二六
煙突の火の粉が木造屋根へ落下	二	八	一	三	—	二	一六
落雷	一	三	二	三	—	三	一二
裸火	—	五	—	一	一	一	八
原因不明の竈褸發火	一	三	—	一	—	一	五
屋根師の爐又はトーチ	一	一	二	一	—	—	五
ストーヴ又は火床の火の粉	—	一	—	一	—	一	三
映畫フイルムの機械中に於ける發火	—	一	—	一	—	二	三
ブンゼン瓦斯バーナー	—	一	—	二	—	三	六
燐寸	—	一	一	一	—	三	六
漆喰床塗料用溶劑の引火	二	—	—	—	—	二	四
蒸氣管の木造部燃燒	—	—	—	—	—	二	二
黃燐	一	—	—	一	—	二	四
發火用瓦斯の燃燒	—	一	—	—	—	二	三
油煎浴の過熱	—	—	—	二	—	二	四
其の他	四	六	二	七	五	二	二六
不明	四九	六九	二九	五二	一八	二二	二三九
總計	一〇五	一四九	五四	一〇九	四七	六〇	五二四

喫煙が火災原因として有力なものであることは他の何れの火災に於いても共通であるが學校火災に於ても亦然りである。破損せる暖房裝置や煙突煙道或は破損電線に因る火災の多いことはこれらの檢査や修繕の忽緒に附すべからざるを示し、『其の他』の中に包含せらるゝ主要なるものは石油類、アルコール、エーテルなどの危險物品、熱灰、蠟燭、揮發油又は石油ランプの爆發又は墜落、電氣アイロン、炊事用電熱器、瓦斯湯沸器などであつて何れにしても前記の各原因は管理者や關係者の周到なる用意と細心の注意によつて充分防止し得るのである

尙原因不明の相當多いのは火災保險業者が學校火災を比較的重大視しないために熟練せる火災檢査官の調査を煩すことが尠ないのに起因するのである。

(ホ)出火覺知

事項	中學校	小學校	教室用ビルディング	寄宿舍	工場又は實驗室	其他	合計
外部の人	六七	七六	一七	一〇	八	一三	一九一
使用人	一四	三九	二〇	三三	二六	一八	一五〇
學生又は生徒	七	一二	二	四七	七	九	八四
スプリンクラーの警鐘	一	—	—	—	—	二	四
火災に依つて作用する補助警鐘	一	—	—	—	—	—	一
不明	一五	二二	一五	一九	四	一六	九一
總計	一〇五	一四九	五四	一〇九	四七	六〇	五二四

小學校の火災が外部の人によつて發見せらるゝことの多いのは校舍を使用して居ないときの出火が多い事實を示し、中學校の場合が之に次いで多いのは校舍が小學校に比して一般に廣大であるがために守衛又は門衛が發見する以前に外部の人によつて急を報ぜられることになるのに因るのである、又之に反して寄宿舍の場合は建物使用中に起る火災が多いために外部の人に依つて發見せらるゝよりも寧ろ學生生徒又は使用人がより多く覺知するのである。

(ヘ)消防設備

事項	中學校	小學校	教室用ビルディング	寄宿舍	工場又は實驗室	其他	合計



一九二七年四月二十九日に出火したカリフォルニア州サクラメントのリンコルン小學校は大きな枠造であつたから消防隊必死の活動も其の効なく火勢迅速且つ猛烈を極めたのである。

給水若干	四八	八七	三三	五二	三二	三五 二八七
給水不適當	九	四	一〇	一五	五	九 五二
用水なく消防隊及び化學的消火器	七	六	—	四	—	— 一七
防火設備なし	一六	二九	四	一八	五	五 七七
不明	二五	二三	七	二〇	五	一一 九一
總計	一〇五	一四九	五四	一〇九	四七	六〇 五二七

(ト)自働噴水裝置の效果

事項	中學校	小學校	教室用ビルデイング	寄宿舍	工場又は實驗室	其他	合計	百分率
消火せしもの	一	—	一	一	七	五	一五	六五・三〇
抑止せしもの	—	—	—	一	五	一	七	三〇・四〇
失敗に終りしもの	一	—	—	—	—	—	一	四・三〇
不明	—	三	一	—	二	二	八	九五・七〇
總計	二	三	二	二	一四	八	三一	一〇〇・〇〇

この表に基いて火災時に於ける自働噴水裝置の能率を調べて見るに次のやうである。

事項	火災數	百分率
事實上若は全然消火したる場合	一五	六五・三〇
火災を抑止したる場合	七	三〇・四〇
奏效合計	二二	九五・七〇
不奏效	一	四・三〇
總計	二三	一〇〇・〇〇

自働噴水裝置の有効なることはこの表の示す通りであるが參考のため左に其の事例の三四を擧げる。

△一九二〇年九月紐育市に於けるビルデイングの第三階を賃借して居る某實業專門學校の守衛室から拭床用油滲襤褸の自然發火のために大事に及んだが一個の噴水嘴によつて消火。

△一九二〇年十月紐育市に於ける某大學校舍の昇降機室下の反古紙室へ昇降機の中から煙草の吸殼を投げたゝめに出火したが二個の自働噴水器によつて消火。

△一九二二年三月紐育市に於けるあるビルデイングの第八階にある洋服裁縫學校が反古紙の附近に煙草の吸殼を投げたのが原因となつて火災になつたが自働噴水器によつて消火。

△一九二四年十月紐育市某大學實驗室が化學藥品か廢棄物の自然發火のために燃上つたが一個の自働噴水器によつて卽時消火。

△一九二五年三月マサツチユセツツ州ローウエルに於けるある紡織學校の實驗室の化學藥品箱が黃燐のために燃上つたが一個の自働噴水器によつて間もなく消火。

△一九二六年四月マサツチユセツツ州のある專門學校化學實驗室に於てガスバーナーのゴム管が脫離したゝめに失火し大事に至りかけたが自働噴水器によつて消火。

(チ)建物の用否

火災時に其の建物を使用中であるか否かは燒死者の有無多少と密接なる關係を有するものであるが、其の狀況は次のやうであつて寄宿舍以外では一般に建物が空虛の場合に出火の多いことが知り得られる。

事項	中學校	小學校	教室用ビルデイング	工場又は實驗室	其他	寄宿舍を除く合計
空虛	七五	八六	三一	一八	一八	二二五
使用中	一三	三二	一一	一〇	一六	八二
不明	一七	三一	一二	一九	二六	一〇五
總計	一〇五	一四九	五四	四七	六〇	四一五

寄宿舍の火災に付ては次の通りである。

事項	日中	夜中	合計
使用中	三三	四八	八一
空虛	—	—	五
火災時以外は不明	六	一	七
使用不使用不明	—	—	一六
總計	三九	四九	一〇九

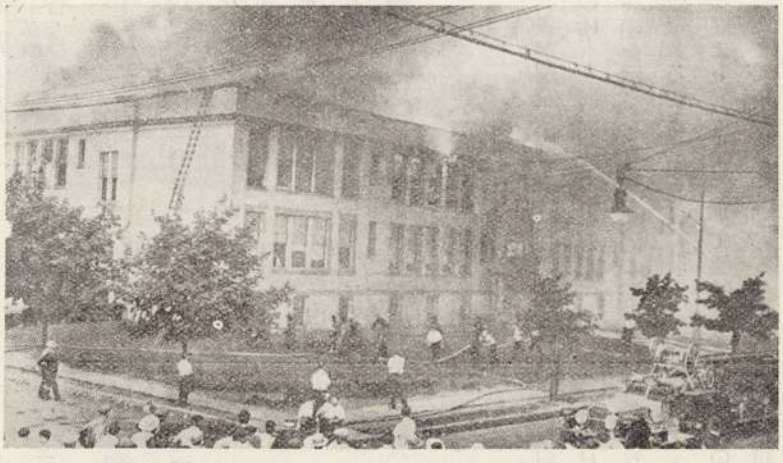
(リ)避難狀況

學校火災に際し特に注意を要することは在校生の避難救出であるから平素より之が訓練や演習を試み一朝有事の日に備ふべきである、次の表は其の實際狀況を示して居る。

事項	中學校	小學校	教室用ビルデイング	工場又は實驗室	其他	合計(寄宿舍を除く)
出口の秩序良好	四	一〇	—	—	一	一五
全部避難(方法不明)	一	三	三	—	一	八
一部繞死又は火傷	—	五	—	—	二	七
出口不秩序	一	三	一	—	—	五
梯子に依る救助	一	一	—	—	—	二
出口に無關係	七八	九二	三六	三三	二五	二六四
不明	二〇	三五	一四	一四	三一	一一四
總計	一〇五	一四九	五四	四七	六〇	四一五

寄宿舍に付ては次のやうである。

事項	日中火災	夜中火災	計



ニユーヂヤーシー州がフーイルドに於ける中學校の大災は一九二七年六月二十三日の晝間授業開始前に化學實驗室から發起し其の損害八萬弗餘に及んだが構造は外壁煉瓦造内部の大部は可燃性構造であつたのである。

一部燒死又は火傷	一	一一	一二	
出口秩序良好	三	六	九	
全部避難(方法不明)		八	八	
出口不秩序		六	六	
出口無關係			一九	
不明			五五	
總計	四	三一	一〇九	

授業中の火災に際し生徒に死傷者を出すと否とは一にかゝりて出口構造の良否と避難秩序の整否にあるのであるが殊に平時より其の訓練に努めて置かなければ騒擾混亂のために壓死傷者を出す虞がある、左に二三の良好なる避難事例を掲げる。

△一九一四年二月オンタワ州トロントのある學校(收容生徒數八百名)から出火したが、この學校は平素から警鐘が鳴れば避難準備に着手することになつて居たので火焰が階段に到らない前に無事全部が立退くことが出來たのである。

△一九一八年十二月カリフオルニア州ロングビーチのある學校に於て暖房裝置の破損個所から出火し其の發見前に火焰は建物の全部に及んで居たが幼稚園級から第八學年生までの小供六百名以上が教師達の指揮の下に警鐘が鳴つてから僅か二分間で全員建物外に避難し得たのである。

△一九二五年二月マサツチユセツツ州ボストンのある公立小學校に於て放課間際に爐の過熱から出火したが避難ベルと共に兒童は教師指導の下に靜肅に階段を下りて街路に出で無事難を避けたのである。

△一九二五年十一月マサツチユセツツ州ローレンスのある教區立小學校に於て授業中に油加熱裝置の爆發に因つて火災が起つたが煙が教室に入りかけた頃鳴り出した避難報知のベルの音と共に生徒は秩序よく建物を立退いて一名の犧牲者をも出さなかつたのである。

(ヌ)損害

損害額	中學校	小學校	教室	寄宿舍	工場又は實驗室	其他	合計
百萬弗以上							
十萬弗以上百萬弗未滿	二七	一七	一二	二四	六	一三	九九
一萬弗以上十萬弗未滿	五四	八三	二六	四五	一三	二〇	二四一
千弗以上一萬弗未滿	一二	一四	四	一九	九	九	六七
百弗以上千弗未滿	一	五	四	九	六	六	三一
百弗以下	四	六	二	四	五	八	二九
不明	七	二四	五	八	八	四	五六
總計	一〇五	一四九	五四	一〇九	六〇	六〇	五二四

(四)結論

我が國及米國に於ける學校火災の概要は前記の通りであるが、今この兩者を對照するに我が國の學校火災件數は學校總數に比して非常に高率を示せることと米國の學校火災に於ては其の死傷者が豫想外に多數であることとが特に顯著である。

固より學校火災に於て犧牲者を出すことの不幸の極致であることは云ふまでもないことであるから其の絶滅を期すべきであるが更に一歩

を進めて其の根源たる火災の豫防に意を用ふることは頗る緊要缺くべからざる重大事である。

而して火災豫防に無關心であり冷淡であるのは我が國の各階級に亘れる一大積弊であるが、苟も學校は其の階級と種類とを問はず一國文化の淵叢であり一國風教の中心となるべき所であるから當局者たる者は其の火災問題に付いて深く省察し事を未然に防止するの方策を樹つると共に其の實行を圖り併せて平素より所謂防火思想の普及涵養に努むべきである、左に學校火災の豫防法並に應急策に付いて二三の卑見を簡單に記して本稿の結論とする。

其の第一は校舍の構造と其の配置である、近時我が國都市の學校に於いては耐火構造の校舍が漸增するの趨勢にあるは慶賀すべき現象であつて益々之を助長奬勵すべきであるが校舍を二階建又は二階建以上とする場合には其の位置が一般建築物の密集地帶にあるとを否とに拘らず之を耐火構造たらしむべく、就中御眞影奉安殿や理化學實驗室其の他危險藥品、電氣、瓦斯、電氣等に關係多き建物は之を獨立せしむると共に其の構造を耐火化することが急務である又他の建築物の密集せざる所に設置するものと雖木造にして相連接して長大なるものにあつては防火壁を以て適當に區劃し火災の擴大を局限するに資すべきである

校舍を敷地境界線との間に相當の距離を保有することは外部の火災に因る類燒や外部への延燒を防止する上に於いて甚だ有効であるが其の餘地なき場合には防火壁を以て之に代ゆるも亦一法である。

第二に考慮を要すべきことは學校の管理である、學校の管理よろしきを得ざることは其の校舍の可燃性を相俟つて學校火災を頻發せしめ且其の損害を膨脹せしむるものなることは過去の幾多の事實が之を雄辯に物語つて居る、殊に考究を要するは危險性藥品、電氣、瓦斯等に因る火災と所謂火の不始末に因る火災とである、前者に付いては一部特殊の學校を除いて他は殆んど總べてに於いて引火性、發火性、又は爆發性の危險性藥品類を或は教授用として或は各種實驗研究用として之を使用するを常とするが故に其の貯藏又は取扱に細心の注意を加ふべきであるが其の貯藏に關しては往年關東震火災の直後文部省から示達されたる一定の標準もあり又大阪府の如きは危險物品取締規則中に貯藏室の構造設備を規定して居るから之等に據るべきである。

實驗室又は研究室に於ける瓦斯の漏洩、點火せる瓦斯バーナーの放置や照明用電熱用の電氣設備又は配線の故障に付いては時々檢査を勵行し必要に應じて修繕するを要する。

火の不始末に付いては一般的には採暖用の火鉢やストーヴに伴ふもの、寄宿舍や小使室に於ける炊事用熱源に關するもの、裁縫室の鏝燒爐に起るものなどあるが之等は何れも當事者の正しき處置によつて充分防正し得るのであるから其の注意を怠つてはならない。

かやうに學校火災の主たる原因と其の發火動機を芟除するに努むると共に守衛又は宿直員の巡視を勵行すべきである、蓋し學校は一般に其の敷地や建物の廣大なるを普通とするから出火を早期に發見するために巡視の嚴密正確を期すべきに依る。

第三に避難法、自衛消防法、消防設備に付いてであるが過去に於ける我が國の學校火災は幸にして學生、生徒、兒童などに多數の死傷者を出したることがないけれども、之を以て將來の安全を率すべくもない、殊に小學校の如き其の授業中に於てたとへ校外出火ありとするも狼狽恐怖して意外の椿事を惹起するの虞があるから豫め一定の避難法を制定すると共に廊下、階段、出入口、非常口などが混亂雜踏せざるやう常に有効に保持してこれらの利用、避難の實施を訓練し有事の日に備へ以て其の安全を圖るべきである。

中等程度以上の學校、就中寄宿舍の附屬せるものにあつては自衛消防隊を編成して平素より其の活動を練習し、非常時に際しては單獨に又は公設消防隊と協力して防火に努むべきであるがこれがためには適當の出火警報器、消防喇筒、自働噴火裝置、防火栓、應急消防器具其の他の消防用機具並に材料を完備すると共に容易に且つ豐富に給水し得る施設を整へることが肝要である。(了)

四部入選

蘇牛作



四疊半で四角四面に世を渡つてゐる？ゐねいか
知らねいが僕なんざあ堂々たるもんでネつまり
その何んだよ第一藝術味たつぷりな若い燕の巣
こ言ふ奴を出品したんだよ、君そふにや〳〵
しちやいやだぜ
『ごふせ君の三角關係のクライマックス言こふ彼かネ
『じよふだんじやないよ極眞面目な創作なんだからネ……處がだ。
『落選か
『その筋の……
『助かつた君の名譽の爲にだろふ

彼れも藝術いや是れも藝術こいやはや恐入つた藝術の乘讀、此の分で行きや人間の作り方だつて各々其の何んだよ、詰りその何んだからネこ云ふ奴でごん〳〵帝展へ赤ん坊を搬入するのも近い事だらふよある若い作家が四疊半て奴を帝展へ搬入込んだんだネ所が見事に裏門の方へ通り越しつまつたんで彼は非常に落膽の局浮世を捨て、その

建築工事實施方法

（2）

大林組
工務監督　渡部圭吾

二、現場主任と係員

現場主任　Superintendent は工事現場に於ける總指揮官であり

係員　Assistant は之れが手足であり一部の指揮官である　監督側にあるものも請負側にあるものもその立場こそ異れぞも工事を完全に仕上ぐるこ云ふ同一の目的を有し同一の障害を敵とするものであるから、末葉の小異を捨て相助け相補ひ常に協力一致して進まなければならぬ、現時に於ける現場主任は一個の人格者であり強健なる體質を有する技術者であらねばならぬこは勿論であるが、其の外に如何なる天稟の素質こ才能こを有するものが最も適當なる人物で、如何なる方面の知識と技術こを有し、如何なるこを心得てをかなければならぬか、又現場主任こしての重要なる職務は何であるかは、選任適所を重要視せらるゝ今日に於てはその監督官廳並に會社に於ける撰定者も研究せねばならぬこであり、現場主任並に係員たらんこする人々も充分に知らなければならぬ事である。現場主任こして重要視すべき素質こ才能は、

統一力　『天時は地の利に如かず地の利は人の和に如かず』こある如く、一工事を完成するに當り、監督者も被監督者も、主任者係員たるこを問はず、職工は勿論人夫小使給仕等に至るまで、協力一致して各々が十分の能力を發揮し、工事に從事せねば必勝を期するこが出來ない、之等の人々を統一和合せしめ、一致協力して工事の完成に努力せしむるこは、一に現場主任の手腕に待たなければならぬこころである、一度工事に着手するや現場主任はその係員、請負人（請負者の現場主任ならば監督者）下請、並に各種の職工、人夫等と、頻繁に直接交捗が始まる、一般に技術者は頑固であり自負と自信こを有し、世間知らずこ云ふ樣な人が多い、直接に作業する職工人夫の中には特種な性質を有するものが多い、例へば鳶、土工、鍛冶工等の如きは好惡の色彩鮮明であつてその上永續性のものが多い、即ち彼れの敬愛するこころには身を捨つるも厭はざるも、嫌惡するこころのものは排斥するに何等過借するところなき風習を有するものである、彼等は性濶達にして急、言語概ね粗暴、正論に反對するここなきも、不用意の言葉に對しては猛烈に反對するこのあるものである、これ等職工の多くは住所一定せず、工事に從ふて轉々するものが多い、彼等はその仕事に於てある程度の知智こ技能こ自信こ有するもので、實際的でない命令に對しては服從するここを欲せぬものである、故に統制宜しきを

得れば敢てその力を惜むものではない、之等の人々を支配し能率よく働かしむるには天稟的な統一力のある人でなければならぬ、即ち性豪膽而も態度沈着にして言ふところ人を信せしめ、なすところ無駄のない人物でなければならぬ。然もよく部下並に各職工の性質、技倆、風習等を知り彼等を統御支配する手腕と經驗を有する人でなければならぬ、

先見の明　現場主任者は機敏にしてよく先が見えること云ふ人でなければならぬ、事件が目前に迫つてから始て氣が付くやうでは、判斷力が特に勝れてをる人でなければ、よい結果を得ることが出來ない、工事進行上に於ても、目先が眞暗では誠に賴りなく、この複雜な工事の托することか出來ない、部下職工にある仕事を命ずるにしてもその結果が何うなるかを預知することが出來る人でなければならぬ。尙工事の形勢を見て順調に進みつゝあるや否やを見破ることの出來る人でありたい、例へばある工事の欠點を發見して手直しを命ずる場合にも或はそのまゝに許す場合にしても、この程度で進んだならば結果に於て豫期せるものを得らるゝや否やを、見破ることが出來る人でなければならぬ、如何なる職人にしても手直しすること、況して全く造り代へることは、好まぬものである、この場合に最後の出來榮の豫想を誤り逡巡したり、間違つた命令を下したならば、遂には工事を混亂せしめ收拾のつかぬことゝなる、又建築工事は長い期間に亘るもので、各職工共、常に緊張して始終することは六かしいものである、それで時々その潮時を見定めて、緊張せしむる方法をとるは大切のことである昔の兵學者が天文を見て敵の形勢を知ると傳へられてをるのは先見の明即ち豫知力のことを指したものである、史上に傳へられてをる三方原の戰で甲軍の謀將が『德川氏の陣單に織田氏の陣旗亂る破るべきなり』と觀破して大勝を得たのはこの豫知力の偉大さを示した例である吾々の仕事に於ても同樣で、職人の働き振りで形勢を察し、工事促進の方法を講じ、職工や材料の入替をもせねばならぬことが間々ある、この豫知力も多くは天稟のものであるが、ある程度までは練習と經驗によりて到達することの得らるゝものである。

判斷力　現場には豫期さるゝ事件の外に、突發的な事が時々起るものである之等の事件は恰こ考慮の時間を與へぬ卽決を要するものがある、この處理に對しては、明晰な頭腦により直ちに快力亂麻的な判斷を與へねばならぬ、この能力の欠けてをるものは先づ現場主任たる資格のないものであることはこゝに冗言を述ぶる迄もないことである

責任觀念、實行力、攻勢的氣分　何事によらず一つの事業又は仕事を委託せられ、その衝に對つてをるものは、この責任觀念の多分に有するものでなければならぬことは云ふまでもないことであるが尙工事を完成することが自己の天職でありこ心得、專心これに心身を打込む人であれば、尙更結構である、又何程のよい考を有つてをる人でも逡巡して實行力の乏しい人は結果に於て勝利を得られぬ、熟慮の結果なさねばならぬこと、必らず實行すべくその長上より命ぜられたることは是非こも成遂ぐる强き意志力のある、所謂意地張の强い人でなければならぬ、又守勢をとるこ云ふことは近期日の中に援軍があるとか、敵に内訌があつて獨りで潰走する見込のある場合の外には、採るべき方法でない、多くの場合に守つて勝つた例がない。ある時兒玉大將が互角力士の取組を見物したことがあつた、衆評多くは引分であらうこ豫想してをつたが、取組が始らんとするや、一方の力士の眉宇の

間に攻勢の甚だ盛なるものあることを發見した、之れを見てこつた將軍は、未だ決せざるに『勝負あつた』と叫んだと云ふ挿話がある。この戰術が將軍をして日露の役に於て吾國に大勝をもたらした所以の一であると、語られてをる。建築工事にては多くは、援軍のない孤立せる敵と見るべきものであるから味方即ち現場從業員は常に突撃的の氣分に燃てゐなければならぬ、この精神を皷舞するものは現場主任であり主任者自らがこの氣分にならなければ、部下の係員並に職工人夫をして、之れに倣はしめ引き緊めて行くことが出來ないものである。

熱心にして研究に富むこと、吾々の工事は永久のものでありその工事材料、施工方法は日に日に變り日に日に進歩しつゝある、使用すべき職工人夫等の思想生活等も、日に日に變化向上しつゝある、今日に於ける最良の方法は必らずしも明日に於て最良の方法でない、一日研究を忘れば一日時代より落伍しつゝあるのである、十年間研究を怠るものあらば已に舊い時代の人となつて今日の用に堪へない、凡ての競爭者は今日馳足で、工事の研究場裏を走りつゝあることを忘れてはならない、例へば今より十年前では今日のような器械もなかつたが混凝土打手間は一立坪約三十圓の費用を要した、今日よき器械と設備を以てせば僅かに五六圓で立派に出來る、鉸鋲に於ても一組一日の鉸鋲數は二百乃至二百五十個であつたが今日熟練せる職工一組の鉸鋲數は千五百個に及ぶことがある、その他工事作業の多くは十年前に比して約三四倍の能率となつたことは確かである、けれども他の製造工業の作業能率に比較すれば未だ劣つてをるところが多い、過去を研究し將來を豫想する時に吾々の仕事に於て如何に熱心なる研究が必要であるかゞ解る、殊にその實驗物に直面しその衝に當りつゝある現場主任者は、一日も安閑としてその日過さるべきものではない。

外交的手腕　一度現場主任としての經驗あるものは單に技術的知識を有するのみにては順調に工事を進めて行くことが出來ないものであることを發見するであらう、現場主任者として現場に望むや、直ちに部下や職工以外にも、種々の關係者が續出して、それが爲めに多大の時間と腦力とを費さなければならぬ、工事を實施せんとするに當り監督官廳、交通關係、輸送關係等のことに關しては一々その衝に當り最少の盡力により最大の効果を擧ねばならぬ、從つて工事を進行せしむる爲めに是等の關係者と圓滿良好なる關係を持續し、機會ある毎に工事のため有利な援助を得なければならぬ、これ現場主任者として外交的手腕の要するところである、現場主任の對外的には謹嚴な態度と親密な調子で、人を外さぬような老練さがなければならぬ、部下職工に對しては對外的のものと多少異り廣量にして嚴格、然も彼れの才能と技術とに信賴せしめ、彼れの存在を確任せしむる方法でなければならぬ、もし彼れを攻撃するものあらば彼れを庇護する程度でありたい職工は各々その職業に對して、技能と自信とを有するものであるから主任者の命令を實行せしむる場合には愼重考慮の上に服從せしめねばおかぬ方法をもつてせねばならぬ。又請負者、下請人、職工等は自己の利益の爲めに現場主任の弱點を捉へんとするものにある。この弱點を捉へられぬやうにすることは勿論であるが、自惚や輕信等は往々にして彼等に利用せらるゝことが多いものである、又外交的方法は人によつて必らずしも同一のものではない、自己の勝れたるところを利用すべきである、又相手によりて異なるもので、部下ならば、叱り付けて効を奏することもあれば、賞めて効を奏することもある、激勵によ

りて成功することもあれば、冷嘲によりて成功することもある、外交的手腕は大部分天稟ではあるが經驗によりて練達することの出來るものである。

次に現場主任者りして如何なる方面の知識と技術とを多分に有することが必要であり、これが涵養に勉めなければならぬかを述べん。

構造及意匠設計上の智識と材料と施工方法に關する智識

建築工事の現場任者たるものは構造上の智識を有し、よく圖面仕樣を解し且その工事材料明細書を精確に迅速に作製し得るものでなければならぬことは勿論であるが更らに進んで設計者の意志を理解し、之れに適合する施工方法を採るやうにせねばならぬ、單なる都合の爲めに構造上重要なる部分を省略することは、宜しくないことである。若し施工方法上却つて弱き構造となるやうな設計であつた場合には、之れを設計者に進言して、共に研究すべきである、意匠設計と施工方法との關係も同樣である、一般に構造設計の技術者は與へられたる條件の下に力學上の法則に從ひ出來得る限りの完璧を期し意匠の設計者は費用の許す限り、藝術的な作品を得んことに努力するものである、一旦設計したるものに對しては、實施の際に力學上肝要なる點に欠陷の出來ることを恐れ、又意匠上の効果を失はざれぬことを希ふものである下請人及職工は寧ろ工事の實施に重きを置く傾向に有し、力學上、藝術上の智識に乏しく、出來得る丈け簡單な然も費用のかゝらぬ方法を採ることを希ふものである、この間に立つて現場主任者は構造意匠の方面と、工事實施方法との兩面を考慮し構造上意匠上に於ける設計者の意志を失はずに、實施する方法なきやをやを細心に研究し、而して明快に是れが判斷を下さなければならぬ。即ち力學上又は藝術上の問題の外に人間が製作すると云ふ要素が加はる實施方法のことを考へて判斷すべきで、是れが現場主任の最大の責務であり、學ばなければならぬ最も肝要なところである、この實施方法の一般は學校教育によりて學び得らるゝものであるが今日この方面に於ける教授時間は他の講座に比して少なきの觀がある、故に校門を出で、後に、實際に於て研究し實驗しなければならぬ事柄である。

所屬官廳、會社、請負會社の組織と工事實施の順序系統の研究

工事の出來榮や工事期限は、施主たる官廳會社又は個人等の組織 Organization によることもあるが、大部分は請負會社又は請負人の組織によるものである、大工事は大きい組織のところ然も完全な組織のところでなければならぬ、少さい工事はそれに適當せる組織を有するところでなければならぬ。現場主任は是等のことに關しては、發言權を有たぬから之れを變更することは出來ぬ、唯如何にすればこの組織を尤も能率よく運用することが出來るかを、豫め研究してをく必要がある、各種の書類や決定事項等が如何にすれば推滯せずに早く運ぶか、如何にすれば必要な材料や器械等が早く現場に到着するやを知る爲めに、その關係の官廳、會社及請負會社の組織下請の系統等を明瞭に知悉してをく必要があるのである、現場に於て工事實施の順序方法、職工人夫の運用の順序を定めることは現場主任者の與へられたる權限内にあるが故に常に一糸亂れざる正しき順序に於て、然もその間に少しの猶豫もなきように作業を進行せしめねばならぬ、作業開始前には凡ての必要なる材料が現場に到着し、必要なる器械が完全に設備せられ、然も完全に修理せられ要所要所には凡て油やグリス等が注入せられ、何時でも運轉せらるゝやうに準備せられねばならぬ、

又必要なる職工は作業時間前に一人の不足もなく、現場に到着してをらねばならぬ、現場に於ける何人でも工事進行には常に進むべき順序系統があること、もし與へられたる時間内に、彼等のなすべき作業を完成せぬ場合には、時間に於ても、經濟的にも、大なる損失があることを、固く知らしめなければならぬ、これと同時に現場主任者は要點を誤らずに指揮し得るやうに、常々から工事作業の順序につきて研究せねばならぬ、然して手戻の仕事や手直の仕事は絶體にないやうにせねばならぬ、これ迄現場に於てこの作業の順序を過つた爲めに多大な損失を蒙つた例は數ふるに遑なき程である、たとひ直接の損害が現場主任者になくとも、これは現場主任者の責任であると云ひたい、又各手の下請は各々の作業の便利と經濟とのみを考へ、他に及ぼす影響等は考へぬものであるから、彼れ等の申出を適當に判斷して、工事完成の進行路を過らしめざるは現場主任者の技倆によるものである。

事務の所理方法　官廳、會社、及請負會社等は一の事務的機關である。而して出來得る丈け簡單にして明瞭、然も迅速に凡ての事柄を解し得るやうな事務的方法をとつてをるものである。現場主任者は是等の人々の間に立つて事務的方法の大體を知らなければ、技術者が事務に忙殺せられて技術的な他の方面に手を伸すことを得ない結果となる、昔時の技術者は世間構はずに仕事をやつて行つたが、今日の技術者は自己も官廳、會社等に於ける有機的組織の一員であることを忘れてはならない、若し事務員なる助手があつたとしても、之れに仕事を命じ之れを理解する丈けの知智を有せねばならぬ。

法律上の智識　現場主任者は契約者の代人であり、契約の遂行者である、故に請負契約、賣買契約、保險契約、特許權、一手販賣權等の民法商法上にある之れに關する部分の大體を知らねばならぬ。交通の頻繁な市街地に工事を施工する場合に於ては、交通人に對して不慮の危害を與へ地下堀鑿に當りて隣家に災害を與ふることもある、又使傭中の職工人夫等に過つた命令を下した爲めに、或は設備の悪いために、或は職工相互の過失のために、直接又は間接に傷害を與ふる場合があるから、之等の過失が何の程度まで施主又は請負者、現場主任者自身及係員、又は職工相互に法律上關係あるものなるやを辨へてをらねばならぬ、この外に建築物施工法規、各府縣に於ける建築物施工規則、市町村の道路と建築物に關する規則、物品材料輸送に關する鐵道電車、道路、河川、港灣等に關する規則等を知らねばならぬ、又市町村の給水及電力供給に關する規則並に之れ等の法規等も大約知つてをくことが宜しい、法律上に關する事件の突發する毎に、悉く辯護士に依頼することは、多くの時間と多くの費用を要するもので、好しくないことである、法律上の解釋は法の根源を基礎とせる常識によることはある程度までは差支ないものである、而して疑問な點のみを辯護士に問合す方が宜しい、正しき常識のある現場主任者の判斷は餘りに間違のないもので、もし彼れに疑はしき點は大方辯護士にも疑はしき點である、以上の法律上の知識の全部を知ることは、或は難いことであるかも知れないが、ある程度までは是非とも知らなければならぬ、即ち少くとも契約文、仕樣書等の事柄を正しく解釋する素質を造る丈けでも、大なる力となるものである、又之れ等が常識的のものであるとしても工事を進めて行く間に非常に役立つものである。

次に現場主任として工事を完全に仕上て行く責務を果さなければならぬ外に、日々の仕事の中でなさねばならぬこと、注意すべきことは

數限りなくあるが、その重なるものは

作業の命令　現場主任者は總指揮官であるから重要な命令は凡て現場主任者より請負者の現場主任に（請負者側の現場主任者ならば下請の代人又は世話役）下されねばならぬ。たゞ命令の原案が部下より出されたとしても現場主任より改めて下すべきである、この命令指示は簡單にして明瞭でなければならぬ、然も實行し得るものでなければならぬ、辛じて實行し得らるゝ程度のものならば差支ないが、全く實行し得ざるものならば、却つて主任者の信任と尊敬とを失はるゝものであるから注意しなければならぬ、又職人は自己の知識と經驗とにより實行不可能を訴ふることあるものなれば、この場合はよく諒解の行くまで、其の方法を說明しなければならぬ、あまり高壓的に說明をもせずして實行せしむる時は、却つて出來得るものも失敗となる場合がある、一旦下したる命令は鐵言であらねばならぬし、必らず實行せしめねばならぬ、もしこの命令にして拒絶せらるゝか、又は拒絶せられんとする傾向見ゆる時は、直ちにその上席者若又責任者を呼出して注意を喚起せねばならぬ、又各職工より工事上の質問或は解決を求らるゝ場合には直ちに回答し、或は解決を與へなければならぬ、之等の回答及解決に逡巡して工事を遲滯せしむることは尤も不賢明なことである、各職工人夫等は一刻の猶豫もなく疑問もなく專心に作業に努めしむるやうに何事も仕向けなければならぬ。

進行調査と能率調査　現場主任者は日々工事の進行狀態即ちその日に何程出來たかを調査せねばならぬ、而して工事進行の羅針盤である工事工程表と比較し豫定の通りに行きつゝあるや否やを檢し、もし遲滯せることを發見せる場合には、直ちに明日に取返すべき方法を計畫せねばならぬ之れと同時に日々に作業人員を調査し工事の出來高と比較して各職工が能率よく作業しつゝあるや否やを、研究調査せねばならぬ、もし能率よく作業しつゝある場合には、後日の爲めに、その作業方法の如何なる點に長所がやるやに研究調査して記錄せねばならぬ、もし能率惡しく働きつゝあることを發見せる場合には如何なる所に欠點あるやを調査し直ちに作業方法を改良すべく考へねばならぬ日々の能率調査は恰も航海に於て使用する氣壓計のやうなもので、又は病人の熱系表にも做うべきものである、もし作業能率が惡い方に向ひつゝあるならば、近き將來に於て、必らず困難（トラブル）が現るべきを敎ふるものである。この職工の能率調査はその日、その日に重要なるのみならず、職工の能力と賃銀に關して精確なる知識を與ふるものにして後日に於て工程表作製の基礎智識となり或は技術者の本領なる『よく、早く、安く、强く』工事を仕上げる根源の智識となるものである。

係員の部署　現場主任者は係員の性質技倆及才能等によりて愼重考慮の上に如何なる工事を擔當さすべきかを決定しなければならぬ、個人の適性を考査して之れを適所に配し工事の作業能率を增進せしむることは近世科學の生んだ重要視すべき事柄の一つである、現場に於ては吾が海軍省に於てするが如き方法を實行すると云ふことは出來まいが可及的に詳しく係員の性質技倆及才能を調査すべきである、その一方法としては係員に自ら述べさすこともよろしかるべく、又その人を知る他人に問合するも宜しかるべし、或は現場主任自ら考査するも可なるべし、斯くして後現場主任自らの性質、技倆及才能等をも考へ透間のない係員の配置部署を決定せねばならぬ。

工程表の作製　前章に於て述べたるが如く工程表は航中の羅針盤

である進むべき方針の大體を教ふる基本工程表は本部の計劃係に於て作製することは差支なきも、詳細工程表は常に現場主任によりて計劃作製せられねばならぬ、現場に於ては、思はざる事件發生して工程を妨害するものであるから、是等の點を十分に考慮し、理論的な、然も實際的な精密なる工程表を作製せねばならぬ、尚工事が遲滯せる場合は勿論進捗し過ぎたる場合も、時に新たに工事工程表を作製して一日も早く間違なく目的地に達し得るやうに努力せねばならぬ。

材料の注文と各種の支拂　凡ての材料は必要なる時期に、必要なる材料が現場に到着するやうに、然も設計仕樣書に示されたる品質のものが現場に納入せられ、納入の場合に於て期日を誤り材料の品質を誤るが如きことなきやうに、充分に打合せ注意の上に注文せられねばならぬ、材料代及工賃等は現場主任の査定によりて支拂はるゝものなるが故に、嚴格にして私情に捉はれてはならぬ、又多きも少きも何れにしても、工事の進捗を妨げる原因となる場合が多いものである密に然も迅速に、豫定の期日には必らず支拂得らるゝやうに取計はねから、精ばならぬ。多くの職工はこの工賃によりて生活し、餘分の貯へを有するもの少なく、もしこの支拂を受け得ざるが如き場合に至らば、安心して作業に努力することの出來ないものであるから、現場主任は特にこの點に留意し彼等に全力を注がしむべく、常に注意を怠つてはならぬ、是等の支拂高を決定する爲めには各工事に渉りその價値即ち原價を知るべく常から努めなければならぬことは勿論である。

現場巡視　現場主任者は他に用務のあるものであるから、絕ず現場を巡視することが出來ない場合もあるが　可及的數多く新たに作業に就かしめんとする時及作業の終了時には必らず現場を巡視し目前に進行程度、職工の作業振り等を檢分することか必要である、而して進行や作業能率を阻害するが如き原因を發見した場合には、直ちに之れを除去するの方法をこらねばならぬ、例へば足代惡しくして作業能力を減退せるを發見せる場合、照明が惡くして作業不可能の場所ある時は、直ちに足代を直し、灯火の設備を與へねばならぬ、八十度以上に發熱して危險に瀕せる電動機は直ちに修理するか取替ねばならぬ、惡い方法を以て職工が作業せる場合には親切に教へねばならぬ、又各職工に於て倦怠の氣勢を觀破したる場合には、緊張せしむる激勵の方法を講ぜねばならぬ、不穩の形勢を發見せる場合には、轉回の方法を講ぜねばならぬ。

『勇將の下に弱卒なく、智將の下には失敗がない』とは、言ひ古されたる言葉であるが現場主任者にして、自ら緊張の度合を欠いてをつたならば、その部下たる係員は勿論職工人夫に至るまで、作業に熱心なるを得ないのである、故に現場主任者はその貴務重大にして工事成績の如何は眞に彼れが双肩にかゝること稱するも尚足らざるの觀がある

係員　如何なる良指揮官と雖も、直接に千人以上に亘る各種の職工を指揮命令することは出來ない、こゝに助手の心要が生ずるところである、又前章に述べたるが如き凡ての資格を具備せる現場主任は、容易に得難きものである、如何なる人と雖も同じことで、長所と短所とを有することは免れない、それで、この短所を補ふ爲めに、補助員が必要となる譯である、即ち係員は助手であり補助である、現場主任者の足らざるを補ひ手の及ばざるところを助くるものでなければならぬ、故にその助け補ふべき點に於て勝れたるものは係員として上々のもので、現場主任者の如き才能と素質とを有する必要がない、よく現場主任者を助け補ふ丈けの技術と智識とを有すればその責務を全ふすることを得るものである、係員はよくその主任に服從し命令に從はねばならぬ、但し必要なる意見をも、述べ得ざる卑屈なものではならぬ事務員ならば事務に堪能であり鐵骨工事の係員ならば鐵骨工事につき凡てを知りよくその職工を御する能力あるものならば宜しいのである

主任者と係員とは最も密接なる關係にあるものなれば、互に相信じ相敬し協力一致して工事の完成に努力するならば工事の成功は期して待つべきである。（續）　三、三、二一

“二次率一様ならざる柱を有する小屋組の解法”

【3】

大阪橋本組設計部　工學士　　石　井　　勇

然るに　$T_2=\pi-T_1$

故に、

$$\frac{EI}{k}f_2=\pi\frac{1}{24}\left[h^2\left(-8h+\frac{6F}{A}\right)+d\left\{\frac{1-k}{k}d\left(4d-\frac{6F}{A}\right)-12h\left(\frac{F}{A}-h\right)\right\}\right]$$

$$-T_1\frac{1}{24}\left[-h^2\left(8h-\frac{6F}{A}\right)+d\left\{\frac{1-k}{k}d\left(4d-\frac{6F}{A}\right)-12h\left(\frac{F}{A}-h\right)\right\}\right]$$

こゝに於て $f_1=f_2$ とおけば T_1 が出て來る。

$$T_1=\frac{\pi\left[h^2\left(12d-16h+\frac{6F}{A}\right)+d\left\{\frac{1-k}{k}d\left(4d-\frac{6F}{A}\right)+8d^2-24hd-12\frac{hF}{A}+24h^2\right\}\right]-\left[d\left\{\frac{1-k}{k}\frac{6Bd}{A}+12h\frac{B}{A}\right\}-h^2\frac{6B}{A}\right]}{4h^2\left(\frac{3F}{A}-4h\right)+2d\left\{\frac{1-k}{k}d\left(4d-\frac{6F}{A}\right)-12h\left(\frac{F}{A}-h\right)\right\}}\quad\cdots\cdots(99)$$

茲に、

$$\left.\begin{aligned}&d(1-k)+kh=A\\&k\pi\{d^2+h(h-2d)\}=B\\&kh^2-(k-1)d^2=F\end{aligned}\right\}\quad\cdots\cdots(100)$$

$k=1$ なる時は

$$A=h,\qquad B=\pi\{d^2+h(h-2d)\},\qquad F=h^2$$

從つて

$$T_1=\frac{\pi(12h^2d-16h^3+6h^3+8d^3-24hd^2-12h^2d+24h^2d)-\{12d\pi(d^2+h^2-2dh)-6h\pi(d^2+h^2-2dh)\}}{-4h^3}$$

$$=\pi\left\{\left(\frac{d}{h}\right)^3-\frac{3}{2}\left(\frac{d}{h}\right)^2+1\right\}\quad\cdots\cdots(101)$$

$$\theta_1=\frac{T_1h}{b}-\frac{\mu_1}{b}-\frac{\pi_1(h-a)}{b}\quad\cdots\cdots(102)$$

$$\theta_2=\frac{T_2h}{b}-\frac{\mu_2}{b}\quad\cdots\cdots(103)$$

$$R_1=T_1+\theta_1-\pi_1;\qquad R_2=T_2+\theta_2\quad\cdots\cdots(104)$$

$$Q_1=-Q_2=\frac{1}{l}(\pi a-\mu_1-\mu_2)\quad\cdots\cdots(105)$$

(d)　兩柱が夫々上下柱の接合點に相異る集中横力を受ける場合。

第十圖、第二十八圖參照。

今、

$$\left.\begin{aligned}&d(1-k)+kh=A\\&k\pi_1\{d^2+h(h-2d)\}=B_1\\&k\pi_2\{d^2+h(h-2d)\}=B_2\\&kh^2-(k-1)d^2=F\end{aligned}\right\}\quad\cdots\cdots(106)$$

と置けば、前項式 (97) に從ひ、$f_1=f_2$ なるにより直ちに、次の如くお

く事が出来る。

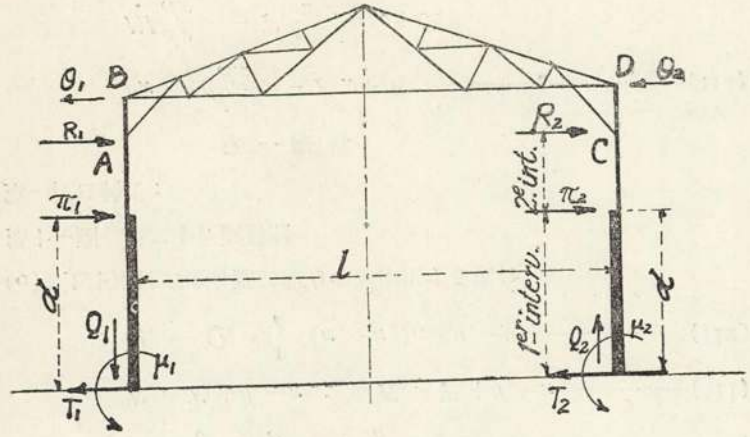


Fig. 28. — Ferme Polonceau composée.

$$T_1\frac{1}{24}\Big[h^2\Big\{4h-6\frac{F}{A}+12\frac{F}{A}-12h\Big\}+d\Big\{\frac{1-k}{k}d\Big(4d-6\frac{F}{A}\Big)-12h\Big(\frac{F}{A}-h\Big)\Big\}\Big]_1$$

$$-\frac{\pi_1}{24}\Big[h^2(12d-8h)+d\{8d^2+12h(h-2d)\}\Big]_2+\frac{1}{24}\Big[d\Big(\frac{1-k}{k}\cdot\frac{6Bd}{A}+12h\frac{B_1}{A}\Big)-h^2\frac{6B_1}{A}\Big]_3$$

$$=T_2\frac{1}{24}\Big[\quad\Big]_1-\frac{\pi_2}{24}\Big[\quad\Big]_2+\frac{1}{24}\Big[d\Big(\frac{1-k}{k}\cdot\frac{6B_2d}{A}+12h\frac{B_2}{A}\Big)-\frac{h^2\,6B_2}{A}\Big].$$

然るに　$T_1+T_2=\pi_1+\pi_2$,　$T_2=(\pi_1+\pi_2)-T_1$

故に上式を〔 〕の記號を用ひて書き改めれば

$$T_1\frac{1}{24}\Big[\quad\Big]_1-\frac{\pi_1}{24}\Big[\quad\Big]_2+\frac{1}{24}\Big[\quad\Big]_3=(\pi_1+\pi_2)\frac{1}{24}\Big[\quad\Big]_1$$
$$-T_1\Big[\quad\Big]_1\frac{1}{24}-\frac{\pi_2}{24}\Big[\quad\Big]_2+\frac{1}{24}\Big[\quad\Big]_4$$

是を解いて次の T_1 の値を得る。

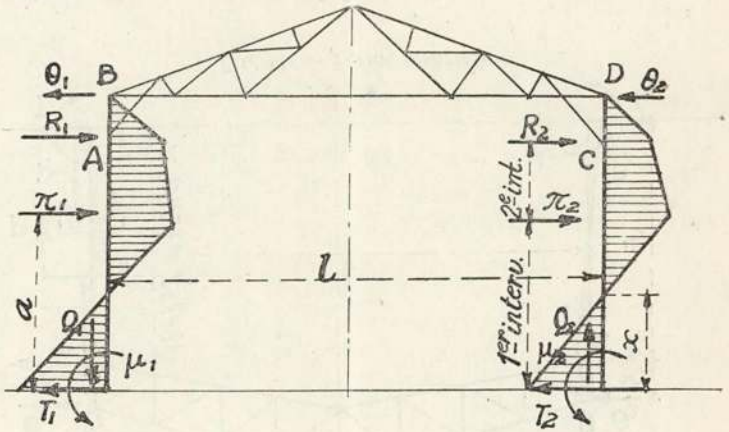


Fig. 10. — Ferme Polonceau composée.

$$T_1=\frac{\pi_1\Big[h^2\Big(-16h+\frac{6F}{A}+12d\Big)+d\Big\{\frac{1-k}{k}d\Big(4d-\frac{6F}{A}\Big)+8d^2+24h^2-12h\frac{F}{A}-24hd\Big\}\Big]}{2\Big[h^2\Big(\frac{6F}{A}-8h\Big)+d\Big\{\frac{1-k}{k}d\Big(4d-\frac{6F}{A}\Big)-12h\Big(\frac{F}{A}-h\Big)\Big\}\Big]}$$
$$+\frac{\pi_2\Big[h^2\Big(\frac{6F}{A}-12d\Big)+d\Big\{\frac{1-k}{k}d\Big(4d-\frac{6F}{A}\Big)-12\frac{hF}{A}-8d^2+24hd\Big\}\Big]}{\text{同上分母}}$$
$$+\frac{\Big[d\Big\{\frac{1-k}{k}\cdot\frac{6d}{A}(B_2-B_1)+\frac{12h}{A}(B_2-B_1)\Big\}-\frac{6h^2}{A}(B_2-B_1)\Big]}{\text{同上分母}}$$

.....(107)

$k=1$ とすれば

$$B_2-B_1=\{d^2+h(h-2d)\}(\pi_2-\pi_1)$$

$$A=h, \qquad F=h^2$$

$$T_1=\frac{\pi_1(-16h^3+6h^3+12dh^2+8d^3+24h^2d-12h^2d-24hd^2)+\pi_2(6h^3-12h^2d-12h^2d-8d^3+24hd^2)}{-4h^3}$$

$$\frac{+12d\{d^2+h(h-2d)\}(\pi_2-\pi_1)-6h\{d^2+h(h-2d)\}(\pi_2-\pi_1)}{\text{分母同上}}$$

$$=\frac{\pi_1\{-10h^3+8d^3+24hd(h-d)\}+\pi_2\{6h^3-24hd(h-d)-8d^3\}+(\pi_2-\pi_1)[(12d-6h)\{d^2-h(h-2d)\}]}{-4h^3}$$

$$=\pi_1-\frac{3}{2}\frac{d^2}{h^2}(\pi_1-\pi_2)+\frac{d^3}{h^3}(\pi_1-\pi_2) \quad \cdots\cdots(108)$$

$$\theta_1=\frac{T_1h}{b}-\frac{\mu_1}{b}-\frac{\pi_1(h-a)}{b} \quad \cdots\cdots(109)$$

$$\theta_2=\frac{T_2h}{b}-\frac{\mu_2}{b}-\frac{\pi_2(h-a)}{b} \quad \cdots\cdots(110)$$

$$R_1=T_1+\theta_1-\pi_1; \qquad R_2=T_2+\theta_2-\pi_2 \quad \cdots\cdots(111)$$

$$Q_1=-Q_2=\frac{1}{l}\{(\pi_1+\pi_2)a-\mu_1-\mu_2\} \quad \cdots\cdots(112)$$

(e) 上下兩柱の接合點に曲力率が作用する場合

第十一圖、第二十九圖參照

第一柱に於て：

第 一 限 界

$$\mu x=EI\frac{d^2y}{dx^2}=-T_1x+\mu_1 \quad \cdots\cdots(113)$$

$$EI\frac{dy}{dx}=-T_1\frac{x^2}{2}+\mu_1x+C_1$$

$$C_1=0$$

第 二 限 界

$$\mu x=\frac{EI}{k}\frac{d^2y}{dx^2}=-T_1x+\mu_1+Pc \quad \cdots\cdots(114)$$

$$\frac{EI}{k}\frac{dy}{dx}=-T_1\frac{x^2}{2}+\mu_1x+Pcx+C_2$$

$x=h$ に對し $\frac{dy}{dx}=0$ となる。

故に $C_2=T_1\frac{h^2}{2}-\mu_1h-Pch$

即ち $\frac{dy}{dx}$ の式は次の如くなる

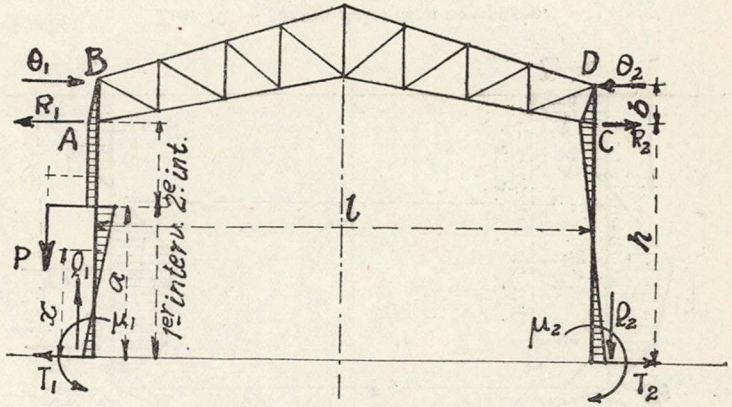


FIG. 11. — Ferme américaine.

$$EI\frac{dy}{dx}=-\frac{T_1x^2}{2}+\mu_1x \qquad \frac{EI}{k}\frac{dy}{dx}=-\frac{T_1x^2}{2}+\mu_1x+Pcx+T_1\frac{h^2}{2}-\mu_1h-Pch$$

$x=d$ に對し $\frac{dy}{dx}$ は兩限界共相等しいから

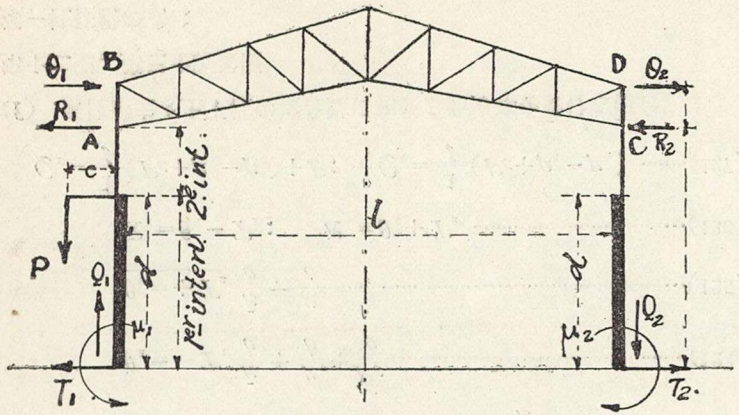


FIG. 29. — Ferme americaine.

$$-\frac{T_1 d^2}{2}+\mu_1 d=k\left[-\frac{T_1 d^2}{2}+\mu_1 d+Pcd+T_1\frac{h^2}{2}-\mu_1 h-Pch\right]$$

故に $$\mu_1=\frac{T_1\frac{1}{2}(kh^2+(1-k)d^2)+kPc(d-h)}{d(1-k)+kh} \quad \cdots\cdots(115)$$

今
$$\left.\begin{aligned} &kh^2+(1-k)d^2=F\\ &d(1-k)+kh=A\\ &kPc(d-h)=B \end{aligned}\right\}\text{とすれば}$$

$$\mu_1=T_1\frac{F}{2A}+\frac{B}{A} \quad \cdots\cdots(116)$$

從つて $\frac{dy}{dx}$ の式は次の如くなる。

$$EI\frac{dy}{dx}=-T_1\frac{x^2}{2}+T_1\frac{Fx}{2A}+\frac{Bx}{A};$$

$$\frac{EI}{k}\frac{dy}{dx}=-T_1\frac{x^2}{2}+T_1\frac{Fx}{2A}+\frac{Bx}{A}+Pcx+T_1\frac{h^2}{2}-T_1\frac{Fh}{2A}-\frac{Bh}{A}-Pch$$

又移動の式は

$$EIy=-T_1\frac{x^3}{6}+T_1\frac{Fx^2}{4A}+\frac{Bx^2}{2A}+C_1'; \quad \cdots\cdots(117)$$

$$\frac{EI}{k}y=-T_1\frac{x^3}{6}+T_1\frac{Fx^2}{4A}+\frac{Bx^2}{2A}+\frac{Pcx^2}{2}+T_1\frac{h^2}{2}x-T_1\frac{Fhx}{2A}-\frac{Bhx}{A}-Pchx+C_2' \quad \cdots\cdots(118)$$

茲 $C_1'=0$ である。

$$EIy=k\left[-T_1\frac{x^2}{24}\left(4x-6\frac{F}{A}\right)+\frac{T_1 hx}{2}\left(h-\frac{F}{A}\right)+\frac{Bx^2}{2A}+\frac{Pcx^2}{2}-\frac{Bhx}{A}-Pchx+C_2'\right]$$

$x=d$ に對し兩限界の移動量は等しからねばならないから

$$-T_1\frac{d^2}{24}\left(4d-6\frac{F}{A}\right)+\frac{Bd^2}{2A}=k\left[-T_1\frac{d^2}{24}\left(4d-6\frac{F}{A}\right)+\frac{T_1 hd}{2}\left(h-\frac{F}{A}\right)+\frac{Bd^2}{2A}+\frac{Pcd^2}{2}-\frac{Bhd}{A}-Pchd+C_2'\right]$$

是を解いて

$$C_2'=-\frac{(1-k)}{k}T_1\frac{d^2}{24}\left(4d-\frac{6F}{A}\right)+\frac{(1-k)}{k}\frac{Bd^2}{24}-\frac{T_1}{2}hd\left(h-\frac{F}{A}\right)+\frac{Pcd}{2}(2h-d)+\frac{Bhd}{A}$$

故に $x=h$ の時には第一柱上端の移動量ニして C_2' のこの値を入れて次の如くなる。

$$\frac{EI}{k}f_1=-T_1\frac{1}{24}\left[h^2\left(-8h+6\frac{F}{A}\right)+d\left\{\frac{1-k}{k}d\left(4d-\frac{6F}{A}\right)+12h^2-12h\frac{F}{A}\right\}\right]+\frac{1}{24}\left[h^2\left\{12\left(-\frac{B}{A}-Pc\right)\right\}+d\left\{12Pc(2h-d)+\frac{24Bh}{A}+\frac{12(1-k)}{k}\frac{Bd}{A}\right\}\right] \quad \cdots\cdots(119)$$

又第二柱に於ては前項の如くして、$T_1=T_2$ より

$$\frac{EI}{k}f_2=+T_1\frac{1}{24}\left[h_2\left(-8h+\frac{6F}{A}\right)+d\left\{\frac{1-k}{k}d\left(4d-\frac{6F}{A}\right)-12h\left(\frac{F}{A}-h\right)\right\}\right] \quad \cdots\cdots(120)$$

$f_1=f_2$ として T_1 を求めると

$$T_1=\frac{-12h^2\left(\frac{B}{A}+Pc\right)+d\left\{12Pc(2h-d)+\frac{12B}{A}\left(2h+\frac{1-k}{k}d\right)\right\}}{4h^2\left(\frac{3F}{A}-4h\right)+d\left\{\frac{1-k}{k}d\left(8d-12\frac{F}{A}\right)+24h\left(h-\frac{F}{A}\right)\right\}} \quad (121)$$

茲に

$$\left.\begin{aligned} &d(1-k)+kh=A\\ &kPc(d-h)=B\\ &kh^2+(1-k)d^2=F \end{aligned}\right\} \quad \cdots\cdots(122)$$

$k=1$ なる時は

$$T_2=\frac{-12Pchd+12Pch^2-12Pch^2+24Pchd-12Pcd^2+24Pcd^2-24Pchd}{4h^3(3h-4h)+24dh(h-h)}$$

$$=\frac{3Pcd(h-d)}{h^3} \quad \cdots\cdots(123)$$

$$\theta_1=-T_1\frac{h}{b}+\frac{\mu_1}{b}+\frac{Pc}{b} \quad \cdots\cdots(124)$$

$$\theta_2=+T_2\frac{h}{b}-\frac{\mu_2}{b} \quad \cdots\cdots(125)$$

$$R_1=\theta_1-T_1; \qquad R_2=\theta_1+T_2 \quad \cdots\cdots(126)$$

$$Q_1=\frac{1}{l}(Pc+\mu_1-\mu_2)+P; \qquad Q_2=\frac{1}{l}(Pc+\mu_1-\mu_2) \quad \cdots\cdots(127)$$

(f) 兩柱が夫々上下柱の接合點に相異る曲力率を受ける塲合

第十二圖、第三十圖參照

第一柱移動の式は

$$\frac{EI}{k}f_1=-T\frac{1}{24}\left[h^3\left(-8h+6\frac{F}{A}\right)+d\left\{\frac{1-k}{k}d\left(4d-\frac{6F}{A}\right)+12h^2-12h\frac{F}{A}\right\}\right]$$

$$+\frac{1}{24}\left[h^2\left\{12\left(-\frac{B_1}{A}-P_1c\right)\right\}+d\left\{12P_1c(2h-d)+\frac{24B_1h}{A}\right.\right.$$

$$\left.\left.+\frac{12(1-k)}{k}\frac{B_1d}{A}\right\}\right] \quad (128)$$

又第二柱に於ては

$$\frac{EI}{k}f_2=T_2\frac{1}{24}\left[h^3\left(-8h+6\frac{F}{A}\right)+d\left\{\frac{1-k}{k}d\left(4d-\frac{6F}{A}\right)+12h^2-12h\frac{F}{A}\right\}\right]$$

$$-\frac{1}{24}\left[h^2\left\{12\left(-\frac{B_2}{A}-P_2c\right)\right\}+d\left\{12P_2c(2h-d)+\frac{24B_2h}{A}\right.\right.$$

$$\left.\left.+\frac{12(1-k)}{k}\cdot\frac{B_2d}{A}\right\}\right] \cdots(129)$$

然るに $T_1=T_2$ 又 $f_1=f_2$ であるから前述の如くにして T_1 を得る。

$$T_1=\frac{h^2\left[-\frac{12}{A}(B_1+B_2)-12c(P_1+P_2)\right]+d\left[12c(2h-d)(P_1+P_2)+\frac{24h}{A}(B_1+B_2)+\frac{12(1-k)}{k}\frac{d}{A}(B_1+B_2)\right]}{2\left[h^3\left(-8h+\frac{6F}{A}\right)+d\left\{\frac{1-k}{k}d\left(4d-\frac{6F}{A}\right)+12h^2-12h\frac{F}{A}\right\}\right]} \quad \cdots\cdots(130)$$

茲に

$$\left.\begin{aligned} &d(1-k)+kh=A\\ &kP_1c(d-h)=B_1\\ &kP_2c(d-h)=B_2\\ &kh^2+(1-k)d^2=F \end{aligned}\right\} \quad \cdots\cdots(131)$$

$k=1$ とすれば

$$B_1+B_2=c(d-h)(P_1+P_2); \qquad A=h; \qquad F=h^2 \quad \text{となり}$$

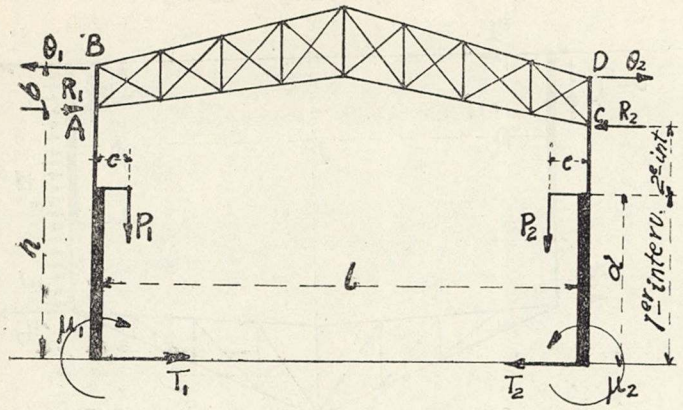


Fig. 30. — Ferme à treillis doubles.

$$T_1=\frac{h^2\left\{-\frac{12}{h}c(d-h)(P_1+P_2)-12c(P_1+P_2)\right\}+d\left\{12c(2h-d)\times(P_1+P_2)+24c(d-h)(P_1+P_2)\right\}}{-4h^3}$$

$$=\frac{3}{h^3}(P_1+P_2)cd(h-d) \quad \cdots\cdots(132)$$

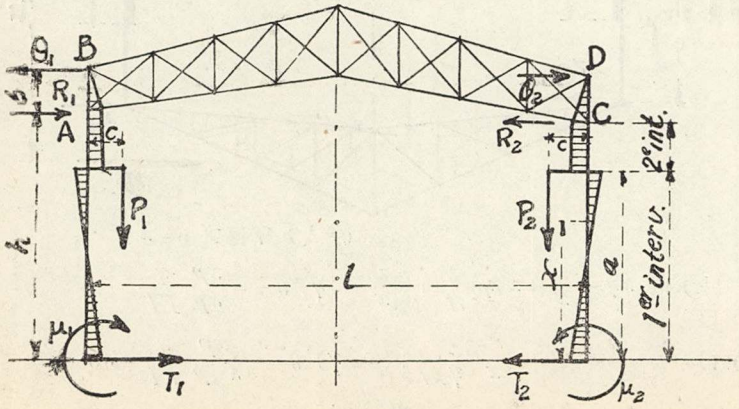


Fig. 12. — Ferme à treillis doubles.

$$\theta_1=-\frac{T_1h}{b}+\frac{\mu_1}{b}+\frac{P_1c}{b};\quad \theta_2=-\frac{T_2h}{b}+\frac{\mu_2}{b}+\frac{P_2c}{b} \quad \cdots\cdots(133)$$

$$R_1=\theta_1-T_1;\quad R_2=\theta_2-T_2 \quad \cdots\cdots(134)$$

$P_2>P_1$

$$Q_1=\frac{1}{l}\left\{(P_2-P_1)c-\mu_1+\mu_2\right\}+P_1;$$

$$Q_2=\frac{1}{l}\left\{(P_2-P_1)C-\mu_1+\mu_2\right\}-P_2 \quad \cdots\cdots(135)$$

$P_1>P_2$

$$Q_1=\frac{1}{l}\left\{(P_1-P_2)C+\mu_1-\mu_2\right\}-P_1;$$

$$Q_2=\frac{1}{l}\left\{(P_1-P_2)C+\mu_1-\mu_2\right\}+P_2 \quad \cdots\cdots(136)$$

第三節　柱の下端固定上端滑節なる時

(a)　小屋組上に集中横力が作用する場合

此の場合は極めて簡單である。θ 及 Q は次の如くなる。

$$\theta_1=\theta_2=\frac{P}{2} \quad \cdots\cdots(137)$$

$$Q_1=-Q_2=\frac{PH}{l} \quad \cdots\cdots(138)$$

第十三圖、第三十一圖參照

(b)　柱上に等布横力が作用する場合

第十四圖、第三十二圖參照

第一柱に於て：

第一限界

$$\mu x=EI\frac{d^2y}{dx^2}=-\theta_1(h-x)+\frac{P(h-x^2)^2}{2}; \quad \cdots\cdots(139)$$

$$EI\frac{dy}{dx}=-\theta_1\left(hx-\frac{x^2}{2}\right)+\frac{P}{2}\left(h^2x+\frac{x^3}{3}-hx^2\right);$$

第 二 限 界

$$\mu x=\frac{EI}{k}\frac{d^2y}{dx^2}=-\theta_1(h-x)+\frac{P(h-x)^2}{2} \quad \cdots\cdots (140)$$

$$\frac{EI}{k}\frac{dy}{dx}=-\theta_1\left(hx-\frac{x^2}{2}\right)+\frac{P}{2}\left(h^2x+\frac{x^3}{3}-hx^2\right)+C_2$$

$x=0$ に對し $C_1=0$

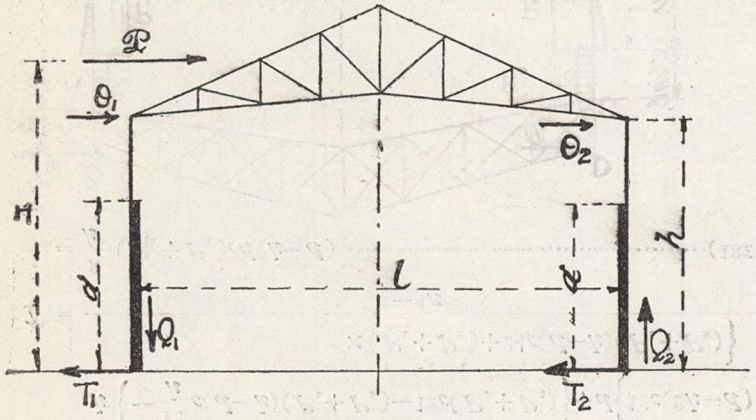


FIG. 31 — Ferme américaine.

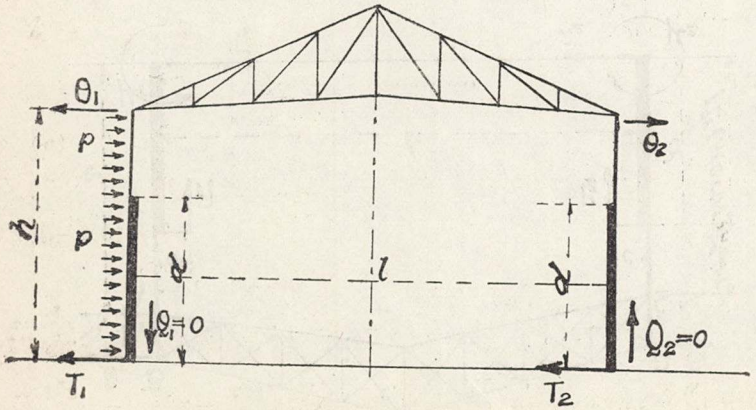


FIG. 32. — Ferme anglaise.

$x=d$ に對し兩除界の $\frac{dy}{dx}$ は相等しい。即ち

$$-\theta_1\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)+\frac{P}{2}\left(h^2d+\frac{d^3}{3}-hd^2\right)=k\left[-\theta_1\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)\right.$$

$$\left.+\frac{P}{2}\left(h^2d+\frac{d^3}{3}-hd^2\right)+C_2\right]$$

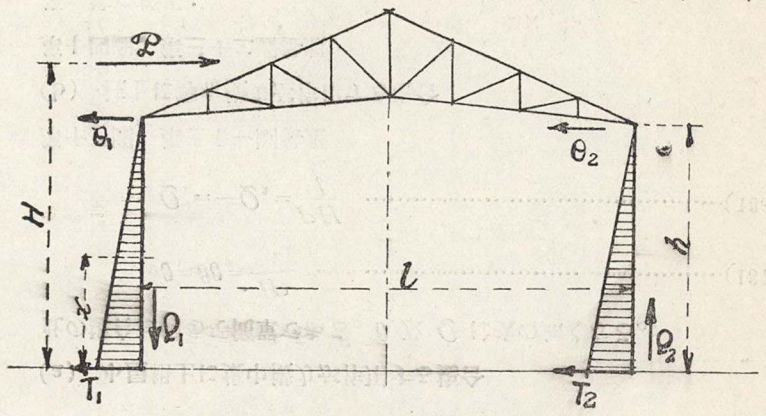


FIG. 13. — Ferme américaine.

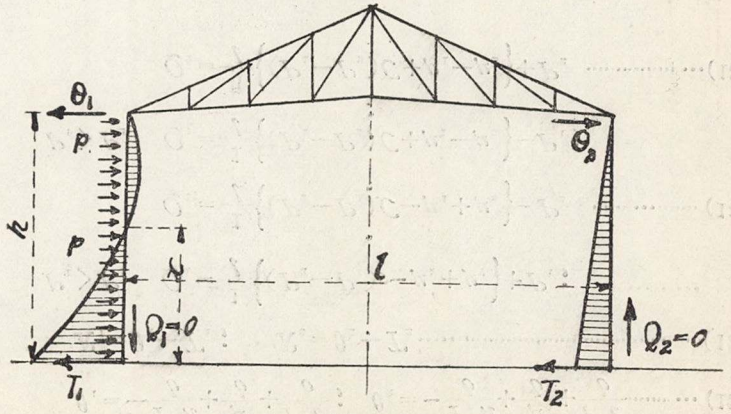


FIG. 14. — Ferme anglaise.

$$C_2=\frac{k-1}{k}\left[\theta_1\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)-\frac{P}{2}\left(h^2d+\frac{d^3}{3}-hd^2\right)\right]$$

移動の式は第一限界に對しては

$$EIy=-\theta_1\left(\frac{hx^2}{2}-\frac{x^3}{6}\right)+\frac{P}{2}\left(\frac{h^2x^2}{2}+\frac{x^4}{12}-\frac{hx^3}{3}\right) \quad \cdots\cdots\cdots\cdots(141)$$

第二限界では：

$$\frac{EI}{k}y=-\theta_1\left(\frac{hx^2}{2}-\frac{x^3}{6}\right)+\frac{P}{2}\left(\frac{h^2x^2}{2}+\frac{x^4}{12}-\frac{hx^3}{3}\right)+\frac{k-1}{k}x\left[\theta_1\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)-\frac{P}{2}\left(h^2d+\frac{d^3}{3}-hd^2\right)\right]+C_2'$$

$x=d$ に對し次式を得る。

$$-\theta_1\left(\frac{hd^2}{2}-\frac{d^3}{6}\right)+\frac{P}{2}\left(\frac{h^2d^2}{2}+\frac{d^4}{12}-\frac{hd^3}{3}\right)=k\left\{-\theta_1\left(\frac{hd^2}{2}-\frac{d^3}{6}\right)+\frac{P}{2}\left(\frac{h^2d^2}{2}+\frac{d^4}{12}-\frac{hd^3}{3}\right)+\frac{k-1}{k}\left[\theta_1\left(hd^2-\frac{d^3}{2}\right)-\frac{P}{2}\left(h^2d^2+\frac{d^4}{3}-hd^3\right)\right]+C_2'\right\}$$

これを解いて

$$C_2'=\frac{k-1}{k}\left[\theta_1\left(-\frac{hd^2}{2}+\frac{d^3}{3}\right)+\frac{P}{2}\left(\frac{h^2d^2}{2}+\frac{d^4}{4}-\frac{2hd^3}{3}\right)\right]$$

故に $x=h$ とし第一柱の移動を求めれば

$$\frac{EI}{k}f_1=-\frac{\theta_1h^3}{3}+\frac{Ph^4}{8}+\frac{k-1}{k}\left[\theta_1\left(\frac{d^3}{3}-d^2h+h^2d\right)+\frac{P}{2}\left(\frac{3}{2}h^2d^2-hd^3-h^3d+\frac{d^4}{4}\right)\right] \quad \cdots\cdots\cdots\cdots(142)$$

第二柱に於て：

第一限界

$$EI\frac{d^2y}{dx^2}=\mu x=\theta_2(h-x)$$

第二限界

$$\frac{EI}{k}\frac{d^2y}{dx^2}=\theta_2(h-x)$$

$$EI\frac{dy}{dx}=\theta_2\left(hx-\frac{x^2}{2}\right)+C_1 \qquad \frac{EI}{k}\frac{dy}{dx}=\theta_2\left(hx-\frac{x^2}{2}\right)+C_2$$

$C_1=0$ 又 $x=d$ として

$$\theta_2\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)=k\left[\theta_2\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)+C_2\right]$$

$$(k-1)\left[-\theta_2\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)\right]=kC_2$$

即ち $$C_2=\frac{k-1}{k}\left[-\theta_2\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)\right]$$

從つて tangente の式は

$$EI\frac{dy}{dx}=\theta_2\left(hx-\frac{x^2}{2}\right); \quad \cdots\cdots\cdots\cdots(143)$$

$$\frac{EI}{k}\frac{dy}{dx}=\theta_2\left(hx-\frac{x^2}{2}\right)+\frac{k-1}{k}\left[-\theta_2\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)\right] \quad \cdots\cdots\cdots\cdots(144)$$

移動の式は

$$EIy=\theta_2\left(\frac{hx^2}{2}-\frac{x^3}{6}\right)+C_1'$$

$$\frac{EI}{k}y=\theta_2\left(\frac{hx^2}{2}-\frac{x^3}{6}\right)+\frac{k-1}{k}\left[-\theta_2x\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)\right]+C_2'$$

$C_1'=0$ C_2' を知る爲に $x=d$ として

$$\theta_2\left(\frac{hd^2}{2}-\frac{d^3}{6}\right)=k\left\{\theta_2\left(\frac{hd^2}{2}-\frac{d^3}{6}\right)+\frac{k-1}{k}\left[-\theta_2\left(hd^2-\frac{d^3}{2}\right)\right]+C_2'\right\}$$

$$kC_2'=(k-1)\left[-\theta_2\left(\frac{hd^2}{2}-\frac{d^3}{6}\right)-\theta_2\left(-hd^2+\frac{d^3}{2}\right)\right]$$

$$C_2'=-\frac{k-1}{k}\theta_2\left(-\frac{hd^2}{2}+\frac{d^3}{3}\right)$$

依つて

$$EIy=\theta_2\left(\frac{hx^2}{2}-\frac{x^3}{6}\right) \quad \cdots\cdots\cdots\cdots(145)$$

$$\frac{EI}{k}y=\theta_2\left(\frac{hx^2}{2}-\frac{x^3}{6}\right)-\frac{k-1}{k}\left[\theta_2\left(hdx-\frac{d^2x}{2}-\frac{hd^2}{2}+\frac{d^3}{3}\right)\right] \quad (146)$$

第二柱の移動量は次式にて與へられる。

$$\frac{EI}{k}f_2=\theta_2\left(\frac{h^3}{2}-\frac{h^3}{6}\right)-\frac{k-1}{k}\left[\theta_2\left(h^2d-\frac{d^2h}{2}-\frac{hd^2}{2}+\frac{d^3}{3}\right)\right]$$

$$=\theta_2\frac{h^3}{2}-\frac{k-1}{k}\theta_2\left(h^2d-d^2h+\frac{d^3}{3}\right) \quad \cdots\cdots (147)$$

$f_1=f_2$ にして且つ $\theta_2=\theta_1$ であるから

$$-\frac{\theta_1h^3}{3}+\frac{Ph^4}{8}+\frac{k-1}{k}\left[\theta_1\left(\frac{d^3}{3}-d^2h+h^2d\right)+\frac{P}{2}\left(\frac{3}{2}h^2d^2-hd^3-h^3d+\frac{d^4}{4}\right)\right]$$

$$=\theta_2\frac{h^3}{3}-\frac{k-1}{k}\theta_2\left(h^2d-hd^2+\frac{d^3}{3}\right)$$

是を解けば

$$\theta_1=\frac{3}{16}P\frac{-h^4+\frac{k-1}{k}(4h^3d-6h^2d^2+4hd^3-d^4}{-h^3+\frac{k-1}{k}(3h^2d-3hd^2+d^3)} \quad \cdots\cdots (148)$$

$k=1$ なる時は

$$\theta_1=\frac{3}{16}Ph \quad \cdots\cdots (149)$$

(c) 上下兩柱の接合點に集中横力が作用する塲合

第十五圖、第三十三圖參照

第一柱に於て：

第一限界	第二限界
$EI\frac{d^2y}{dx^2}=-\theta_1(h-x)+\pi(d-x)\cdots(150)$	$\frac{EI}{k}\frac{d^2y}{dx^2}=-\theta_1(h-x)(151)$
$EI\frac{dy}{dx}=-\theta_1\left(hx-\frac{x^2}{2}\right)+\pi\left(dx-\frac{x^2}{2}\right)$	$\frac{EI}{k}\frac{dy}{dx}=-\theta_1\left(hx-\frac{x^2}{2}\right)+C'$

$x=d$ に對し

$$-\theta_1\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)+\pi\left(d^2-\frac{d^2}{2}\right)=\left[-\theta_1\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)+C'\right]k$$

或は

$$(k-1)\theta_1\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)+\pi\left(d^2-\frac{d^2}{2}\right)=kC'$$

$$C'=+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)+\frac{1}{k}\pi\times\frac{d^2}{2}$$

從つて tangente の式は

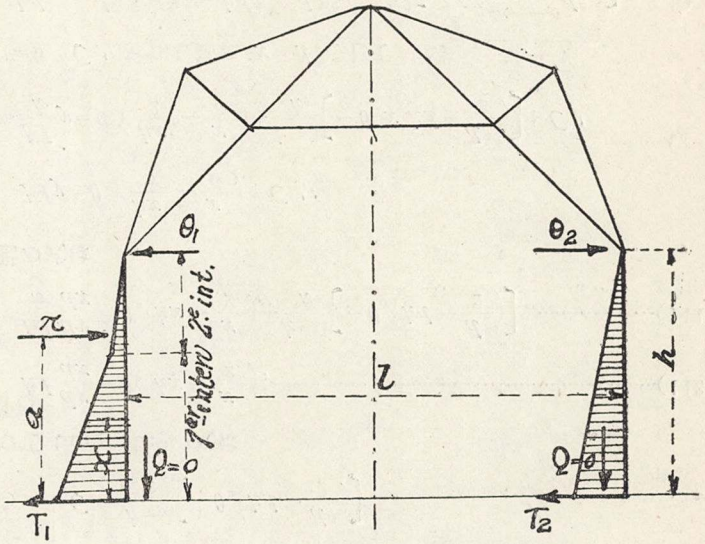


Fig. 15. — Ferme Mansart.

$$EI\frac{dy}{dx}=-\theta_1\left(hx-\frac{x^2}{2}\right)+\pi\left(dx-\frac{x^2}{2}\right); \quad \cdots\cdots (152)$$

$$\frac{EI}{k}\frac{dy}{dx}=-\theta_1\left(hx-\frac{x^2}{2}\right)+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)+\frac{\pi}{k}\frac{d^2}{2} \quad \cdots\cdots (153)$$

移動の式は

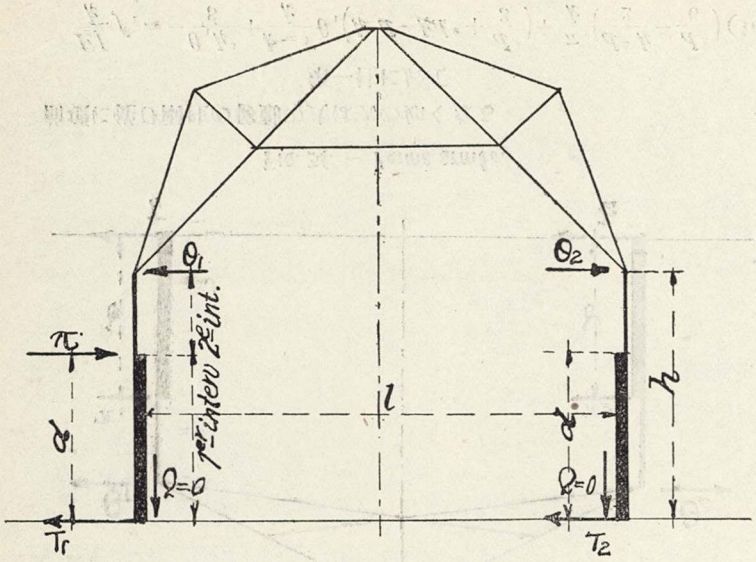


FIG. 33.— Ferme Mansart.

$$EIy=-\theta_1\left(\frac{hx^2}{2}-\frac{x^3}{6}\right)+\pi\left(\frac{dx^2}{2}-\frac{x^3}{6}\right);$$

$$\frac{EI}{k}y=-\theta_1\left(\frac{hx^2}{2}-\frac{x^3}{6}\right)+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(hdx-\frac{d^2x}{2}\right)+\frac{\pi}{k}\frac{d^2x}{2}+C''$$

$x=d$ なる時兩限界の移動量は相等しい。

$$-\theta_1\left(\frac{hd^2}{2}-\frac{d^3}{6}\right)+\pi\left(\frac{d^3}{2}-\frac{d^3}{6}\right)=k\left[-\theta_1\left(\frac{hd^2}{2}-\frac{d^3}{6}\right)+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(hd^2-\frac{d^3}{2}\right)+\frac{\pi}{k}\frac{d^3}{2}+C''\right]$$

是を解いて

$$C''=\frac{k-1}{k}\theta_1\left(-\frac{hd^2}{2}+\frac{d^3}{3}\right)-\frac{\pi d^3}{6k}$$

故に移動の式は結局次の形をとる。

第一限界に於て $$EIy=-\theta_1\left(\frac{hx^2}{2}-\frac{x^3}{6}\right)+\pi\left(\frac{dx^2}{2}-\frac{x^3}{6}\right)\quad\cdots\cdots(154)$$

$$\frac{EI}{k}y=-\theta_1\left(\frac{hx^2}{2}-\frac{x^3}{6}\right)+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(hdx-\frac{d^2x}{2}\right)+\frac{\pi}{k}\frac{d^2x}{2}+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(-\frac{hd^2}{2}+\frac{d^3}{3}\right)-\frac{1}{6}\frac{\pi d^3}{k}\quad\cdots\cdots(155)$$

$x=h$ に對し

$$\frac{EI}{k}f_1=-\frac{\theta_1h^3}{3}+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(h^2d-hd^2+\frac{d^3}{3}\right)+\frac{\pi}{k}\left(\frac{d^2h}{2}-\frac{d^3}{6}\right)\quad(156)$$

又第二柱に於ては前項の如くして

$$\frac{EI}{k}f_2=\theta_2\frac{h^3}{3}-\frac{k-1}{k}\theta_2\left(\frac{d^3}{3}-d^2h+dh^2\right)\quad\cdots\cdots(157)$$

$f_1=f_2$ 又し $\theta_1=\theta_2$ の關係を用ふれば

$$-\frac{\theta_1h^3}{3}+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(h^2d-hd^2+\frac{d^3}{3}\right)+\frac{\pi}{k}\left(\frac{d^2h}{2}-\frac{d^3}{6}\right)=\theta_1\frac{h}{3}-\frac{k-1}{k}\theta_1\left(\frac{d^3}{3}-d^2h+dh^2\right)$$

是を解けば

$$\theta_1=\frac{\pi d^3(-3h+d)}{6k\left[-\frac{2h^3}{3}+\frac{k-1}{k}\left(2h^3d-2d^2h+\frac{2}{3}d^3\right)\right]}$$

或は $$\theta_1=\frac{\pi d^3(-3h+d)}{4k\left[-h^3+\frac{k-1}{k}(3h^3d-3d^2h+d^3)\right]}\quad\cdots\cdots(158)$$

$k=1$ なる時は

$$\theta_1=\frac{\pi}{4}\frac{(3d^2h-d^3)}{h^3}\quad\cdots\cdots(159)$$

(d) 兩柱が夫々上下柱の接合點に相異る集中横力を受ける場合

第十六圖、第三十四圖參照

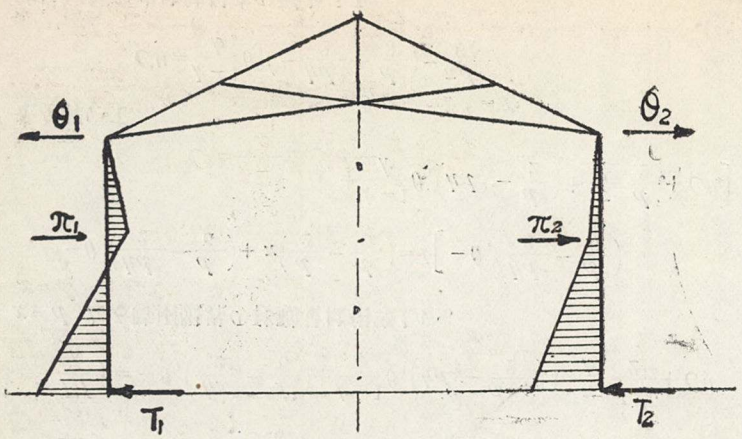


FIG. 16. — Ferme armée.

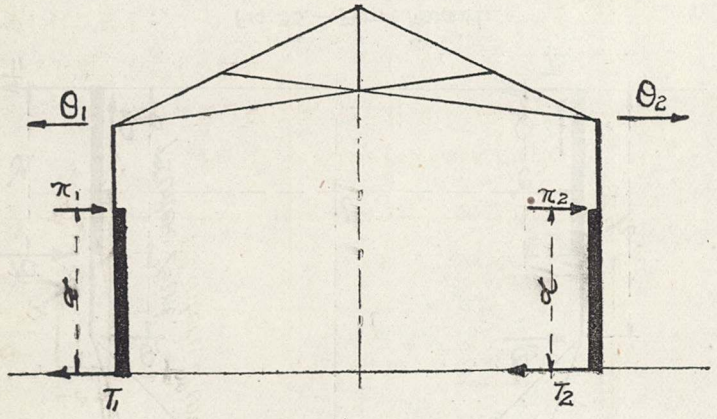


FIG. 34. — Ferme armée.

前項に從ひ兩柱の移動の式は次の如くなる

第一柱に於て

$$\frac{EI}{k}f_1=-\frac{\theta_1 h^3}{3}+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(h^2d-hd^2+\frac{d^3}{3}\right)+\frac{\pi_1}{k}\left(\frac{d^2h}{2}-\frac{d^3}{6}\right)\quad(160)$$

第二柱に於て

$$\frac{EI}{k}f_2=\frac{\theta_2 h^3}{3}-\frac{k-1}{k}\theta_2\left(h^2d-hd^2+\frac{d^3}{3}\right)+\frac{\pi_2}{k}\left(\frac{d^2h}{2}-\frac{d^3}{6}\right)\quad(161)$$

然るに $\theta_2=\theta_1$

依つて

$$-\frac{\theta_1 h^3}{3}+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(h^2d-hd^2+\frac{d^3}{3}\right)+\frac{\pi_1}{k}\left(\frac{d^2h}{2}-\frac{d^3}{6}\right)=\frac{\theta_1 h^3}{3}$$

$$-\frac{k-1}{k}\theta_1\left(h^2d-hd^2+\frac{d^3}{3}\right)+\frac{\pi_2}{k}\left(\frac{d^2h}{2}-\frac{d^3}{6}\right)$$

或は $$-\frac{2}{3}\theta_1 h^3+\frac{k-1}{k}2\theta_1\left(h^2d-hd^2+\frac{d^3}{3}\right)=\frac{\pi_2-\pi_1}{k}\left(\frac{d^2h}{2}-\frac{d^3}{6}\right)$$

故に $$\theta_1=\frac{\pi_2-\pi_1}{4k}\cdot\frac{d^2(3h-d)}{-h^3+\frac{k-1}{k}(3h^2d-3hd^2+d^3)}\quad\cdots\cdots(162)$$

$k=1$ なる時

$$\theta_1=(\pi_2-\pi_1)\left(\frac{d^2(3h-d)}{-4h^3}\right)\quad\cdots\cdots(163)$$

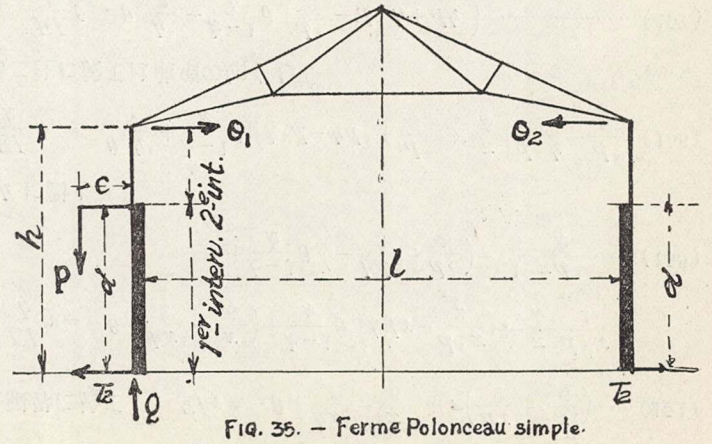


FIG. 35. — Ferme Polonceau simple.

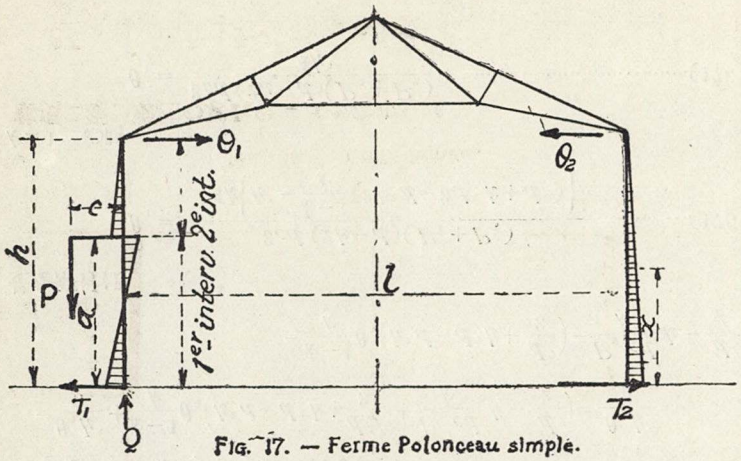


FIG. 17. — Ferme Polonceau simple.

*(e) 上下兩柱の接合點に曲力率が作用する場合

第十七圖、第三十五圖參照

第一柱に於て：

第一限界

$$EI\frac{d^2y}{dx^2}=-\theta_1(h-x)+Pc \cdots(164)$$

$$EI\frac{dy}{dx}=-\theta_1\left(hx-\frac{x^2}{2}\right)+Pcx$$

第二限界

$$\frac{EI}{k}\frac{d^2y}{dx^2}=-\theta_1(h-x) \quad \cdots(165)$$

$$\frac{EI}{k}\frac{dy}{dx}=-\theta_1\left(hx-\frac{x^2}{2}\right)+C'$$

$x=d$ として

$$-\theta_1\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)+Pcd=k\left\{-\theta_1\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)+C'\right\}$$

$$C'=\frac{k-1}{k}\theta_1\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)+\frac{Pcd}{k}$$

故に $\frac{dy}{dx}$ の式は次の形をとる。

$$EI\frac{dy}{dx}=-\theta_1\left(hx-\frac{x^2}{2}\right)+Pcx; \quad \cdots\cdots(166)$$

$$\frac{EI}{k}\frac{dy}{dx}=-\theta_1\left(hx-\frac{x^2}{2}\right)+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)+\frac{Pcd}{k} \quad \cdots\cdots(167)$$

又 $EIy=-\theta_1\left(h\frac{x^2}{2}-\frac{x^3}{6}\right)+\frac{Pcx^2}{2}$;

$$\frac{EI}{k}y=-\theta_1\left(\frac{hx^2}{2}-\frac{x^3}{6}\right)+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)x+\frac{Pcdx}{k}+C''$$

$x=d$ として

$$-\theta_1\left(\frac{hd^2}{2}-\frac{d^3}{6}\right)+\frac{Pcd^2}{2}=k\left\{-\theta_1\left(\frac{hd^2}{2}-\frac{d^3}{6}\right)+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(hd^2-\frac{d^2}{2}\right)+\frac{Pcd^3}{k}+C''\right\}$$

是を解いて $C''=\frac{k-1}{k}\theta_1\left(\frac{d^3}{3}-\frac{hd^2}{2}\right)-\frac{Pcd^2}{2k}$

從つて移動の式は第一限界に於ては

$$EIy=-\theta_1\left(\frac{hx^2}{2}-\frac{x^3}{6}\right)+\frac{Pcx^2}{2} \quad \cdots\cdots(168)$$

第二限界に於ては

$$\frac{EI}{k}y=-\theta_1\left(\frac{hx^2}{2}-\frac{x^3}{6}\right)+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(hd-\frac{d^2}{2}\right)x+\frac{Pcdx}{k}+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(\frac{d^3}{3}-\frac{hd^2}{2}\right)-\frac{Pcd^2}{2k} \quad (169)$$

$x=h$ に對し次式を得る。

$$\frac{EI}{k}f_1=-\frac{\theta_1h^3}{3}+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(h^2d-d^2h+\frac{d^3}{3}\right)+\frac{Pcd}{k}\left(h-\frac{d}{2}\right) \quad (170)$$

第二柱に於ては

$$\frac{EI}{k}f_2=\frac{\theta_2h^3}{3}-\frac{k-1}{k}\theta_2\left(h^2d-d^2h+\frac{d^3}{3}\right)$$

故に、 $\theta_2=\theta_1$ を利用して

$$-\frac{\theta_1h^3}{3}+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(h^2d-d^2h+\frac{d^3}{3}\right)+\frac{Pcd}{k}\left(h-\frac{d}{2}\right)=\frac{\theta_1h^3}{3}$$

$$-\frac{k-1}{k}\theta_1\left(d^2d-d^2h+\frac{d^3}{3}\right)$$

是を解いて

$$\theta_1=\frac{3Pcd(2h-d)}{4k\left\{h^3-\frac{k-1}{k}(3h^2d-3d^2h+d^3)\right\}} \quad \cdots\cdots (171)$$

$k=1$ の時は

$$\theta_1=\frac{3}{4}\frac{Pcd(2h-d)}{h^3} \quad \cdots\cdots (172)$$

*(f) 兩柱が夫々上下の柱接合點に相異る曲力率を受ける塲合

第十八圖、第三十六圖參照

前項に準じ

$$\frac{EI}{k}f_1=-\frac{\theta_1h^3}{3}+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(h^2d-d^2h+\frac{d^3}{3}\right)+\frac{P_1cd}{k}\left(h-\frac{d}{2}\right) \quad (173)$$

$$\frac{EI}{k}f_2=+\frac{\theta_2h^3}{3}-\frac{k-1}{k}\theta_2\left(h^2d-d^2h+\frac{d^3}{3}\right)-\frac{P_2cd}{k}\left(h-\frac{d}{2}\right) \quad \cdots (174)$$

$\theta_1=\theta_2$ にして又 $f_1=f_2$ であるから

$$-\frac{\theta_1h^3}{3}+\frac{k-1}{k}\theta_1\left(h^2d-d^2h+\frac{d^3}{3}\right)+\frac{P_1cd}{k}\left(h-\frac{d}{2}\right)=\frac{\theta_1h^3}{3}$$

$$-\frac{k-1}{k}\theta_1\left(h^2d-d^2h+\frac{d^3}{3}\right)-\frac{P_2cd}{k}\left(h-\frac{d}{2}\right)$$

是を解けば

$$\theta_1=\frac{3cd\,(2h-d)(P_1+P_2)}{4k\left\{h^3-\frac{k-1}{k}(3h^2d-3d^2h+d^3)\right\}} \quad \cdots\cdots (175)$$

$k=1$ の時

$$\theta_1=\frac{3cd(2h-d)(P_1+P_2)}{4h^3} \quad \cdots\cdots (176)$$

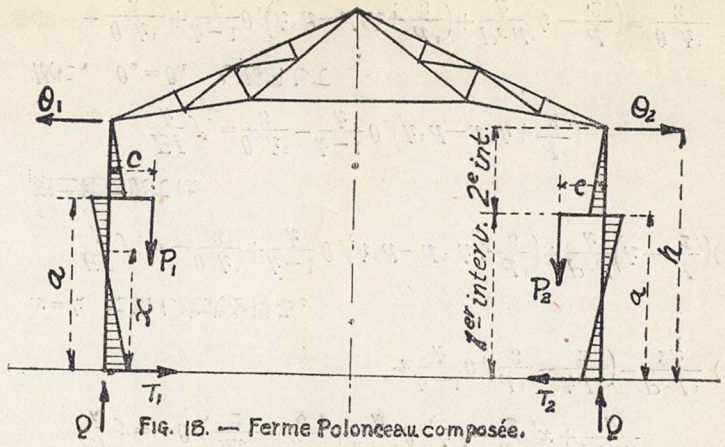


Fig. 18. — Ferme Polonceau composée.

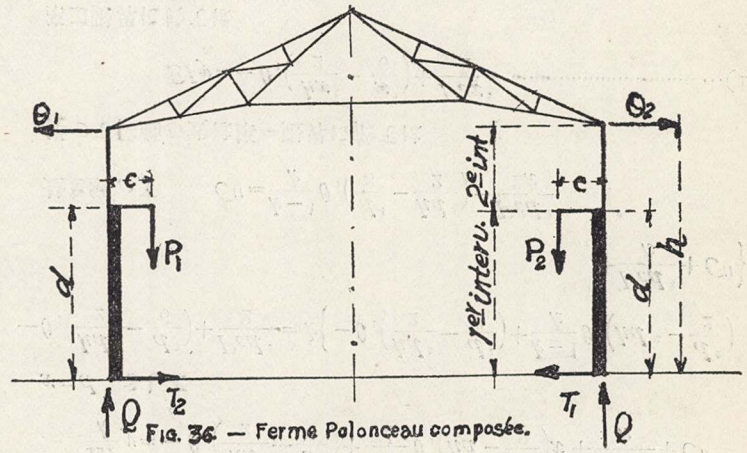


Fig. 36 — Ferme Polonceau composée.

編輯後記

一進一退を繰り返しておつた寒暖の駈け引きも、こうこう春暖の勝ちとなつて、野の面には若々しい、しかも寒さにきたへられた底力のある綠の色がみなぎつてゐます。太陰暦から、太陽暦に移つた時何故太陰暦の月々に割りあてた春夏等の季節を踏襲したのか、口や筆では初春だなぞといつてゐるが温室咲きの梅が肺病患者のやうな淋しい笑ひを見せておるだけで冬酷な候だ。春夏秋冬は人間の左右出來るものでなくて自然の循環だ。そういつた因襲的の呼び方をやめて、大自然の春のおとづれをよろこびます

◇

その華やかな、麗らかな春に因んで、四月號は建築の裝飾に就いての記事を滿載してお目見得致します。こゝに遺憾な事は本野氏の『建築の色彩に就いて』の記事を先生の御都合から次號に廻さねばならなくなつたことであります

渡邊圭吾氏の講座も愈々要項に筆をお進め下さいました。石井氏の權威ある御研究は今月で終了となります。

『ロシアの新建築』はロシア人の筆者の赤裸な紹介を玩味して下さい。グラフもこの文中に現はれて來る色々の傾向を示すために建築のみにかぎらず姉妹藝術である舞臺裝置からも選びました。

◇

卷頭口繪の『ミケランジエロのデッサン』は古宇田氏が御秘藏の復製を御貸し下さつたものです。又、デッサンの頁には、三月に學窓を巢立つた許りの若い建築家の卒業計畫を收錄しました。今月號には府下の普通工業學校の分を網羅する心算だつたのですが、二校程間に合になかつたのは殘念でした。來月號には京大、京都高等工藝、神高工の優秀作を載せる豫定です。も一つ新しい試みでは漫畫と漫文です。

◇

これ迄は手前味噌許りでしたが、二三月號共發行期日が大變遲れましたことをお詫び致します。その原因にはいろ〳〵ありませうが、切りつめた豫算と人手で、誌面充實のために無理を遣り過ぎたこともその一つです。色々の行き違ひから原稿を頂くのが遲れたのが一二あつたこともその一つです。今月號は大車輪で、必ず期日に間に合せる意氣込です。御安心下さい。

◇

讀者各位から編輯上の御意見、御注意等を大分頂きました、眞面目なもの許りで甚だ心丈夫に思つております。筆者に敬意を表するため次號に別錄し、なるべく御期待に沿ふやうにしたいと思つてゐます。

第五回全國工業家大會

本邦に於ける殆ど凡る工業家の團體四十有餘の會員の會合である全國工業家大會は其の第五回を東京に於いて左の如く開催することゝなつた。

△會　期　四月八日(日曜)
同　九日(月曜)　東京にて

△會　費　金四圓　大懇親會費　金五圓
(四月八日午後六時於東京會館)

△申込期限　四月一日限

△申込所　東京市丸ノ内有樂館工政會内
全國工業家大會事務所
電話丸ノ内三九八〇番
振替東京七〇六一〇番

注意

汽車　各地よりの參加者に對し東京市迄往復二三等汽車賃二割引の特典があります(但し往復切符に限る)割引證明書は申込と同時に送ります

本誌定價表

本紙	冊數	定價	郵稅
	一冊	七拾五錢	貳錢
	十二冊	九圓	貳拾四錢

（毎月壹回一日發行）

昭和三年三月廿九日印刷
昭和三年四月一日發行

發行兼編輯人　兵庫縣武庫郡本山村字北畑　薦田夏次郎

印刷人　大阪市東區內淡路町一丁目七番地

印刷所　大阪活版所

發行所　大阪市西區土佐堀通一ノ一大同ビルヂング　社團法人　日本建協會

電話土四二六五番
振替口座大阪三九七五

特約販賣店　大阪市西區京町堀羽子板橋北　柳々堂書店

電話土佐堀二四四〇番
振替口座二二〇八四番

御購讀の向は本會直接又は特約店へ振替又は爲替にて前金御拂込被下度候

社團法人日本建築協會會報

會報

一、本年度常設委員會委員長其他左の通決定致しました

第一部（法制）委員會

委員長　池田實氏
幹事　今林彦太郎氏
同　野呂長四郎氏
委員　德政金吾氏
同　加藤善吉氏
同　竹中景一氏
同　高木眞太郎氏
同　津田敏雄氏
同　山脇友三郎氏
同　樋口辰太郎氏

第二部（教化）委員會

委員長　古宇田實氏
幹事　池田谷久吉氏
同　小笠原鋤氏
委員　小川安一郎氏
同　松本儀八氏
同　增山新平氏
同　小西一良氏
同　酒井勇三郎氏
同　澁谷五郎氏
同　姫野武氏

第三部（資料）委員會

委員長　松室重光氏
幹事　谷民藏氏
同　下浦光衛氏
委員　大澤幸平氏
同　渡部圭吾氏
同　渡邊珍久氏
同　片山萬次氏
同　呼子正氏
同　佐藤正次郎氏
同　須川廉太郎氏

第四部（災害）委員會

委員長　光安梶之助氏
幹事　中島智喜氏
委員　池田宮彦氏
同　石井勇氏
同　永澤毅一氏
同　能村知二氏
同　黒田茂氏
同　增田清氏
同　境正一氏
同　塘路惣吉氏

役員會

○常務會

△日時　三月十日午後四時三十分——六時
△會場　本協會會議室
△出席者
理事　宗兵藏氏　理事　野村理事
常務　横濱主記　坪井主記
和田主記　岡部主計

八木編輯　本間編輯
木村編輯

△報告
一、二月分會計報告
二、昭和二年度常設委員會事業報告
三、展覽會開催調査委員會調査報告
四、定款改正調査委員會經過報告

△議事
一、三月例會に關する件
講演者選定に付協議
二、春季大會に關する件
見學旅行に付目的地其他協議立案をなす
三、第五回全國工業家大會代表實行委員選定の件
四、事務所電燈に關する件
五、會員詮衡

委員會

○展覽會開催調査委員會

△日時　二月十七日午後五時——七時三十分
△會場　大同生命ビル地階ライオン食堂
△出席者
池田宮彦　小笠原鋤　坪井誠一
八木幸次郎　下浦光衛　樋口辰太郎
△記事
一、坪井誠一氏假に座長となり本委員會設置に付て常務會の經過を說明し先づ委員長の互選を行ひ左の通決定せり
委員長　宗兵藏氏
一、幹事の互選は委員長出席のときに讓ることゝし決定せず
一、展覽會に付意見の交換をなし散會せり
一、次回本委員會開催は來る二月二十九日頃とし宗委員長の意嚮を聞き決定すること
但し展覽會に關し考案を持ち寄りのこと

○第二部（教化）委員會及第二分科會

△日時　二月二十日午後五時——六時三十分
△會場　大同生命ビル地階ライオン食堂
△出席者
幹事　池田谷久吉　小笠原鋤
委員　松本儀八
分科委員　高橋榮治　增山新平
佐藤佐
△議事
一、中辰之助氏邸見學の報告書作成の件
A各部詳細に就て現寸圖提出のこと
B記錄書持參せざる爲報告書未完追て任期間中に取纏め委員長よ

り常務會へ報告のこと

○第一部(法制)委員會及各分科總會

△日　時　二月二十二日午後五時——九時

△會　場　大同生命ビル地階ライオン食堂

△出席者

第二分科　池田　實　津田　敏雄
　島田　良馨
第三分科　浦　英之助　野呂長四郎
　岡部　顯則　高木眞太郎
第四分科　横濱　勉　今林彦太郎
　竹内　綠
第五分科　小寺　彌一
第六分科　須川廉太郎

△記　事

一、池田委員長より本年度の委員任期愈滿了するに付本夕は引繼に關し協議致度旨を述べ曩日取纏め作成したる報告書を修正して會長に提出することに決す

一、本夕は最終の委員會に付尚種々の懇談ありて散會せり

○第三部(資料)委員會

△日　時　二月二十三日午後五時——八時

△會　場　大同生命ビル地階ライオン食堂

△出席者

松澤　本義
東京建築鐵株式會社　糸永　文古
大阪支店
日本スレート販賣株式會社大阪支店　梶山　幸三
大阪材木商同業組合　村上　龍馬
須賀　商　會　須賀藤五郎
高松平太郎商店　高松平太郎
大阪陶業株式會社　淺原　眞一
中村グラニット商會　中村　喜七
日本板硝子株式會社　中村　文夫
淺野物産株式會社大阪支店　福澤　谷稻
委員長　松室　重光
委　員　岡部　顯則
委　員　三木　來二

△記　事

一、夕食後協議會を開き先づ松室委員長より近時建築材料の進歩に伴ひ模造僞造類似品の頻出し之が選定に苦しむ狀況となりしを以て協會に於ても選定方法に付考究しつゝある次第なり就ては當業者諸氏の御意見を聽き共に研究する要ありと存し御會合を願ひたる旨を述べ夫れより意見の交換をなし協議の結果資料陳列場設置を促進せしめ具體案迄進むることに意見一致し協議の上申合事項を決議せり

申合事項(略す)

○展覽會開催調査委員會

△日　時　二月二十七日午後五時——八時三十分

△會　場　本協會々議室

△出席者

委員長　宗　兵藏
委　員　池田　宮彦　吉井　長七
　坪井　誠一　下浦　光衛

△記　事

一、開會宗兵藏氏より委員長就任の簡單なる挨拶ありて後幹事の選定に付諮り委員長指名により左の通り依囑し承諾あり

幹　事　坪井誠一氏

一、次で協議に入り如何なる展覽會を開催すべきやに付諮り先づ池田委員提出の別紙案に付協議し種々意見の交換あり

一、次に左の諸事項に付協議

1. 會場に付て
2. デパートメントの借入に付て
3. 資金の捻出に付て
4. 規模の大小に付て
5. 本委員會の權限に付て

一、結局先づデパート借入に付交渉を開始することに決し吉井委員三越吳服店に付交渉に當ることに決し交渉良結果の上は直に委員會を開催することに決す

但し話の模樣により坪井幹事に於て委員會開催日時決定のこと

一、委員長より尚考慮ありたき希望を述べ散會せり

○展覽會開催調査委員會

△日　時　三月五日午後五時——八時三十分

△會　場　本協會會議室

△出席者

委員長　宗　兵藏
幹　事　坪井　誠一
委　員　池田　宮彦　小笠原　釧
　吉井　長七　八木幸次郎
　樋口辰太郎

△記　事

一、宗委員長より前回委員會の經過報告あり會場としてデパートを借入することが此際最も適當と決したるに付先づデパートに付調査することとなり吉井委員に三越吳服店に付交渉したる結果(坪井幹事は非公式に高島屋吳服店に付調査したりとて報告あり)に付報告あり

一、夫れより協議に入り左の事項協定せり

1. 財源捻出に關する件
2. 展覽會開催前に住宅設計圖案を懸賞募集をなすこと

一、尚協議の上別紙報告書の通決定し常務會に提出するとに決し散會せり

一、本委員會はこれにて終了の旨委員長より報告あり

會合

△日時　二月二十日午後六時卅分——九時
△會場　大同生命ビル、八階大集會室
△出席者
講演者
大阪陶業株式會社研究課長
工學士　淺原眞一氏
奥野時三　坪井誠一　横濱勉
木村寛一　左谷米三郎　八木幸次郎
本間乙彦　加藤善吉　前島浩一
岩尾保衛　岡村忠一　伊藤幸太郎
小川久市　渡邊源治　山中茂一
竹内綠　中村勇　西村辰次郎
中村義雄　角谷久麻　片岡安
吉田龍郎　中村喜七　小西一良
山下豊三郎　道田泰三郎　牧野利秋
田中勇　佐藤佐　松本儀八
池田谷久吉　松久保敬三　境正一
山本清

一、定刻六時三十分坪井主記より開會を宣し先づ活動寫眞二卷（歐米都市建築としてペルリン、パリ市街）を映寫し坪井主記之れが說明をなす
一、次て講演に移り片岡會頭は講演者大阪陶業株式會社研究課長工學士淺原眞一氏を紹介し同氏は『テラコッタに就いて』の演題の下に實物を提示して一時間に渉る講演あり片岡會長一同を代表して謝辭を述へ再度活動寫眞映寫をなす
一、テラコッタ製造の狀況、ロスアンセルスの住宅建築、エッフェル塔より見たる巴里市街其他二三卷の活動寫眞映寫ありて散會

新入會者

會員
奥村丈太郎君　北區富田町四〇
渡邊博雄君　東區森之宮東ノ町四〇三
倉崎寬一郎君　自宅　東成區野江町三丁目二六五　勤先　大林組
松久保敬三君　自宅　住吉區住吉町四八〇　勤先　大林組
進藤朝一君　自宅　兵庫縣武庫郡魚崎町横屋字道の下三九ノ三　勤先　安井武雄建築事務所
普通贊助員
橋場政一君　自宅　兵庫縣川邊郡小田村金樂寺字西福寺一六　村上運藏方
牧田勝兵君　奈良縣吉野山吉野神宮修築工務所
近藤正夫君　自宅　東成區片江町三七〇　勤先　尼崎市旭硝子株式會社尼崎工場

退會者

普通贊助員　伊東敏夫君
遠藤茂七君　自宅　樺太豊原町東五條南十丁目一　勤先　樺太豊原町東二條南三遠藤組

轉居轉勤

會員
阪井米吉君　三島郡吹田町旭川土井池一、〇八四
角地秀雄君　自宅　東淀川區十三南之町六百四十六番地　事務所　東淀川區中津本通三丁目一番地
地方會員
角田吉章君　川崎市南河原東京電氣會社工場建築場大阪橋本組詰所
錦織喜代次君　東京市京橋區南紺屋町一二實業ビル五一〇號室國技工務所
普通贊助員
小關守一君　横濱市中區不老町三ノ二一五
和田順三君　横濱市保土ヶ谷區神戸上町九二七
高松秀行君　福岡市住吉南新町四八五
高松卒三方　東京市麹町區農林省內工事場大林出張所
須惠德朗君　金澤市備中町一八ノ四
川久保梅治郎君　京都市上京區下鴨蓼倉町二九
田中重楠君　神戸市平野下砥園町一二一
高木登君　久留米市根原町一ノ一八
上田喜三郎君　市內西區北堀江上通四丁目十七　藤井組工務店
石田直行君　兵庫縣尼崎市大洲村字新城屋六一新方
森本文章君　東京府下日暮里町字金杉一九七八源間方
田口清君　兵庫縣武庫郡西灘町新在家小泉製麻株式會社工事場清水組出張所
篠原實君

寄贈雜誌

電氣評論　每號　社
都人　每號　其
學士會月報　每號　學士會
建築世界　每號　社
朝鮮と建築　每號　朝鮮建築會
セメント界彙報　每號　日本ポートランドセメント同業會
住宅　每號　住宅改良會
建築雜誌　每號　建築學會
工政　每號　其
經濟資料　每號　東亞經濟調查局
土木建築　每號　社
建築新潮　每號　洪洋社
大阪工業俱樂部　每號　大阪工業俱樂部
通俗衛生　每號　大阪府衛生會
帝國鐵道協會會報　每號　其

工業評論 毎號 其 社
電氣學會雜誌 毎號 其 會
鐵道軌道經營資料 毎號 鐵道同志會 主 計
趣味ノ園藝 毎號 關西園藝會 同
土木建築之日本 毎號 其 社 同
工業ト社會 毎號 東京工業會 編 輯
工業 毎號 大阪工業會 同
滿州建築協會雜誌 毎號 其 協 會 同
庭園と風景 毎號 日本庭園協會 同
圖書室月報 毎號 東京市政調査會 同
大阪綱島工業會誌 毎號 其 會
エンヂニヤリング 毎號 其 社
工業要錄 毎號 其 發行所
都市研究 毎號 兵庫縣都市研究會
名古屋工業會々報 毎號 其 會
大阪 毎號 大阪都市協會
生活 毎號 生活改善同盟會
建設 毎號 其 社
都市問題 毎號 東京市政調査會
新建築 毎號 其 社
京都の實業 毎號 京都商業會議所
建築 毎號 中央建築會
都市創作 毎號 其 會
木材彙報 毎號 大阪木材協會
驗工 毎號 其 會
建築學研究 毎號 其 會
大阪土木建築業組合報 毎號 其 組 合

役員

會長 理事 片岡安
副會長 理事 宗兵藏
副會長 理事 野村一郎
監事 池田實
監事 松本禹象
主記 常務 横濱勉
常務 坪井誠一
常務 和田貞治郎
常務 浦英之助
常務 吉井長七
常務 岡部顯則
常務 本間乙彥
常務 波江悌夫
常務 八木幸次郎
常務 木村寬一

新刊紹介

‖建築‖

▼市街地建築物法令に準據せる鐵筋コンクリート計算論、田中大作著(菊版三圓五十錢丸善株式會社)

▼耐電强度計算の手引中村達太郎著、(四六版一圓廿錢丸善株式會社)

▼鐵筋コンクリート早割出(四六版一圓五拾錢同上)

▼最新家屋建築設計要覽廷練世界社編(ポケット形三圓、東京京橋桶町須原屋)

‖史類‖

▼宮殿調度圖解關根正直著、內容宮殿揩紳家の殿舍武家館舍の變遷大名以下の宿所の寮等(四六版一圓五十錢東京吳服町六合館)

‖美術、工藝、考古‖

▼日本美術歷代選(下村三四吉選、推古より明治に至る代表代集、玻璃版箱入廿二圓奈良春日野工藤精華苑)

▼日本原始工藝圖版第十輯(三圓東京牛込矢來町三工藝美術研究會)

▼繪文字および原始文字田崎仁義著(一圓七十錢東京日本橋鐵砲町磯部甲陽堂)

▼滿蒙の探査鳥居龍藏著者が八回考古學的探査記、隨筆的日記を交ふ(四六版三圓五十錢、東京日本橋元大工町萬里閣)

▼藤原時代の藝術(佛教美術第十册)三圓奈良博物館横佛教美術社)

‖裝飾‖

▲小さき家の裝ひ鳥居幸子著、著者は鳥居博士の愛孃滯佛中現代家庭の室內裝飾を研究したるもの(四六版一圓五十錢東京日本橋元大工町萬里閣)

‖理學、工學‖

▼圖表學綱領谷村豐太郎著(菊版一圓五十錢丸善株式會社)

▼計算尺精義野津正忠著(三五判三圓五十錢同上)

‖雜‖

▼信仰と迷信(富士川游著民俗信仰に科學的解說と批判を加へたもの(一圓七十錢、東京日本橋磯部甲陽堂)

▼丙午の日午の刻木會福島火災史(林安次著)昨春の同地の大火の記述(一圓長崎縣福島町同史發行會)

前號紹介、鐵筋コンクリート建築構造(篠原太郎著)は(菊版三圓九十錢大阪長堀橋通二丁目太陽社發行)

‖都市、交通‖

▼山林都市黑谷了太郎著都市集中の現狀を忍む著者がユートピアを語つたもの(六十五錢東京市外野方町上沼袋二五六曠台社)

▼東京都制に關する諸案東京市政調査會編、都制に關する諸案の沿革內容及代表的意見をまとめたもの六十錢東京丸の內同會)

▼空中交通論楢崎敏雄著政治軍事經濟及法律の各方面から論述した綜合的研究(菊版九圓、東京神田表神保町南海書院)

▼交通政策第一卷交通總論增井幸雄著菊版三圓八十錢丸善株式會社)

國産



アスファルト

陸屋根防水用 ブローン
電氣絶縁用 アスフルト

地下室防水用 アス
道路鋪裝用 ファルト

御用命御參上
カタログ進呈

日本石油株式會社

大阪市西区江戸堀通三丁目
東京本社 下関 小樽

建築事務所案内

（次第不同）

池田建築事務所

所長

建築士 建築學士 池田實

所＝大阪市西區西道頓堀住友ビル
電話櫻川1144・3724
宅＝大阪市西成區有樂町37

建築設計竝監督

大阪建築所

大阪市北區中之島七丁目十七番地
河野ビルデング
電話土佐堀（特長二二八〇番
六一〇三番

メナエロアー・オフ・サイエンス
カリホルニヤ州公認建築士
建築士 伊藤文四郎
建築士 熊澤榮太郎

大阪市西區土佐堀通一丁目
大同生命ビルディング第八階

橋本建築事務所

建築士 工學士 橋本勉

電話土佐堀九三八番

大阪市北區曾根崎中二丁目
第一曾根崎ビルディング第四十一號

建築設計監督 小笠原建築事務所

電話北二一五五、二一五六番

建築士 小笠原鉊（マスし）

住所 大阪市此花區酉島町北港住宅二一〇號
電話土佐堀三二〇四番

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市西區靱南通二丁目
ユタカビルデイング三階K室

岡部建築事務所

岡部顯則（アキノリ）

電話土佐堀五三二三番

大阪市北區中之島宗是町一〇
中之島ビルデイング

和田建築事務所

建築士 和田貞治郎

電話土佐堀七三二三番

東京市丸ノ内郵船ビルヂング六階
電話丸ノ内23二九八一番
大阪市北區堂島大毎ビルヂング五階
電話北四〇六四番

片岡石本建築事務所

工學博士 片岡安
工學士 石本喜久治

大阪市東區高麗橋三丁目二八
千代田生命保險物建三階
電話本局二九六四番

横河工務所

工學博士 横河民輔
工學士 松井貴太郎
田中綱



大阪窯業セメント株式會社本店

大阪市北區堂島濱通二丁目十四番地

電北（長一一一〇　一一一三）

出張所

東京市神田區表猿樂町

電神田（二一四四　五四〇〇　一六三）

京都市二條驛前

電西陣三四六五

名古屋市中區老松町

電東四六九

大阪窯業セメント株式會社工場

大阪市港區南恩加島町一番地

電櫻川（一一七七　二八四三　二六〇九）

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市東區北濱四丁目五〇
電話本局三一三一番

宗建築事務所

建築士 宗 兵 藏
工學士 須川廉太郎
工學士 大倉三郎

大阪市西區本田町通リ一丁目四九ノ七
住友銀行川口ビルヂング四階十六號室
電話長西三四三三番

國枝工務所

工學士 國枝博

大阪市東區高麗橋筋二丁目
高麗橋野村ビルヂング六階

安井建築事務所

電話本局二〇七二番

建築士
工學士 安井武雄

建築事務所案内

（次第不同）

東京市本郷區本郷三丁目八番地
建築土木
設計監督
眞水工務所
電話小石川三九六三番
建築士 工學士 眞水英夫
工學士 野田六次

大阪市北區眞砂町四十一番地
眞水三橋建築事務所
電話北二〇四一番
早大工學士 松下由藏
太田正之

鐵筋コンクリート建築
設計監督計算

大阪市東區瓦町山口ビルヂング
増田建築事務所
工學士 増田清
電話本局 2673 3176

神戸市下山手通六丁目七六
電話元町二六七一番
設樂建築事務所
建築士 設樂貞雄
工學士 設樂貞三
支配人 木村梅次郎

西原式 汚水淨化裝置

專賣特許 第四二五九二號 新案特許 第四三三二一號 第六一三五四號 第六一四二三號 第六六〇七二號

弊所が本邦に於ける斯業の先驅者として大小數百ケ所に施工したる多年の經驗と研究の結果漸次改良を加へたもので構造の堅牢、工費の低廉、成績の良好、地積を要する尠なきこと等あらゆる特色を具備せるものであります。

國產優良品

パイロット衛生器具



C W 50 — A

洗面器、手洗器、流し類、和洋大小便器、浴槽等各種、

（御申越次第カタログ進呈）

我國にて始めて發賣せる組合せ衛生器具にて『持ち送り』『木捻』の類に至るまで全部取揃へ一組になつて居りますが金具類はすべて

合資會社ヤンソン製作所

また陶器類は

東洋陶器株式會社

の特製品で兩々相まつて外國製に劣らぬ優良品を皆樣に御奬め致します、續々御愛用のほど願ひ上げます。

本店 東京

西原衛生工業所

大阪市北區中之島五丁目三十番地

支店 大阪出張所

電話土佐堀三七一五八番

京都市下京區萬壽寺通不明門東入

京都出張所

電話下一三四五番

營業所 名古屋

建築請負業者案内

（次第不同）

池田勘藏

大阪市北區曾根崎新地
三丁目拾三番
電話 長北一一五七番

大阪市東區農人橋二丁目十二番地
合名會社 大阪橋本組
代表者 橋本政吉
電話 長東一五八〇番
東一五八一番
東一七五三番

龍岡縣小倉市大阪町十丁目百廿二番地
九州支店
電話長四三〇番

東京市日本橋區本石町四丁目一番地
大阪橋本組東京支店
電話日本橋(24)三四六〇番
三四六一番

大阪市東區釣鐘町二丁目百二十八番屋敷
大倉土木株式會社
大阪出張所
電話東二〇六番

建築請負業者案内

（次第不同）

ペンキ塗請負業

龜谷開作

大阪市北區鶴之町三十六番地
電話北六五四五番

角地組

角地秀雄

大阪市東淀川區中津南通
三丁目一番地
電話北一六一四番

合名會社 竹中工務店

本店　大阪區堂島、堂ビル　北長八一〇
支店　東京市丸ノ内郵船ビル　丸ノ内(23)一二五〇
　　神戸市熊内町六丁目　萬合　長一八〇六
　　名古屋市西區幅原町二丁目　長一八四二
　　京都市坊城通三條下ル　中二三八六
　　橫濱市花咲町十一丁目　一八八九
　　（長谷町關係）
製作所　大阪市港區南境川町　西長八〇四
　　東京市深川區西平井町　大手二〇四六

中新川辰藏

足代（假設）
材料損料
鳶方（手傳）
工事負請業

大阪市北區曾根崎上一丁目
電話北區一五三番
東京出張所
東京市神田區猿樂町
貳丁目壹番地
電話神田(25)三〇五番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社
佐伯組

本店　大阪市港區市岡町夕凪橋畔
電話特長西一〇九〇番

出張所

福岡市外馬出上町　電話長二二四二番
大分市南新地　電話長三七〇番
熊本市相撲町　電話長三九四番
小倉市中島町　電話長六一〇番
宮崎市宮田町　電話長四〇六番
東京市京橋區木挽町九丁目三地

久保田組
久保田種吉

大阪市東區神崎町五〇
電話東長三一八七番
三八五三番

株式會社
野村組
野村亥之助

東區京橋二丁目四八
京阪ビルヂング二四號室
電話東四八三番

諸石材販賣彫刻請負業

幷ニ
一手販賣（黃龍石（人造石用）石粉各種
　　高島產鯖色（人造石用）石粉各種
　　黃龍石材各種）

通名石佐事
熊取谷熊次郎

本店　大阪市東區材木町七九
電話長東一六二六番
出張所　東京市下谷區上根岸四九
電話下谷一三二九番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **松村組**

大阪市東區大手通一丁目二十六番地
電話東（三一一七番 三一七二番 三五三三番）

東京本社
東京市丸ノ内仲十四號館十二號
長二五七五番 九八八六番 二六八八番 五八四八番

藤木工務店

藤木正一

大阪市西區小林町七十五番地
電話櫻川一五五八番

合資會社 **清水組大阪支店**

大阪市西區土佐報通二丁目二番地
電話土佐堀（六六六番 六六七番）

（本店）東京
（支店）横濱、名古屋、京都、博多、京城、大連

特許ＯＲＣ式
鐵筋混凝土煙突 水槽 工事 設計 施工

合名會社 **大阪鐵筋混凝土工務所**

大阪市港區小林町一六三
電話櫻川一〇八六・二六二二
神戸出張所 電兵庫一四六九
名古屋出張所 電南局一五九八

建築請負業者案内

（次第不同）

鑿井工事請負業

日本鑿泉合資會社

大阪出張所　大阪市北區曾根崎町太平ビルヂング
電話北三七七八番

本社　東京市丸ノ内中通三號
電話丸ノ内（二三）長一八六三番

名古屋代理店　名古屋市東區東新町萬歲生命ビルヂング四三號
電話東一四七一番

大阪市西區土佐堀通三丁目二四

合資會社 **錢高組**

電話土佐堀（長三四一七）（三四一八）

東京市京橋區木挽町四丁目四

東京支店

電話銀座（長四二九二番）（長二三四七番）

名古屋市中區新榮町三丁目二九

名古屋出張所

電話東三五一八番

横濱市高島町六丁目一二

横濱出張所

電話本局三〇七六番

大阪市東區京橋三丁目七十五番地

株式會社 **大林組**

支店　東京、横濱、名古屋、小倉
營業所　京都、神戸、
工作所　大阪、東京、

大阪市東區横堀四丁目四十三番地

電話本町八三四（本店）
櫻川一六七（工場）

石川屋

岡本工務店

岡本武藏
岡本新次郎
山中茂一

建築請負業者案内

使用。輕便、簡易工事節約多大金
銀塗箔ゴールド、エナメル從來の
エナメル金銀ト異ナリ箔張同樣出
來、且延ビヨキ爲メ、價格安價驚
ク外ナシ是非御試用ヲ乞フ。
用途電線ヲ塗レバ金屬ガ表面ニ張
付ラルル故電力ガ少シモ失セバ且
ツ防水腐蝕トナリ猶美麗ノ點モア
ル實ニ經濟品ナリ鐵骨、暖房管、
其他裝飾用トシテ各、色物モアル
（御申越次第說明書送附）

商入出輸直造製料塗
吉住和一郎商店
大阪市東區博勞町五丁目一三
電話船場四〇二番　振替大阪六六七九八番
登錄海外受信V1CTORY　內地受信ピクトリイ
電略（ヨワ）又ハ（ヨ）　取引銀行　加島銀行南支店

大理石
鐵平石
萬成磨
工事及設計請負

大阪市此花區吉野町二丁目一六
合資會社
山田大理石製作所
電話土佐堀四三四二番
長尾新太郎
池上喜三信

御用ノ節ハ電語ニテ御一報次第御伺仕可候

有山組

大阪府東淀川區十三東之町
電話　自宅用　北二〇五〇
　　事務所用　三〇五一

淺沼組

本店　奈良縣郡山町字今井
　　電郡山二五番
工作所　奈良縣郡山町字高田
　　電郡山二四一番
大阪支店　大阪市東成區東小橋町六ノ一四
　　電南二七九〇番
大阪出張所　大阪市港區鶴町四丁目一八二
　　電櫻川二九〇七番
製材部　大阪市港區小林町一九五番地
　　電櫻川二四五六番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **鴻池組**

本店 大阪市西淀川區傳法町北三丁目五一
電話土佐堀長（二六二番）（二六三番）

支店 東京市京橋區三十間堀三丁目三
電話銀座（長一九九〇番）（長一九九一番）

製材所 大阪市港區池島町二丁目五五
電話西長一五二三番

鐵骨橋梁鐵塔
建築金物請負

合資會社 **駒井喜商店鐵工部**

大阪市港區泉尾町七二番地
電話櫻川（一六五八番）（二八八六番）

安藤組大阪出張所

大阪市北區堂島濱通
一丁目八五番地
電話長北四八四番

森本建築社

大阪市南區高津三番丁二番地
電話長戎二八一〇番

東京支店
東京市芝區白金三光町二五番地
電話高輪八一六七番

佐久間式マルエス印便利瓦

國産として優秀なる

佐久間式マルエス印

- コンパウンド
- パーマネントルーフィング
- 疊下用紙
- 建築用紙
- フエルト
- C印フエルト
- ルーフィング



御用命

三菱地所部殿
東京府殿
東京市殿
大蔵省殿
文部省殿
鉄道省殿
陸軍省殿
警視廳殿

久原鑛業株式會社殿
藤田鑛業株式會社殿
帝國ホテル殿
藤倉電線株式會社殿
富士製紙株式會社殿
慶應大學殿
南滿州鐵道株式會社殿

清水組殿
大林組殿
大倉組殿
安藤組殿
高橋組殿
戸田組殿
中工務所殿
本組殿
竹藤組殿

（其他土木建築界各方面）

東京工業試験所報告

品名	抗張力 縦	抗張力 横	水壓力 氣壓	屈曲試驗 丸棒直徑	屈曲試驗 廻轉度	屈曲試驗 龜裂	試驗時期
佐久間式マルエス印半號ルーフィング	瓩 70·5	瓩 42·9	1.4	糎 0·5	° 180	生ゼズ	大正十四年二月二十六日
某舶來一流(½)プライルーフィング	同 53.7	同 21.8	1.2	同 1.3	° 180	生ゼリ	同上
佐久間式マルエス印半號ルーフィング	同 74.4	同 55.9	1.7	同 0.5	° 180	生ゼズ	大正十五年二月十日
某舶來一流(½)プライルーフィング	同 80.3	同 39.3	1.2	同 1.0	° 180	生ゼリ	同上

（見本カタログは御申込み次第贈呈）

東京府南足立郡千住町三丁目三百七十番地

佐久間建材工業所

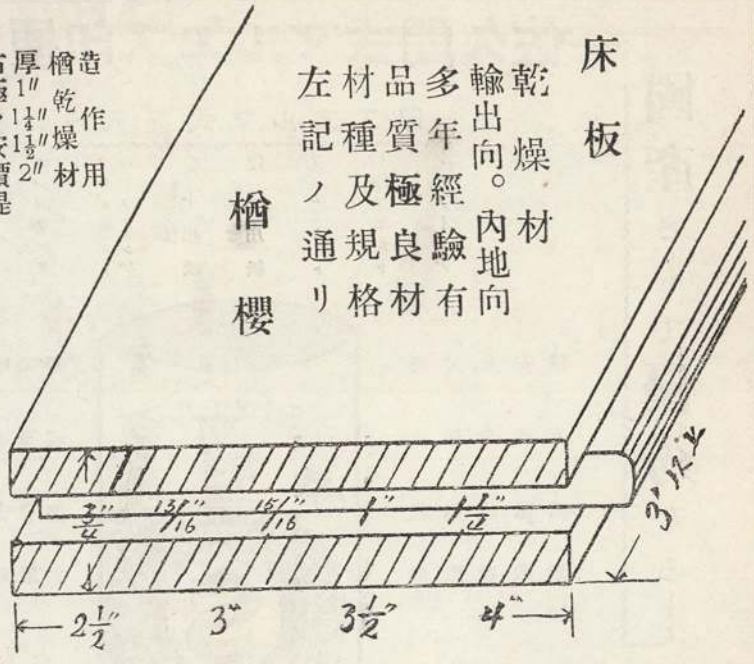
所主 佐久間榮吉

電話淺草五〇六番・千住二四〇番

床板

乾燥材
輸出向。内地向
多年經驗有
品質極良材
材種及規格
左記ノ通リ

楢
櫻



造作用
楢乾燥材
厚1" 1¼" 1½" 2"
右極々安價提
供是非當店へ
御引合願上候

福原工場大阪販賣店
港區泉尾梅ノ町四丁目
電話櫻川一六七番

福原床板製造工場
小樽市入舟町二丁目三十四番地
電話二七一三、一二三三
振口小樽二五六七

◇江東サッシ
窓開閉用
◇オペレーター
◇シャッター

大理石代用
◇オパキサイト
◇S.T.型ワイヤ硝子
◇S,T.型プリズム硝子
◇メタルラス

◇コルク板及粒
◇防熱防冷裝置一式
◇マグスタッコ床塗

田中昌司商店
大阪市西區江戸堀南通四丁目
電話土佐堀(一一八〇五番
(四八七三番

榮進社ノ

戸火防上捲　シュッサルーチス

類戸鐵種各　機降昇動手

榮

合資會社

榮進社

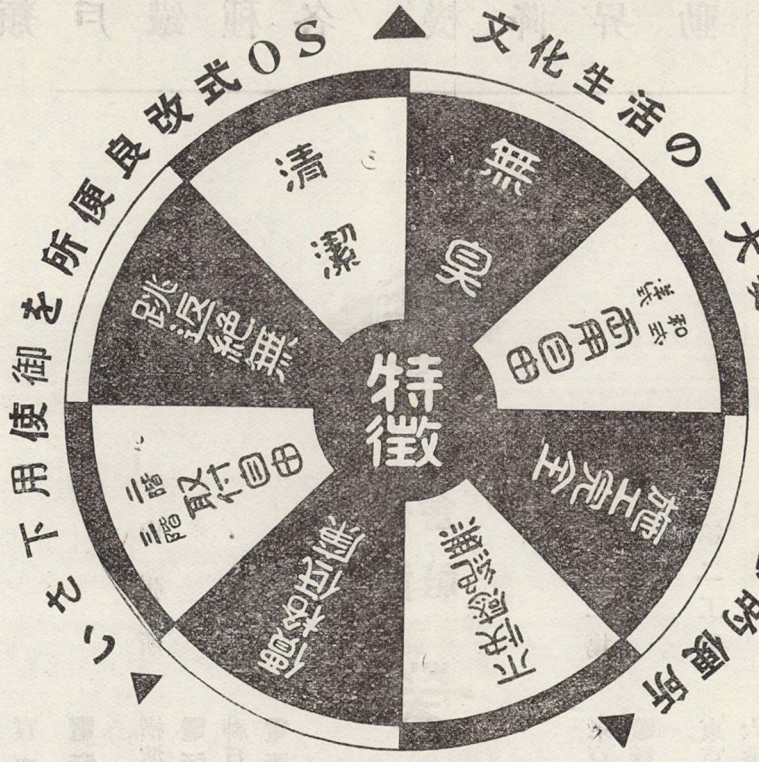
營業所　東京市京橋區南紺屋町十二番地
實業ビルデング三階
電話京橋(56)一、〇六三番
二、二二九番

出張所　横濱市山下町一八四　岩井ビル
電話本局(2)二、七一四番
神戸市平野下祇園町二三一番地
電話元町二、七〇九番

第一工場　東京府日暮里町日暮里三八番地
電話下谷(83)長一、〇二七番

第二工場　東京府日暮里町大字谷中本二五六番地

特許 S 改良便所



設備費　金七拾五圓　（大便所ノ㎜）
　　金九拾五圓　（大小便所共設ノ場合）

大阪市東區高麗橋五丁目
株式會社　須賀商會内

S O 商會

電話本局　一一一八　八八九九　三四五番

建築衛生設備設計施工

營業種目

▼水道▲公私水道、**ポンプ**、屋外給水裝置。
▼防火▲防火栓裝置、**スプリンクラーシステム**、消防用器具、**サイヤーミンスコンネクション**、**ミニマツクス**消火器。
▼衛生▲洋和風浴室、洗面場、臺所、便所、下水道、汚水淨化裝置、塵埃處理裝置。
▼暖房▲蒸汽暖房裝置、溫水暖房裝置、熱氣暖房裝置。
▼換氣▲自然換氣、機械換氣、冷風換氣、空氣洗滌裝置。
▼冷藏▲**リフリゼレーター**。
▼眞空式掃除裝置▲**セントラル**、**バキユーム**、**クリーニングシステム**。
▼右設計工事請負及同機械器具材料製造並ニ輸入販賣

米國**スタンダード**衛生器具製造會社
米國**スローンバルブ**製造會社日本總代理店
米國**シカゴポンプ**製造會社

米國**スペンサークリーナー**會社
米國**ベージボイラー**製造會社日本總代理店
獨國**ミニマツクス**消火器會社

〔創業明治三十四年〕

宮内省御用達

株式會社 **須賀商會**

大阪東區高麗橋五丁目
電話本局（一一八九三番 一一八九四番 一一八九五番）

支店	
東京	吉
名古屋	戸
京都	多

支店	
住	吉
神	戸
博	多

製品販賣　工事請負

東洋コンクリート合資會社

安價　鐵筋コンクリート土管
　　ブロック
　　電纜埋設用トラフ
　　其他各種製品應御注文

迅速　鐵筋コンクリート煙突
　　一般土木建築工事
　　特殊ブロック建築
　　ブロック塀

カタログ進呈

大阪市西淀川区海老江町
（阪神電車・淀川停留所脇）
電話土佐堀三八三四番

◀工施ニ並賣販▶

耐火リノリウム　特許ストンプロツク
セメントプロツク　特許ポーラスライ
ドロマイト　マグネシヤ
㊫プラスター　セメント

葛生石灰株式會社發賣
㊫プラスター關西一手販賣元
大阪耐火リノリウム工業合資會社
大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地
電話新町四三五九番

カタログ進呈

◀特許坂本式硝子屋根裝置▶

諸官衙・工場・倉庫・撮影所・病院・溫室等・屋
根及ビー般建築物ニ廣ク御利用ヲ乞フ

坂本商會大阪出張所
大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地
電話新町四三五九番



各省諸官衙指定工場

株式会社 内外エレベーター

エレベーター
コンベアー
ホイスト
リフト
一般輸送機械
設計製作販売

神戸市下沢通二丁目
電話長田局・一七七一・三七〇七
東京営業所神田区神田旭町
電話神田・三七〇六・六〇七三

Nippon
DIAMOND RIB LATH.

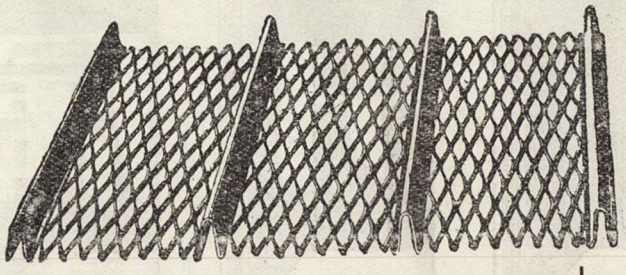
日本で……

初めて出來た

日本

ダイヤモンド

リブラス



厚、重量

錆止其他品質一切輸入品以上なりと大好評を得ております。是非共御採用の程を……價格低廉……

製造發賣元

大阪市此花區四貫島旭町一丁目

合名會社 **日進製作所**

電話土佐堀（二）八四一番（三）一三三番

販賣店

大阪市北區中ノ島六丁目

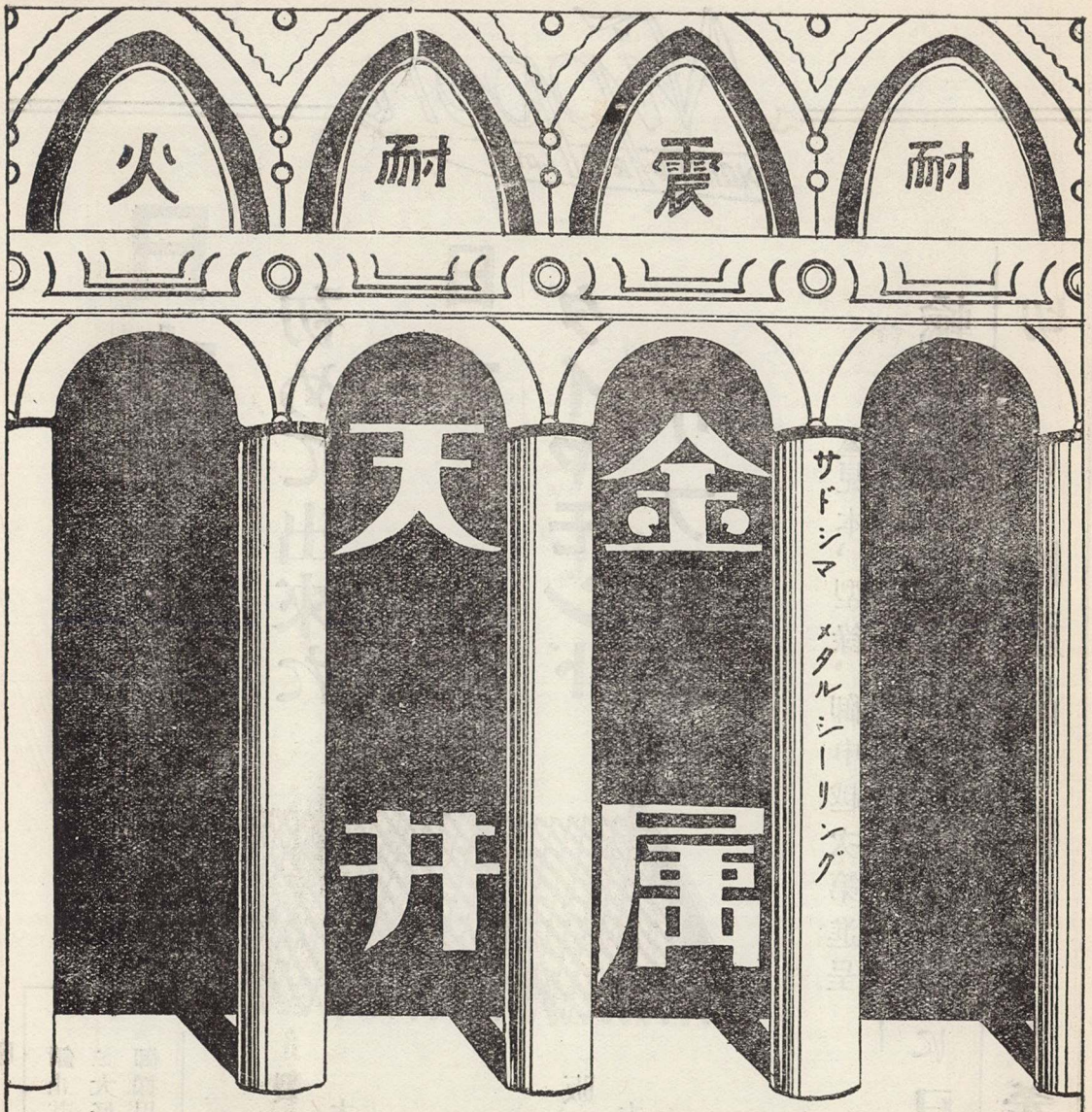
奥村重兵衛商店

電話土佐堀四六一番

▲見本、型錄、御申越次第進呈

輸入品使用の時代は既に已に去れり。

切に國産品の御愛用を希上ます。



御希望により亞鉛引平板。銅板。亞鉛板にても御用命に應じます。
尚又特殊御希望模様製作にも御相談に預ります。

營業品目

金屬天井板
亞鉛引平板
亞鉛引浪板
亞鉛引鐵線
鉄力板
洋釘
泪目浪板
薄鐵板
セラー釘

型錄贈呈

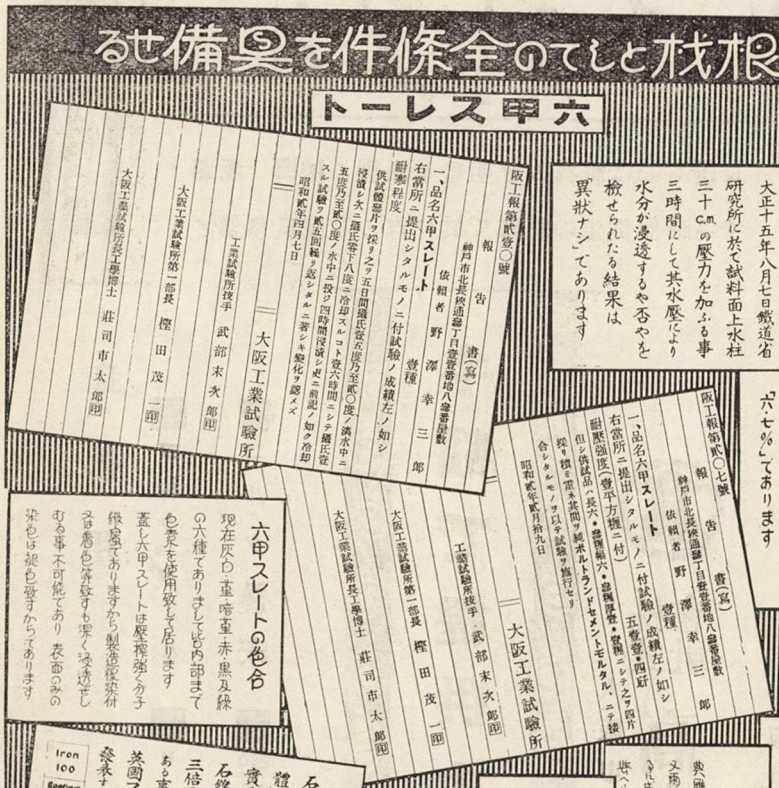
金屬天井板（羽目浪板）製造發賣元
大阪市南區安堂寺橋通り三丁目
佐渡島西店
金屬天井部
電話船場 九二二番 九三二番 九三三番
薩摩堀倉庫用新町九五七番
振替口座大阪三二七三八番

屋根材と其の全條件を具備せる

トーレス甲六

六甲スレートの浸透程度
大正十五年八月七日鐵道省研究所に於て試料面上水柱三十cmの壓力を加ふる事三時間にして其水壓により水分が浸透するや否やを檢せられたる結果は「異狀ナシ」であります

六甲スレートの吸水率
大正十五年八月七日鐵道省の試驗成績報告書によれば「六・七%」であります



六甲スレートの色合

現在灰、青暗色、赤黒及緑の六種でありますが此の内部まで色素を使用致して居ります
蓋し六甲スレートは壓搾強力分子緻密でありますから製造後染付又は着色等致すも殆んど浸透せむる事不可能であり表面のみの染色は褪色致すからであります

六甲スレートの導熱

石綿盤はコルク次く不良導體でありここは世間周知の事實であります六甲スレートは石綿盤と同質であつて厚さ約三倍でありますから層遮熱の効ある事申迄もないと存じます
英國スプロセンシングートの發表する處に依れば左の通りであります

Iron	100
Roofing Tile	38.2
Natural Slate	46.4
Fibre Cement	13.0
Cork	0

六甲スレートの伸縮

膨張係數は〇・〇〇二四即ち一萬分の二強の伸縮あるのみであります

道具屋

軒先ケラバ用各壹附は勿論慰斗棟鬼板巴縋り等各種取揃居り各「葺甲」をも製作致して居ります

維持費不要

耐壓力の強大と凍寒試驗をパスせる六甲スレートは自然維持費を要せず永久の御利益勘少でありませぬ

六甲スレート葺上の修繕は
典雅荘重の四字であります
又所切りも磯はし氷掛りも滑りがよいしなうに成功致し形状のみに対して二つの特許を做へる訳です

銘柄

弊社の特許權		大正四十一年
弊社特許	No. 29.305	大正五年
	No. 30.344	大正十五年
	No. 67.558	〃
	No. 68.522	〃
實用新案	No. 68.644	〃
	No. 99.921	〃
	No. 101.526	〃

錄型 寫眞入見本御沙汰次第發送

製造 日本石綿盤製造株式會社
發売 野澤幸三郎商店

神戸 北長狹三丁目 電話 2530 2531
東京 丸ノ内 丸内3670
大阪 綿業會館 大江ビル内 北5994
福岡 紺屋町三六 紺屋町1945
振替 大阪415 東京503 四ノ市井通

昭和ビル内

コルクタイル

最新の機械と製法を發明せる我社は品質優良
と價格低廉なる点に於て他社の追從を許さず

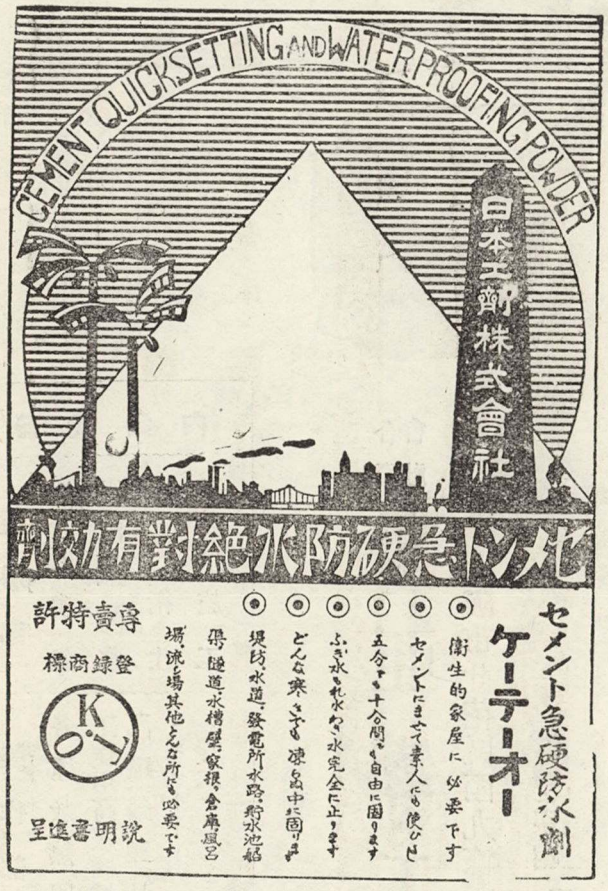
床敷用
■コルク、タイル　■リノ、タイル　下敷用コルク板
■コルク疊床　■絶縁用コルク　其他一般

半額で提供す
他社製品と同等品ならば

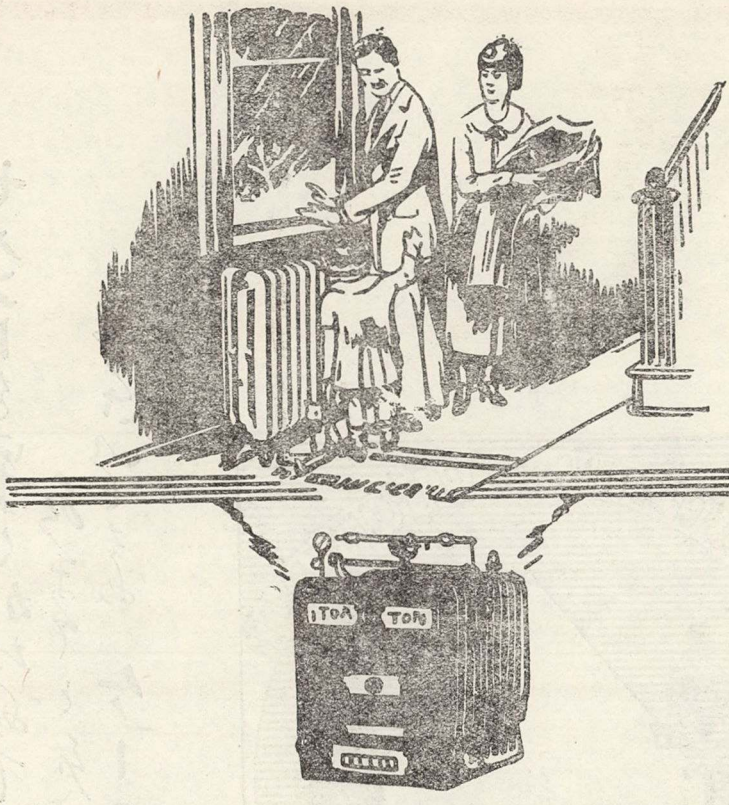
製造所
大阪市東成區中濱町三九四番地
大阪コルク工業合資會社
電話東(三二三六番)五七六九番

株式會社高島屋呉服店裝飾部
大阪市南區長堀橋一丁目
電話南(三一、三二、三三、長三四、三五、三八三三)六三一〇、六三一一、六三一二、七八八二、七八八三

セメントを早くかためて
永もちさせる
ケーテーオー



東京市芝區愛宕下町一ノ四　電話芝一五一二番



營業案內

煖房部
煖房、換氣
温濕氣調整
水道、衛生
設計、施工

製作部
各種放熱器
工作用高級機械
汽罐、鑄鐵品
コンベーヤー、リフト、ケーブルカー

合資會社
東亞鐵工所
大阪市此花區西九條濱通一〇
電話土佐堀(一一三七番
(三九六七番

合資會社
東亞鐵工所東京出張所
東京市麹町區丸ノ内ビル八七五
電話丸ノ内(23)一七九六番

玲瓏社

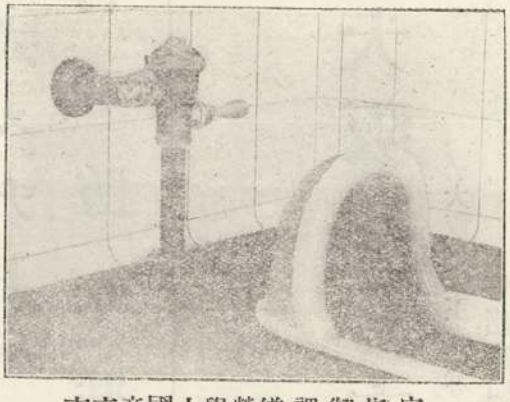
ステインドグラス
模細工
プリヅム
各種色硝子

耶太三太
耶眞彌邦
耶内崎瀧
木三實

大阪市天王寺區南河堀町
電話 天王寺 七九四
東京澁谷青山南町七ノ二
電話 青山 一八八〇

辨滌洗所便洗水

ヨネ.フラッシュ.バルブ



定指御課繕營學大國帝京東
可認御所役市都京・阪大・京東

製造發賣元 米本商店

大阪市幸町三丁目二番地
電話櫻川三八八〇番

重なる納入先

東京帝國大學　京町堀ビルデング
正金銀行東京支店　太平ビルデング
日本大學　大阪市電氣局
大阪ビルデング　大軌電鐵會社
船場ビルデング　新京阪電鐵會社

大阪造幣局　大寶小學校
灘萬食料品店　八幡屋劇場
三越呉服店別館　兵庫縣立女學校
大阪府知事官舍　名古屋共濟ビル
大阪商船紅丸　京都明治ビル
芦原小學校　滿鐵病院

大理石工事請負

合資會社 矢橋大理石商店

本店 岐阜縣不破郡赤阪町 電話 五

出張所 東京市麹町區八重洲町一丁目丸ノ内十號館五號 電話丸ノ内四六三九番

大阪市東區北濱四丁目二十二番地 電話本局㊁五三一九

京城府光化門通一九〇

藤村式スチールシヤッター

藤村式スチールサッシュ

藤村式スチールラス

藤村式防水裝置

大阪建材商會

大阪市天王寺區堂ヶ芝町七七 電話南四三二四番

工場 岸和田市沼町五〇八 電話岸和田二三六番 八七二番

最も進歩せる使い易いプラスター

スタッコ、マンチュリヤ

主なる特長

一、布海苔を要せず、其儘水にて練り塗工す
一、硬度適當なれば音響を反射せず
一、輕くして剝落、龜裂の憂なし
一、純白美麗、顏料にて着色任意、褪色せず
一、施行後水洗ひしても表面を損傷せず
一、價格低廉、御試用を乞ふ

耐火床張リグノイド
工場床張リグコッタ
美術床張マグコルク床
防火防水壁ロックスタッコ
水硬性防火防水壁リソイド
水硬性防音內壁エラスコ
マグネシアセメント

型錄進呈

一手販賣店元 三井物産株式會社

製造元 南滿鑛業株式會社

大阪市港區北境川町二丁目三十五番地

大阪出張所

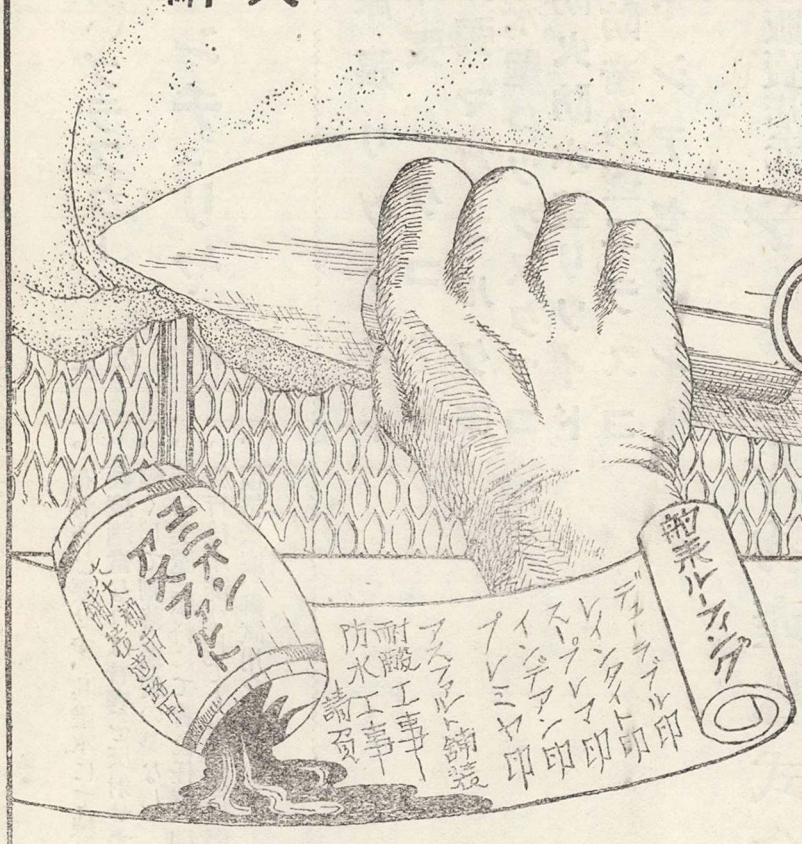
電話長西三四八九番

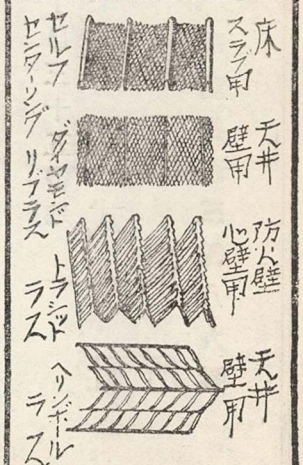
既ニ！既ニ！漆喰壁ノ時代ハ去リヌ。

大連ドロマイト

耐火 水硬性 プラスター

ABC建材月報
各種建材型録
進呈





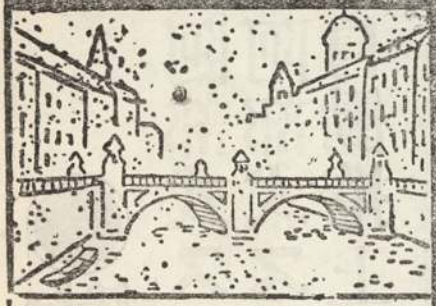
社長 淺野總一郎

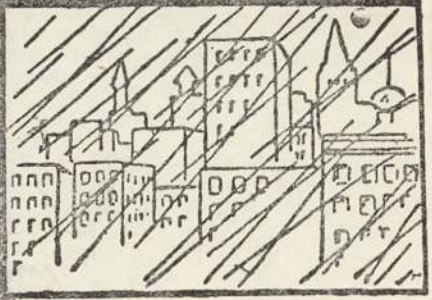
淺野物産株式會社

本店 東京市麹町區丸ノ内ビルヂング 電話 牛込六二六一・六三八七

支店 大阪市東區ヂ九九 大山本局自至 電話 七五三六 瓦ン一一町ヶ五八

建築ノ耐久　保健ト衛生





濕氣とマノール防水劑

建築に濕氣は大敵なり濕氣は建築材料の氣孔を栓塞するが故に、屋壁中に保有する空氣を減却せしむ、從つて、室内外の空氣換氣を妨げ、衞生上有害なるのみならず、間斷なく蒸發する水分のため、冬は一層寒冷を增し、夏は又蒸し暑く、適度の溫度の加はるときは、種々の害菌發生繁殖を促進し、之れがため木材、壁材等の腐蝕腐朽を早からしむると食物貯藏品の腐敗變質を來さしめ更に濕氣は石灰、セメント、モルタル、コンクリート中に浸透し可溶性鹽類を溶出せしむるが故に、甚だしく建築外觀の美を汚損すると共に、鹽類の結晶並に水分の凍結より起る膨張は壁面其他隨所に龜裂を生じ、亦溶出する鹽類は強アルカリ性なるが故に石材、木材、鐵材、壁材其他の建築材料を腐蝕し、夥しく耐久性を損害するものなり本邦の氣候は歐米の乾燥地帶と異なり、夏時は、空氣中常に八十パーセント以上の濕氣を保有し、不幸にも家屋に害菌を被り易きこと世界に比類なき土地なれば家屋並に貯藏品の保存耐久と衞生上防濕設備にマノールは必要缺くべからず

セメント層　防水劑　マノール　專賣特許

マノールはセメントの強度に少しの變化も來すことなく永久不變質にして強大なる水壓に耐へセメント、モルタル、コンクリート及石灰漆喰の防水防濕用としても最も好適の材料なり本品の發明は最も至難なる防水工事を簡易に完全に安價に解決し本邦唯一の權威ある防水劑として土木建築界に多大なる賞讚を蒙る

用途

◎地下室の防水　◎船底船渠の防水
◎壁屋根の防水　◎便所糞池の防水
◎床井戸側の防水　◎高架鐵道の防水
◎炊事浴室の防水　◎水力工事の防水
◎地下鐵道の防水　◎醬油タンクの防水
◎水道貯水池の防水　◎其他衞生的工事

特約店

大阪市西區西道頓堀通二ノ六
建築材料合資會社
電話長堀川二五六九番
振替大阪七四八〇七番

大阪市西區江戸堀北通五ノ三五
木下謹三商店
電話土佐堀二一六六番

製造元
東京下谷區下平塚村
京都府下蛇塚村
油脂化工社
電話高輪特長五四一五
振替東京七〇四五〇

●防火宣傳●

阿部式スティールサッシュ製作
阿部式スティールドーアー製作
自働捲上防火シヤッター製作

鐵骨建築及附屬金物一式
鐵塔橋梁其他構造物一式
エレベーターリフテイング一式
鐵扉、鐵柵類一式

A 合資會社 **阿部鐵工所**

大阪市西淀川區浦江町三五四ノ一
電話土佐堀（長一八一四番 三〇〇八一四番）
振替口座大阪四八〇五一番
受信略電（オウサカアヘテツ）

飛行機印



アスファルトフエルト
便利瓦
アスファルト各種
電氣絶緣材料

大阪市此花區大開町三丁目九番地

梶田豊治

電話長堀土佐一〇六五番

床張の權威



アルス一層塗
アルス、コルク塗
リノリユーム下敷用
外壁用スタッコ
塗込式スクールボート

製造發賣元
大阪市西區江戸堀北通一丁目
日米商事合資會社
アルス工業部
電話土佐堀長(一九五番)(七三〇五番)

最も理想的な屋根ルーフィング材料

淺野スレート
日本石綿盤
朝日スレート
金剛スレート

品質堅牢
体裁優美



日本スレート販賣株式會社大阪支店

大阪市西區江戸堀南通一丁目廿一番地
電話土佐堀㊦3468番・3469番
本社 東京市京橋區三十間堀三丁目
電話銀座㊦684・841(專用)1860・1861・1862番(接續)
支店 横濱市常盤町5丁目81番地電話本長者町(3)5207番
門司市東本町四丁目 電話㊦548番
出張所 名古屋・仙臺・京城

地下室防水布
陸屋根用

専賣許特
富士印
クロースルーフ井ング



本品は純麻織物を主要材料とし無酸乾燥性天然アスファルトを應用し強度伸度滲透壓に於て同種品中最高の記録を有する合理的にして最も進歩せる

クロースルーフ井ング製造所

工場　大阪住吉
大阪市東區平野町四丁目五八　電話本局五四〇七番

營業科目

- ◉和洋式建築金物
- ◉ブロンズ眞鍮製建具裝飾金具
- ◉窓金手摺鐵柵鐵扉類
- ◉釘針金平浪板諸材料
- ◉鋼鐵自優防火シヤツター

製作＝請負＝直輸入

大阪市北區南森町
合名會社
西孫南店建築金物部
電話北二八五〇番

直輸出入
大阪市南區順慶町二丁目
電話舩一九六・一九七番
三〇二九番

テラコッタ　伊賀窯業株式會社
關西一手販賣

當社製作販賣
アーユス
ドラグサッシ
チールサッシ
ステインレス石
スス復興

政正合資會社

本　社　大阪市西淀川區大仁町九十二番地
電話長堀一九四九番　振替大阪四五六七六番
名古屋出張所　名古屋市中區新柳町六丁目住友ビルヂング
電話（代表）本局六〇六〇番

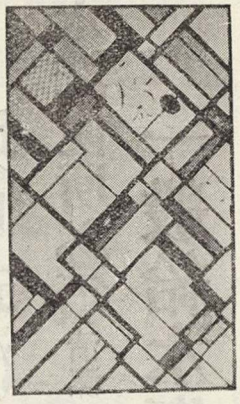
ステインドグラス
グラスモザイク

VENUS STUDIO

大阪市東區谷町二丁目五　電東四二二〇

出張所　東京　　代理店　京城

ベニス工房



SS ルイタル品

最近當社獨特の
新製品嶄新なる
高級マット

奕秋（エキシュウ）タイルの出現

各種タイル販賣

大阪市西區靱北通一丁目二六
品川白煉瓦株式會社大阪支店

タイル販賣所

電話土佐堀七一一番

便所之改善

專賣特許第三二七九八號

大正便所

特長

臭氣、蛆、蠅の發生
跳返、盜難の憂　絕對皆無
現在汲取式の理想的便所

專賣特許第三六七一五號

株式會社 城口研究所大阪支店

城口式汚水自然淨化裝置

水洗便所必須 清潔、完全、簡易の下水に放流裝置

一般給水衛生工事

大阪市北區曾根崎中壹丁目五十七番地

電話北 特長 二三 一九五 八六番

本店 東京市神田區千代田町十八番地 電話神田 特長二五二三番 二五二二番

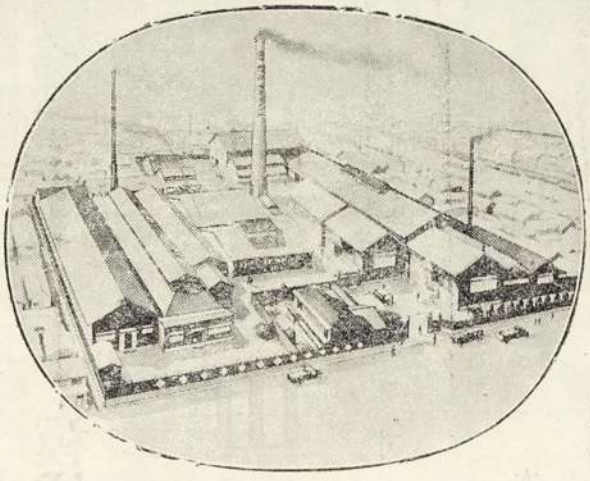
出張所 名古屋市西區本町三丁目五番地 東 二三七〇番
同 京都市大和大路前佛 下四七二番
同 神戸市三宮町一丁目百七十番地 三宮 一六九八番
同 横濱市常盤町五丁目八十一番地
同 廣島市竹屋町百三十五番地 二八〇八番

辨柄

登録商標

誇るべき弊社製品の特長

成分含有量の的確　分子微細にして一定不變
色澤鮮麗にして純新　大量製産にして安價提供



用途

塗料用　製紙用
ペイント用　リノリユーム用
染色用　燐寸用
陶磁器用　ゴム製造配合用
漆器用　電線被覆用
建築用　印刷インキ用
皮革用　印刷製版用
防水布用　スレート用

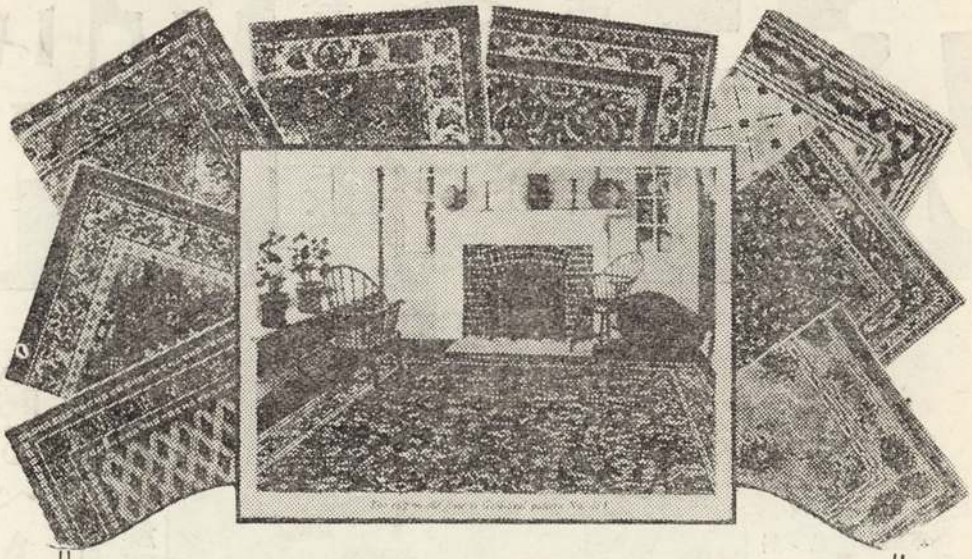
製品種目

富士印	金鳳印	白鳳印	朱雀印	金鶏印	丹頂印	四十鳥印	隼印	鴎印	鵰印

（見本進呈）

大阪市西成區長橋通四丁目
發賣元　合資會社　**大平工業所**
電話櫻川二六三八番
振替大阪六三九二五番
發信略號（オヒラ）又ハ（オ）

大阪市東區道修町二丁目
代理店　**藤澤友吉商店**
支店　東京市日本橋區本町
支店　京城府西小門町四二



大小色々

模様色合各種

山中支那緞通

寸法並ニ模様
特別御註文ニ應ズ

大阪市東區高麗橋一丁目

山中商會

電力ト電燈

美術裝飾電燈器具製作
電燈電熱電話避雷針工事
設計監督工事請負

淺海商店

店主　淺海治平
主任技師　工學士　齋藤應理

營業所　大阪市北區絹笠町九番地
大江ビルヂング二階十九號
電話　北(一一五七六
一二一五

工事部　大阪市北區曾根崎上三丁目一七三
出張店　下關市田中町本通三丁目
電話一六五三
大分市西町
福岡縣戸畑町
東京工場　東京市芝區愛宕下町二目丁



楢實剝繼手付

櫻 **床板**

同上羽目板

同上本寄木

特許第六六〇八九號
伊丹式パーケットリー（簡易寄木）
特許第六五八九一號
伊丹式フローリングブロック
（コンクリート床板上直接張込床材）
三菱合資會社營業課製
南洋產セラヤ材天井板
青森特產檜材根太土臺其他

大阪 伊丹商店

大阪市西區靭中通一丁目
二〇番地（市電信濃橋停
留場北へ一丁東側）
電話長土佐堀二四一七番

大阪營業所

名古屋市西區南外堀町
四丁目一番地
名古屋營業所
電話長本局四五九六番

製疊界空前之發現

本品使用ノ理由ト特長効力

新疊御調製の場合又は古疊の疊表替の場合に本紙を疊床と疊表との中間に使用せらるれば疊内部は永久清潔なり即ち從來疊の不衛生極まること譬へば疊の上面より水或は子供の小便大便等不潔液體の散亂疊内部に滲透して疊内部の藁に濕氣を保ち容易に乾かず不衛生此の上なく自然疊の藁及び縫糸を腐蝕し或はゴミ、ホコリ等の疊表面より疊内部に浸入するが如きは保健上にも衛生上にも甚だ嫌うべき所なり此等の點を完全に防止し完全に除去し得るは本品の使用により始めて其の効を確實に顯し得るものなるが故に十數ケ年來使用して現今に於て有効確實の實證品として本品は既に十數ケ年來使用して現今に於て有効確實の實證品としての逸品なり一枚の有効期限約十年にして疊表替の節更らに取換へれば可なり

疊一間 疊般材屋 業料

疊内部使用

防水 防虫 防塵 耐久 確實

三疊衛生裝置紙

一枚仟法 長六尺三寸 幅三尺
定價 拾枚壹圓參拾五錢
各地送料無料

神戸市東尻池町五丁目西角

三熊商會

電話兵庫一四六九番



佛蘭西式洋瓦

◎綠色洋瓦　◎黑褐色洋瓦
◎赤色洋瓦　◎各種日本瓦

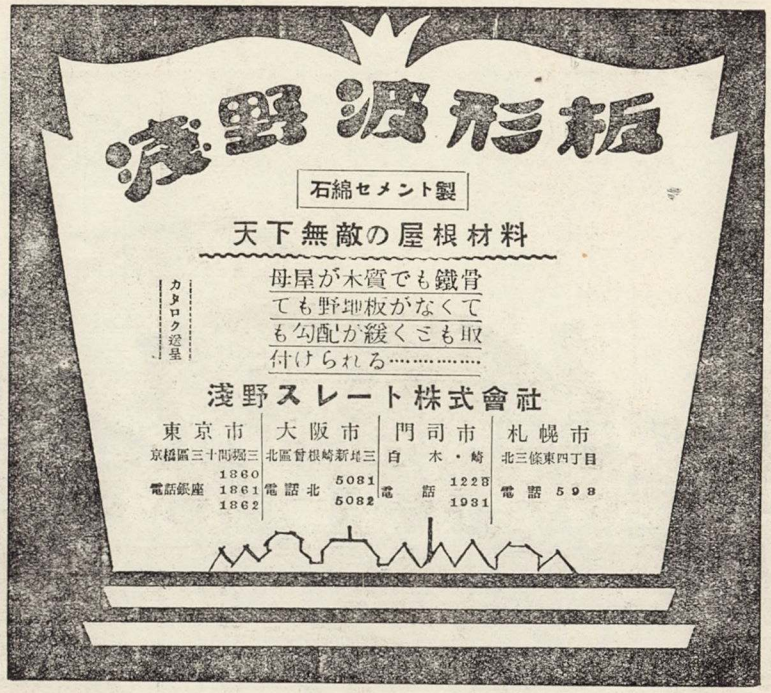
各種洋瓦の製造販賣
屋根工事の請負

十大特長

實質堅牢　形態合理
色彩優美　重量最輕
葺土無用　凍害絶無
葺方簡易　吸水殆無
製品統一　雪止不要

セメント製瓦にあらず
申込次第カタログ進呈

日本洋瓦株式會社 大阪出張所
大阪市北區曾根崎中二丁目
第一曾根崎ビルヂング内
電話北(二一一五五六)番



建築ノ耐久ト美觀ハ屋根材料ノ撰定

KS式陸屋根地下室防水工事
太陽印アスファルトルーフキング
マルソイドルーフキング
テキサスルーフキング
各種アスファルトフエルト
耐酸性アスファルト工事
セメント防水劑マノール

見本型錄呈上

本店 大阪市西區江戸堀南通五丁目
電話土佐堀(局)二一六六番
七一五四番

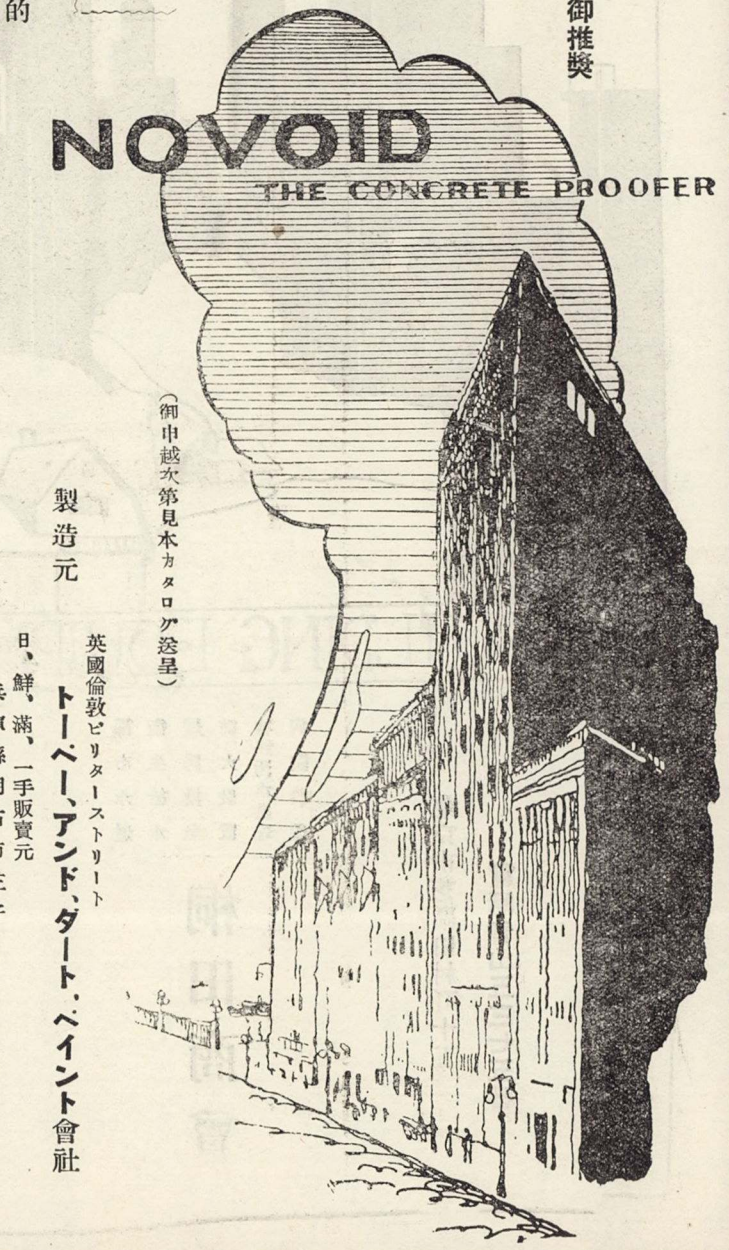
木下謹三商店

支店 東京市日本橋區濱町三丁目三番地
電話浪花二二五二番

石綿スレート(石綿盤)
天然スレート(石盤葺)
獨逸式セメント瓦
エキスパンデットメタルラス
淺野波形スレート
其他各種建築材料
販賣並ニ工事請負

土木界の權威
工學博士
吉本龜三郎氏御推奨

幾多防水劑中永遠ニ効果ヲ顯ハスモノ皆無ナル中ニ「**ノーボイド**」ハ吉本博士ノ詳細ナル調査ノ末大正十年輸入ヲ試ミ博士管掌ニ係ル總ユル工事ニ用ヒテ出色ノ價値アルコトヲ認メラレタル防水劑ニシテ本品ヲ得タルハ斯界ノ大福音ナリトノ御賞讃ヲ博セリ。



（御申越次第見本カタログ送呈）

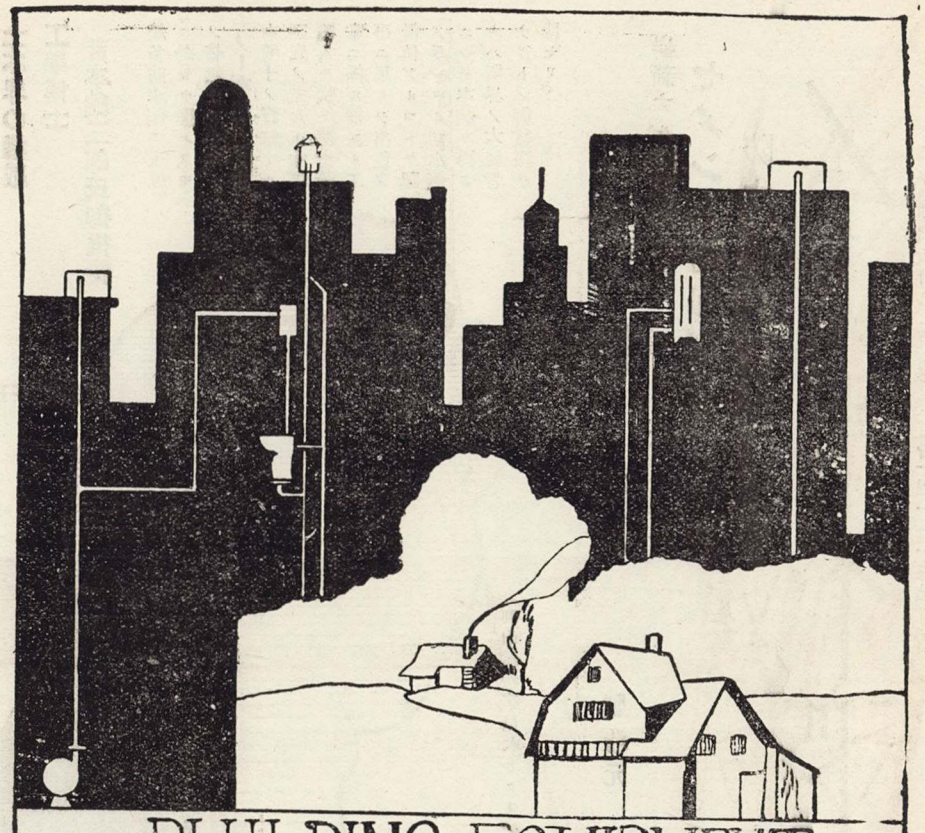
嶄新ナル理想的
セメント補強劑
防水、耐火、耐酸、防油。

英國政府　專賣特許　第一四一一三號
日本政府　專賣特許　第四五二四九號

製造元
英國倫敦ビリターストリート
トーベー、アンド、ダート、ペイント會社
日、鮮、滿、一手販賣元
兵庫縣明石市王子
日本工具製作株式會社
電話明石四五〇番
振替口座大阪五四〇五六番

大阪出張所
大阪市南區安堂寺橋通一ノ二六
電話大阪船場七七三

トンボ印（スコツブ、ショベル（建築金物、土工用具）製造元



BUILDING EQUIPMENT.

都市水道
衛生給水
煖房換氣
防火裝置
特許汚水處理
病院設備

桐田商會

大阪市北區木幡町八二
電話北二七五一番

東京市芝區田村町十五
電話青山五三七五番



塗裝工事請負
計設ニ並
賣販料材

松本商店

主店 松本壽美

大阪市北區宗是町十番地中島ビルヂング内

電話土佐堀二三九一・二一二五・三五〇九番

TRADE MARK

高級藥掛タイル
專門工場

名古屋市東區中市場町三丁目

佐治タイル合資會社

電話長 東 二二三四 二二三四 二三四四 六三四四 四五二一〇 番

工場電話 東 三四一二 四一二二 番

優良國産屋根材の權威

日之出便利瓦（ルーフイング）

◇耐水耐酸耐久
◇屋根葺用
◇地下室防水用

見本進呈

特許第二〇〇三四號

特許第三一〇二四號

（客貨車屋根用）

日之出印 パーマネントルーフ井ング
日之出印 アスファルトヘッシャン
日之出印 ビルデイングペーパー
日之出印 ルーフ井ング
日之出印 アスフワルトフエルト
日之出印 KSKアスクロース
日之出印 衛生疊下用紙

▲アスファルト防水工事請負

日本建築紙工株式會社

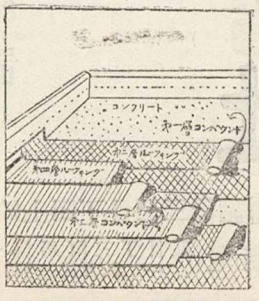
大阪出張所 大阪市南區塩町通リ二ノ一七
電話船場一六九〇番 三一二五番 四二七五番
振替口座大阪一〇一七六番

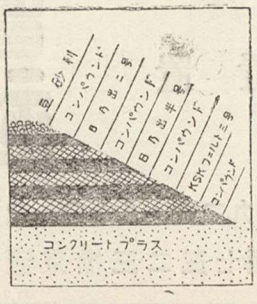
本社 東京市神田區小川町一番地
電話神田(25)□六三六、□六六三
振替口座東京二七〇五九番
電信略號（トウケフケハ）

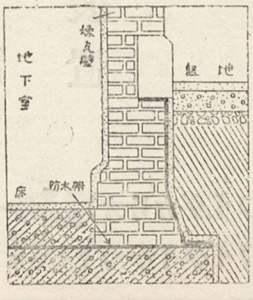
工場 東京府北千住町四丁目元宿
話話千住七六番

（況實水防面斷室下地及根屋陸）









HEATING. VENTILATION AND PLUMBING.

營業科目

各種煖房裝置　換氣裝置
給水給湯裝置　衛生工事
汚水淨化裝置　蒸氣諸裝置
宮崎式ペーチカ

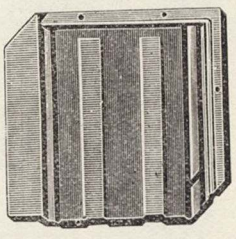
大和(ダイワ)工業株式會社

溫濕度調整裝置　冷房裝置
製氷及び冷藏裝置　除塵裝置
空氣輸送裝置　眞空掃除裝置
以上の設計、監督、工事請負竝ニ材料販賣

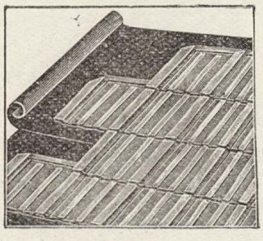
本社　大阪北區曾根崎上四丁目三番地　電話北一〇七八・六二九一番　略受語電(オサカワイダ)
支店　東京市京橋區南傳馬町三丁目五(第一相互館二一六)　電話京橋三二三七番　略受語電(トウケワイダ)

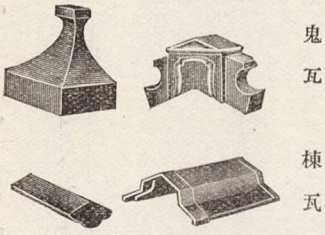
王子石綿スレート

専賣特許



桟瓦





鬼瓦　棟瓦　鬼瓦　巴瓦

一、坪當り　四十二枚葺
一、重量（一坪）　卅一貫五百目（一枚）　七百五十匁
一、寸法
　縦　一尺一寸
　横　一尺一寸
　厚サ　四分五厘
一、働キ寸法
　縦　九寸
　横　九寸五分
一、吸水　百分ノ五
一、色合　白色及紺紫色（テラコッタレート）
一、葺方　野地板ノ上ニフエルトヲ敷キ亜鉛引釘打止メトス

値段（當社渡シ一枚ニ付）

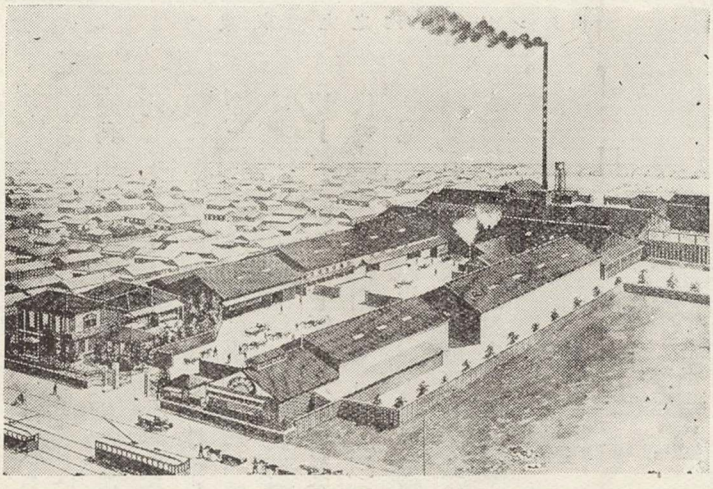
品名	單價
桟瓦	貳拾壹錢
ケラバ	參拾六錢
唐草	四拾貳錢
棟瓦	六拾參錢

葺上屋根坪値段一坪金拾壹圓五拾錢ヨリ色物ハ白ノ一割高

新案登録

製瓦機販賣

セメントブロック各種



東京府王子町

王子製瓦株式會社

電話　特長王　小石川　二
　　二五五番
　　五一五番
　　五七五番

Certain-teed

サーテンティード便利瓦（ルーフィング）

サーテンティード防水材料にて施工の屋根



東京　丸之内ビルヂング

サーテンティード　リノリユーム　は品質優秀價又廉なり

價廉



便利瓦の耐久力

便利瓦は何れの種類と雖も之を比較する時は互に相均しく見ゆるものなり例令專門家たりとも單に其外觀に依り或は之を屈曲し、扛折し、引裂き又は嗅ぐ等一般の方法にては決して其品質を鑑別し得るものに非ず唯一の試驗法は戸外長時の實驗にあるのみ**サーテンティード**便利瓦の世界各國に信用を得其の代表的建物に使用せらるゝ所以のものは原料の精撰と絶へず斬新の化學を應用して製造法に意を用ひ凍熱如何なる氣候にも順應して其中心に軟質を保ち致命傷なる天日の强熱に善く堪へ永久の保存力を維持するにあり

日本總代理店

合資會社 **デウエット商會**

東京市麹町區内幸町一丁目（大阪ビル）
電話銀座一〇八一番
大阪市東區今橋一丁目（帝國ビル）
電話本局三七四四番



製産額東洋第一
模範的品質優良

淺野セメント株式會社

資本金壹億六百參拾壹萬圓
年産額壹千貳百萬樽

本店　東京市麹町區永樂町
支店及工場　東京、門司、川崎、北海道、臺灣、大阪

大阪支店

營業所　大阪市北區堂島ビルヂング三階
電話　北三一九八番
工場　大阪市西成區津守町二九一
電話　櫻川九〇八番、九三五番

噴霧塗裝請負

勞力の機械化は

工費半減・施工迅速・仕上優美

是非一度御用命を乞ふ

米國フーラー塗料會社

特約店

フーラー塗裝店

堺市遠里小野町三七〇

近藤製藥工場

電話 大阪・戎二七八

堺・九一

出張所

大阪市西區靱南通二丁目三六

電土佐堀㊀五六九

新案

平安瓦發賣元

瓦

佐村木勝吉

大阪市東區材木町十五番地
（久寶寺橋東詰北へ入）
電話東三六一〇番

品目

各國屋根瓦
各種色瓦
北國瓦
日本洋瓦

營業

土管各種
甍、便器類
葺上及販賣
淺野煙突

電燈 電熱 配線工事

器具製作請負

大阪市北區相生町一〇一番地

波根田電氣商會

電話東一六九五番

（設計見積ノ御用命ハ當店へ）

電燈と電力
照明器具
水道と暖房
機械と汽罐

設計製作
据付諸工事

..TRADE MARK..

合資會社 大キナ商店

大阪東区今橋貳丁目二三地

代表社員 小川繁太郎

電話本局一三八九
五九三一番
振替大阪二〇六一一番

特約 インターナショナル石油發動機
のぐち式A1型渦巻ポンプ

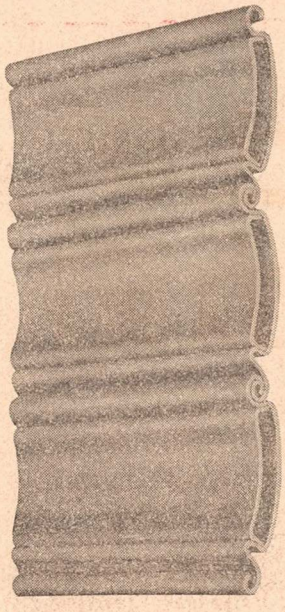
深井戸用各種ポンプ・ベリル
グライングウォッタータイル

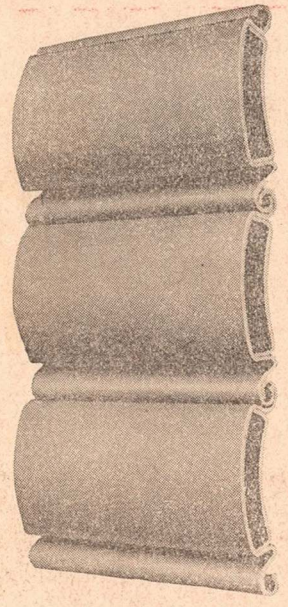
SUDZKI'S PAT. **HOLLOW SHUTTER** PAT. AP'L'D TO THE U.S.A.

米國特許出願
日特
英許

鈴木式ホロー・シヤター

（最新式シヤッター）





ホロー式の特徴

1 ホロー式は權威ある火熱注水試驗の結果熱の傳導の遲いのか著しい特徴であつた。

2 ホロー式は高尙優美、堅牢無比、强盜、暴漢をして意氣銷沈せしむ。

3 ホロー式を DREADNOUGHT SHUTTER と英國人は評した。

4 ホロー式は卷徑が少さく素直に繰れて下る。

5 講鐵は特許鈴木式二重底レールを附屬せしむ。

6 錆止ペンキは浸漬式を用ゆ。

7 機械は精巧、函蓋は、美麗周圍と調和す。

ホロー式取付實例

◉取付場所及時日

◉名古屋市御器所町
南消防署

◉昭和貳年參月廿五日

1 ホローシヤタア三號型鎖引

2 巾 二十二尺 高 十二尺出來上り寸法

3 シヤタア重量二百貫、シヤフト壹百貫 合計三百貫

4 錆止ペンキ浸漬式を用ゆ

5 上下時間 輕く手繰て廿秒

◉取付けの結果◉

丈夫で、輕くて、工合のよいので皆な驚歎してゐる

大正十五年英國政府へ特許出願中の處昭和二年二月十七日第二六五八七三號を以て特許々可せらる

建築金物商會

東京 巢鴨町宮下一五四五—一五五五

支店 京都市東山通月見町二